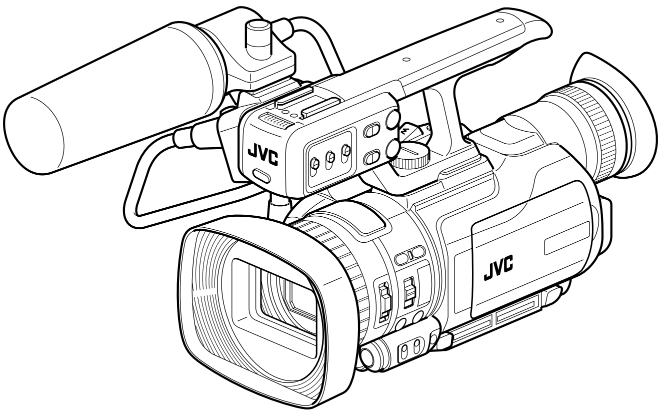
JVC

HD メモリーカードカメラレコーダー

型名 GY-HM100

取扱説明書

SDHC CLASS 6



イラストは GY-HM100 に付属のマイクを取り付けた例です。

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」(6～7ページ)は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

LYT2092-001D

特長

本機は、HD フォーマット映像を SD カードに動画または静止画で記録し、再生できるカメラレコーダーです。

■ 各種 HD 映像記録方式（1080i,1080p,720p）に対応

各種 HD 記録方式での撮影が可能なため、様々なコンテンツ制作に利用できます。

■ 動画ファイル形式として QuickTime(MOV)/MP4 を採用

Apple Inc. の Final Cut Pro のファイルフォーマットである QuickTime ファイルフォーマットのダイレクト記録が可能です。記録したクリップを Final Cut Pro でダイレクトに編集することができます。さらに MP4 ファイルフォーマットにも対応しており、様々な環境で幅広く利用できます。

■ SD カード記録

SD カード用スロットを２つ備えており、２枚の SD カードの連続記録が可能です。また、２枚の SD カード間で録画ファイルのコピーや移動が可能です。(動画はコピーだけ可能です。)

■ 動画記録と静止画記録の２方式に対応

記録方式として、動画または静止画の選択ができます。再生時は、サムネイル表示のインデックス画面や日付検索画面で動画や静止画ファイルを選択します。

■ HD 信号の 60/50Hz 方式に対応

■ フォーカスアシスト機能

撮影時のピント合わせが簡単かつ正確におこなえます。

■ ユーザーボタンを装備

撮影条件に合わせてカメラ設定を瞬時に切り換えることができます。

■ タイムコードリーダー / ジェネレーター内蔵

タイムコードおよびユーザーズビットの記録 / 再生が可能です。

■ ビューファインダーおよびカラー液晶ディスプレイ搭載

カメラ映像、再生画の他にステータス画面、メニュー設定画面やアラーム表示します。

■ 音声の確認が容易なモニタースピーカー内蔵

■ 記録の確認に便利な録画チェック機能の採用

■ カメラ部は 3-CCD 方式による高画質設計

■ ゼブラパターンによりビデオレベルを表示

■ フルオート撮影機能

屋内から野外へ、明るい場所から暗い場所へ、いろいろな撮影条件に対し、わずらわしいスイッチの操作なしで、自動的に対応する機能です。

■ 手ぶれ補正機能

手ぶれによる映像のブレを低減します。

■ ND フィルターを装備

■ プログラム AE 機能

お好みのシーンに応じた撮影条件を選択できます。

■ ホワイトバランス調整機能

自動および手動で調整できます。

■ カラーバー内蔵（マルチフォーマットカラーバー）

■ スローシャッター

映像を蓄積することで暗く、動きの少ない被写体の映像を明るく撮影できます。

■ 音声入力用端子を３系統装備

内蔵マイクのほかに、マイクなどの音声入力端子として XLR 端子（２系統）とミニジャック端子（１系統）を備えています。

■ 映像出力端子を３系統装備

HDMI 端子、コンポーネント端子、A/V OUT(映像 / 音声出力) 端子を備えています。各種モニターテレビに対応します。

■ USB 端子でパソコン接続可能

パソコンで SD カードの動画や静止画ファイルを読み出すことができます。

■ 設定ファイルの保存および取り込み

現在のメニュー設定や本体設定の内容を SD カードに保存できます。（最大４ファイル）必要に応じて、SD カードに保存した設定ファイルを本機に取り込み、撮影シーンに応じた最適な設定を再現できます。

もくじ

はじめに

準備

撮影

再生

もくじ (つづき)

ファイルの編集

その他の機能

メニュー画面

その他

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた

ご注意 ： 操作上の注意が書かれています。

メモ ： 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

☞ ： 参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書記載内容について

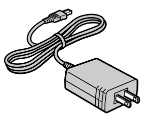
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。この取扱説明書にしたがって正しく取り扱いをしてください。

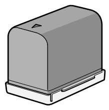
付属品について

本機には、下記の付属品が添付されています。

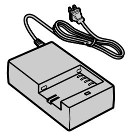
AC アダプター
AP-V21



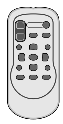
バッテリー
BN-VF823



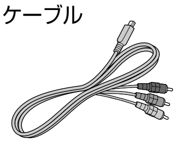
バッテリー
チャージャー
AA-VF8



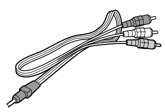
ワイヤレス
リモコン



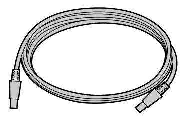
専用コンポーネント
ケーブル



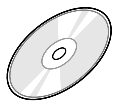
AV コード



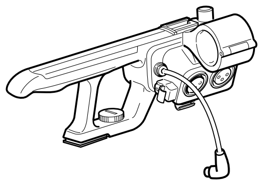
USB ケーブル



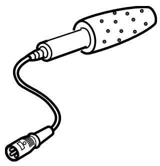
CD-ROM



オーディオユニット



マイク



本機に添付される CD-ROM には［JVC ProHD Clip Manager］などのアプリケーションソフトウェアやご使用方法を説明するユーザーズガイドが収録されています。
※ 詳しくは各アプリケーションソフトウェアのユーザーズガイドをご覧ください。

オーディオユニットを取り付ける

出荷時、オーディオユニット（ハンドル付き）は、本体から分離されています。
オーディオユニットを下記の手順で本体に取り付けてください。

1. 本体上部のシューにオーディオユニットを突き当たるまでスライドして取り付ける

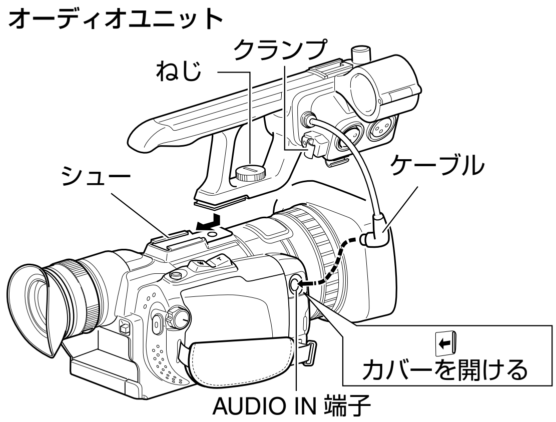
2. オーディオユニットに付いているねじを時計方向に回して最後まで確実に締め込んで本体に固定する

※ 締め付けがゆるいと、オーディオユニットがグラついたり、使用中に本体からはずれる恐れがあります。

3. オーディオユニットのケーブルを本体の AUDIO IN 端子に接続する

メモ：

- オーディオユニットのケーブルはクランプでの固定はできません。クランプはマイクのケーブルを固定するためのものです。(☞ 18 ページ)



SD カードについて

本機では、撮影した映像・音声をカードスロット内の SD カード (別売) に記録します。

メモ：

- SD カード内に本機以外で記録したファイルやパソコンなどで書き込んだファイルが存在する場合、記録時間が短くなったり、正常に記録できない場合があります。また、パソコンなどでファイルを削除しても残量が増えない場合があります。

下記の SD カードをご使用ください。

動画	: Class6 以上対応の SDHC カード（4GB ～ 32GB）
静止画	: SD カード（256MB ～ 2GB）、SDHC カード（4GB ～ 32GB）

- Panasonic, 東芝 TOSHIBA, サンディスク SanDisk
上記以外のカードでは正しく記録できなかったり、データが消えたりすることがあります。

安全上のご注意

ご使用になる方やほかの人々への危害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明します。

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと		禁止されていること				実行して欲しいこと
一般的注意	感電注意	禁止	分解禁止	ぬれ手禁止	水場での使用禁止	一般的指示

警告 **「死亡、または重傷を負うことが想定される」**内容を示しています。

分解禁止

分解・改造をしない

●火災や感電の原因になります。

一般的指示

電源を切ってから AC アダプターや機器を接続する

●電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。

禁止

付属の AC アダプター以外は使用しない

●火災や感電、故障の原因になります。

一般的指示

電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに差し込む

●本機に異常が発生したときに、ただちに電源プラグが抜けるようにしてください。

一般的注意

電源プラグは根元まで確実に差し込む

●ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

禁止

電源コードを傷つけない

●痛んだまま使用すると、火災や感電の原因になります。

禁止

電源プラグやコンセントに、ほこりや金属が付着したまま使用しない

●ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

●感電の原因になります。

感電注意

雷がなったら、電源プラグには触らない

●感電の原因になります。

禁止

内部に物を入れない

●SD カードスロットなどから内部に物が入ると、火災や感電、故障の原因になります。

禁止

レンズやビューファインダーを太陽などの強い光源に向けない

●目をいためる原因になります。

●集光により、内部部品が破損、過熱し、火災や故障の原因になります。

禁止

カメラを持つ場合は、必ずハンドルを持つ

●レンズやビューファインダーを持つと損傷する場合があります。

禁止

乗り物を運転中に使用しない

●交通事故の原因になります。

水場での使用禁止

雨や雪が降る中やふろ場など水滴がある場所で使用しない

●また、本機の上には水や液体が入った容器なども置かないようにしてください。

●水や液体が内部に入ると、火災や感電を引き起こす原因になります。

警告 「人が障害を負ったり、物的損害が想定される」内容を示しています。

一般的指示

5年に1度は内部の点検を販売店にご相談ください

- 湿気の多くなる梅雨期のまえが効果的です。

一般的指示

病院内や飛行機内での使用は、病院、航空会社の指示に従う

- 本機からの電磁波が計器類に影響を与えるおそれがあります。

一般的指示

移動するときは電源プラグや接続コード類をはずす

- コードを傷つけると、火災や感電の原因になります。

一般的指示

長時間使用しないときやお手入れをするときには、電源プラグやバッテリーをはずす

- 電源が「切」でも機器に電気が流れています。電源プラグやバッテリーをはずしてください。感電の原因になります。

禁止

湿気や砂ぼこりの多いところ、湯気や油煙が直接あたるところでは、使用しない

- 火災や感電、故障の原因になります。

禁止

熱源の近くでは、使用しない

- 火災や故障の原因になります。

バッテリー・電池について、次のような誤った取り扱いはしない

禁止

- プラス (＋) とマイナス (－) のまちがい
- 金属物（ネックレス、ヘアピンなど）といっしょに携帯・保管する
- 分解、加工、加熱および水中もしくは火中に入れる
- 高温（60℃以上）になる場所に置く

- 誤った使いかたをすると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。万一、液漏れしたら、取り付け部をよくふいてください。
- 液漏れしたバッテリー・電池は使わないでください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
- 液が目に入ったときは、きれいな水でよく洗い、ただちに医師に相談してください。
- バッテリーを持ち運ぶときは、必ずバッテリーキャップをしてください。

万一異常が発生したときは

- 煙が出ている、異臭がする
- 内部に水や物が入った
- 落下などにより破損した
- 電源コードが痛んだ

バッテリーをはずす
電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
販売店またはご相談窓口に修理を依頼してください。
お客様による点検、整備、修理は危険です。

使用上のご注意

■ 周囲温度、湿度

許容周囲温度は 0℃ ～ 40℃、湿度 35%RH ～ 80%RH の範囲を守ってご使用ください。許容周囲温度の範囲外でご使用されると、故障の原因となるばかりでなく、CCD に重大な影響をあたえ画面上に白い点があらわれる現象が発生することがあります。十分ご留意ください。

■ 強い電波や磁気の影響

ラジオやテレビの送信アンテナに近いところ、変圧器、モーターなど強い磁気が発生するところやトランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近くでは、画像や音声にノイズが入ったり色彩に変化を生じることがあります。

■ ワイヤレスマイクをカメラの近くで使用するとき

本機で撮影中、ワイヤレスマイクおよび受信機を使用すると、ノイズが飛び込むことがありますので、ご注意ください。

■ 次の場所での使用や保管は避けてください。

- 極端に暑いところや寒いところ
- ゴミやほこりの多いところ
- 湿気の多いところ
- 調理台の近くなど油煙や湯気のあたる場所
- 振動の激しいところや不安定なところ
- 直射日光のあたる車の中や暖房機の近くに長時間放置
- 放射線や X 線、および腐食性ガスの発生する場所

■ 本機を水でぬらさないでください。

（雨の日の撮影では、特にご注意ください）

■ 海辺で使用する場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。また、塩分、砂などがボディーに付着していることがあります。撮影後のお手入れをお忘れなく。

■ 砂浜など、砂ぼこりが多い場所でご使用になるときには、内部に砂などが入らないよう、十分注意してください。

■ 本機やリモコンを直射日光や火などの過度の熱にさらさないでください。高温になると、内部の電池が破裂することがあります。

■ レンズ光学性能について

レンズの光学性能上、色ズレ現象（倍率色収差）を起こす場合があります。カメラの異常ではありません。

■ 再生画と EE 画の切り換え時、画面にノイズが出ることがあります。

■ 横にして使用すると放熱効果が悪くなります。

■ 持ち運ぶ場合のご注意

本機に強い衝撃を与えたり、落としたりしないようにご注意ください。

■ カードスロットに異物などを入れないでください

■ カードスロットのカバーを開けた状態で長時間放置しないでください。内部にゴミが入り、故障の原因となる場合があります。

■ 録画や再生中に、直接［POWER］スイッチを切ったり、電源コードをはずさないでください。

■ 電源投入直後は数秒間、安定した映像が見られませんが故障ではありません。

■ 次のような操作をした場合、本機は再起動します。この時、本体の［POWER］スイッチを切らないでください。

- ［システムセレクト］メニューが［720-**］に設定されている場合で、動画 / 静止画モードを切り換えた時の再起動
- ［システムセレクト］メニューを設定した場合の再起動
- SD カードに保存されている設定ファイルを読み込んだ後の再起動
- 工場出荷設定で［システムセレクト］メニューが変わる場合の再起動

■ 電源は付属の AC アダプターをご使用ください。また付属の AC アダプターは、他で使用しないでください。

■ 端子カバーがある端子を使用しない場合は、端子の破損を防ぐため端子カバーを取り付けてください。

■ ご使用にならないときは、節電のため、［POWER］スイッチを “OFF” に設定してください。

■ 本機清掃の際は外装キャビネット部はやわらかい布でふいてください。シンナーやベンジンなどではふかないでください。表面がとけたり、くもったりします。よごれがひどいときは、中性洗剤を水でうすめてふき、あとでからぶきをしてください。

液晶画面およびビューファインダーについて

■ 液晶画面やビューファインダー画面は精度の高い技術で作られています。液晶画面やビューファインダー画面に黒い点が現れたり、赤、青、白の点が消えないことがありますが、故障ではありません。これらの点は、記録されません。

■ 長時間連続して使用した場合、ビューファインダー画面に表示した文字などが、一定時間残ることがあります。これは、SD カードには記録されません。また、一度電源を入れ直すと、消えます。

■ 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。これは、SD カードには記録されません。

■ 表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。傷がついたり、割れる場合があります。

SD カードの取り扱い

■ アクセス中 (録画、再生、フォーマットなど)、アクセスランプが点滅します。アクセス中に SD カードを抜いたり、電源を切ったり、バッテリーや AC アダプターをはずさないでください。

■ アクセス中のSDカードを抜くなどの操作を行うと、修復要求画面が表示され、修復を実行しても繰り返し表示される場合があります。その場合は SD カードをフォーマットしてください。この場合、データは全て削除されます。

■ 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用や保管しないでください。

■ 挿入方法を間違えると、本機や SD カードの故障の原因となります。

■ 万一の事故による保存データの損害は、弊社で一切の責任を負わないものとします。（データのバックアップをおねがいいたします。）

■ 使用条件の範囲で使用ください。次の場所では使用しないでください。

直射日光の当たる場所、熱機器の近く、炎天下の窓を閉め切った車の中、湿気の多い場所や腐食性のある場所

■ 曲げたり、落としたり、また強い衝撃や振動を与えないでください。

■ 水でぬらさないでください。

■ 強い磁気や電波の発生する機器の近くには置かないでください。

■ 金属部に触らないでください。

■ 破棄するためにすべてのデータを完全に消去したい場合は、市販のデータ消去ソフトを使用するか、または SD カードを金槌などで物理的に破壊することをおすすめします。カメラによるフォーマットや削除ではファイル管理情報が変更されるだけで、データの消去は完全ではありません。

バッテリー（充電式電池）について

■ 必ずビクターのバッテリーをお使いください。
ビクター製以外のバッテリーをご使用になると、安全面、性能面について保証いたしかねます。

■ ご購入時は充電されていません。

■ 低温（10℃ 以下）での使用時は、使用できる時間が短くなったり、動作しないことがあります。冬場の屋外などでは、バッテリーをポケットに入れるなど温かくしてから取り付けます。

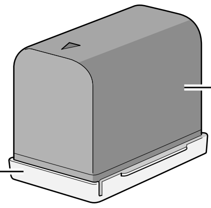
■ 直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。

■ 長時間使わないときは…

①劣化を防ぐため、使い切ってから取り外します。（撮影や再生をしながら、自動的に電源が切れるのを待つ）

②半年に 1 回程度は充電し、使い切って保管する。

■ 取りはずしたバッテリーは、バッテリーキャップを取り付けて、約 15℃ ～ 25℃ の乾燥したところで保管してください。



■ バッテリーを処分するとき

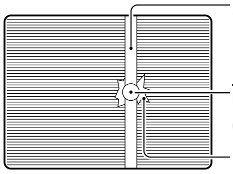
Li-ion

不要になったバッテリーは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

CCD 固有の現象について

スミアとブルーミング

高輝度の光源を撮影すると、垂直方向に白い線が発生するスミア現象や周囲に光が広がって見えるブルーミング現象が起きます。これは、CCD の特性で故障ではありません。



折り返しひずみ

縞模様、線などを写すと、ギザギザに見えることがあります。

白点

高温時に動作させると、画面に白点が現れることがあります。特に感度を上げた場合に目立ってきます。
これは固体撮像素子 CCD の特性です。できるだけ本機の温度が上らない状態で使用してください。

レンズ固有の現象について

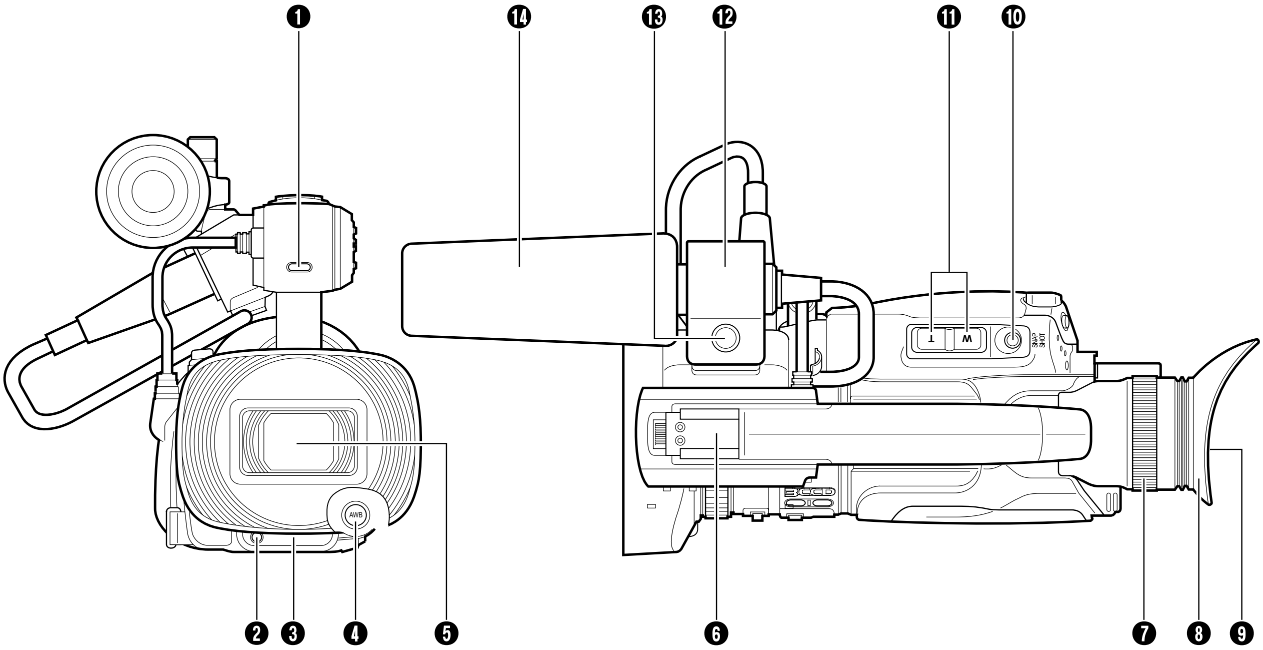
高輝度の光源を撮影すると、ゴースト現象が起きることがあります。これはレンズの特性で故障ではありません。

著作権について

- 本機で記録・録音したものを営業目的、または公衆に視聴することを目的として放映することは、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。
- 記録（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権上、権利者に無断で使用できません。

各部の名称とはたらき

前面　上面



前面

❶ タリーランプ (☞ 56 ページ)

❷ タリーランプ (☞ 56 ページ)

❸ リモコン受光部 (☞ 18 ページ)

❹［AWB］オートホワイトバランスボタン (☞ 35 ページ)
ホワイトバランスを調整します。

❺ レンズ・レンズカバー (☞ 20 ページ)

上面

❻ シュー
別売のアクセサリーを取り付けます。

❼ 接眼部（アイピース）フォーカスレバー
視度調整するためのレバーです。レバーは下側にあります。

❽ 接眼部（アイピース）

❾ ビューファインダー (☞ 22 ページ)

❿［SNAPSHOT］スナップショットボタン (☞ 29 ページ)
静止画記録を開始するためのボタンです。

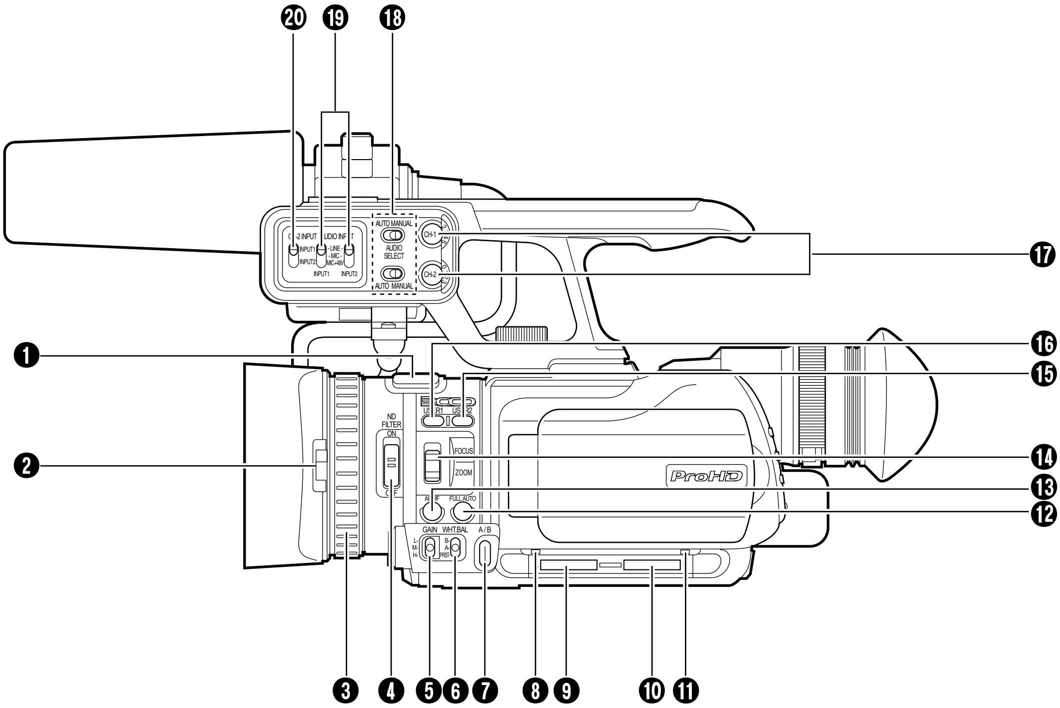
⓫ ズームレバー (☞ 30 ページ)
望遠 (T) または広角 (W) 側にズームします。

⓬ マイクホルダー (☞ 18 ページ)
外部マイクを取り付けます。

⓭ ノブ
マイクの固定ノブです。

⓮ 外部マイク (☞ 18 ページ)

液晶画面側



❶ 内蔵マイク (☞ 40 ページ)

❷ レンズカバースイッチ (☞ 20 ページ)

❸ マニュアルリング (☞ 30 ページ)

❹［ND FILTER］切換スイッチ (☞ 32 ページ)
光量を約 1/10 にカットします。

❺［GAIN］ゲインスイッチ (☞ 37 ページ)
3 段階の感度から選択します。

❻［WHT.BAL.］ホワイトバランス選択スイッチ (☞ 35 ページ)
３種類のホワイトバランスから選択します。

❼［A/B］カードスロット A/B 選択ボタン (☞ 23 ページ)

❽ カードスロット A アクセスランプ (☞ 23 ページ)

❾ カードスロット A(☞ 23 ページ)
SD カードの挿入口です。
ドアを開けて SD カードを挿入します。

❿ カードスロット B(☞ 23 ページ)
SD カードの挿入口です。
ドアを開けて SD カードを挿入します。

⓫ カードスロット B アクセスランプ (☞ 23 ページ)

⓬［FULL AUTO］フルオートモード選択ボタン (☞ 25 ページ)
撮影調整モードをフルオートモードにするかマニュアルモードにするかを選択します。

⓭［AF/MF］フォーカス調整モード選択ボタン (☞ 26 ページ)
フォーカス調整モードをオートモードにするかマニュアルモードにするかを選択します。

⓮［FOCUS/ZOOM］リング切換スイッチ
マニュアルリングの機能をフォーカス調整 (☞ 31 ページ) にするかズーム調整 (☞ 30 ページ) にするかを選択します。

⓯［USER2］ユーザー２ボタン (☞ 21 ページ)
メニュー設定で特定機能の 1 つを任意に割り付けられます。

⓰［USER1］ユーザー１ボタン (☞ 21 ページ)
メニュー設定で特定機能の 1 つを任意に割り付けられます。

⓱［CH-1/CH-2 AUDIO LEVEL］CH-1/CH-2 録音レベル調整ボリューム (☞ 40 ページ)
CH-1 または CH-2 の入力音声レベルを調整します。

⓲［CH-1/CH-2 AUDIO SELECT］CH-1/CH-2 オーディオ選択スイッチ (☞ 40 ページ)
CH-1 または CH-2 の録音レベルの調整方法をオートモードにするかマニュアルモードにするかを選択します。

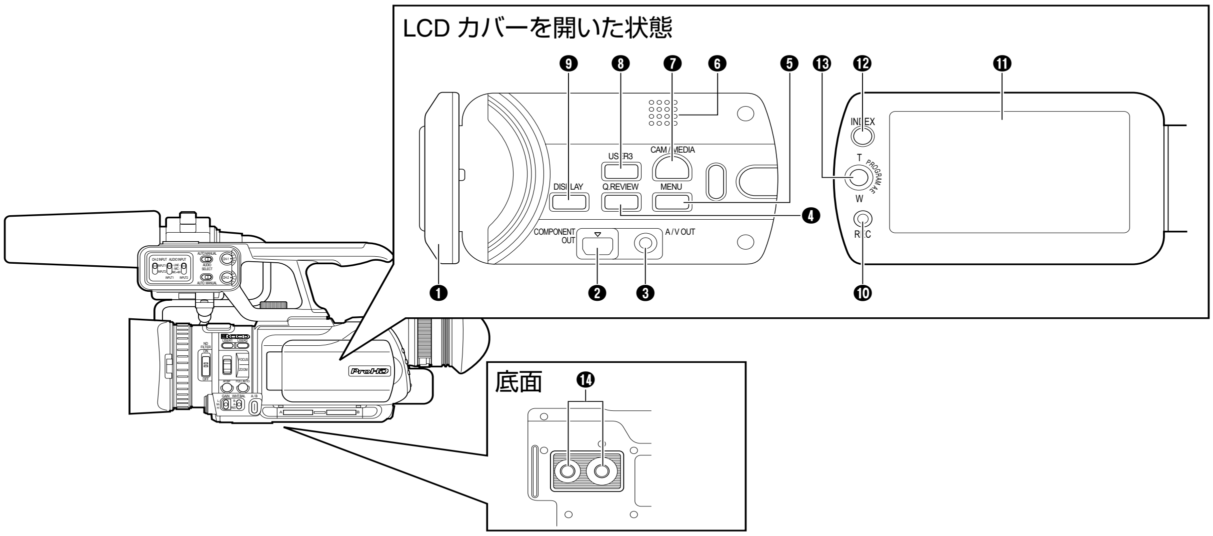
⓳［INPUT1/INPUT2 AUDIO INPUT］INPUT1/INPUT2 オーディオ入力信号選択スイッチ (☞ 40 ページ)
INPUT1 端子または INPUT2 端子の入力信号を選択します。

⓴［CH-2 INPUT］CH-2 オーディオ入力端子選択スイッチ (☞ 40 ページ)
CH-2 オーディオに入力する信号を INPUT1 端子か INPUT2 端子かを選択します。

メモ :
- INPUT1 端子、INPUT2 端子：13 ページの ⓲、⓳

各部の名称とはたらき (つづき)

液晶画面側　(LCD カバー部)



❶ LCD カバー

❷［COMPONENT OUT］コンポーネント出力端子 (☞ 49 ページ)

❸［A/V OUT］音声 / 映像出力端子 (☞ 49 ページ)

❹［Q.REVIEW］クイックレビューボタン (☞ 27 ページ)
撮影直前の映像を確認します。

❺［MENU］メニューボタン (☞ 57 ページ)
メニュー画面を表示します。もう一度押すと、メニュー画面が終了します。

❻ 内蔵スピーカー (☞ 47 ページ)

❼［CAM/MEDIA］カメラ撮影 / メディア再生選択ボタン (☞ 25 ページ)
本機をカメラ撮影モードにするかメディア再生モードにするかを選択します。

❽［USER3］ユーザー３ボタン (☞ 21 ページ)
メニュー設定で特定機能の 1 つを任意に割り付けられます。

❾［DISPLAY］ディスプレイボタン
液晶画面やビューファインダーに表示する内容を切り換えます。(☞ 15 ページ)
再生モード時、ファイル情報を表示します。
(☞ 46 ページ)

❿［REC］動画記録ボタン (☞ 27 ページ)
動画記録を開始または停止するためのボタンです。

⓫ 液晶画面 (☞ 22 ページ)

⓬［INDEX］インデックスボタン
SD カードの残量 (☞ 27 ページ) やバッテリーの残量 (☞ 20 ページ) を表示します。
再生モード時、再生インデックス画面と日付検索画面を切り換えます。(☞ 45 ページ)

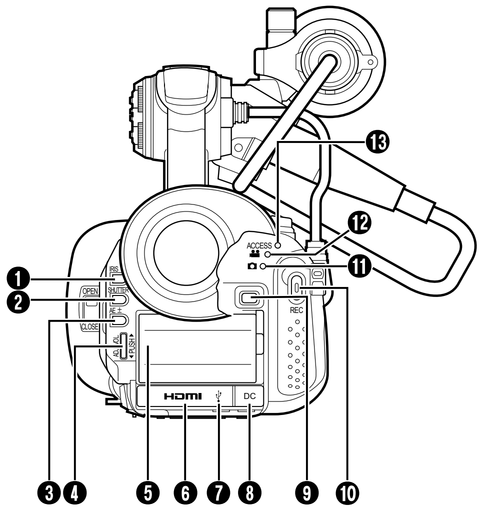
⓭ **Set** レバー
撮影モード時、プログラム AE の選択やズームレバーとして使用します。(☞ 32 ページ)
再生モード時、再生ファイルの選択や再生操作用として使用します。(☞ 43 ページ)
メニュー画面を表示しているときは、メニュー設定用として使用します。(☞ 57 ページ)

底面

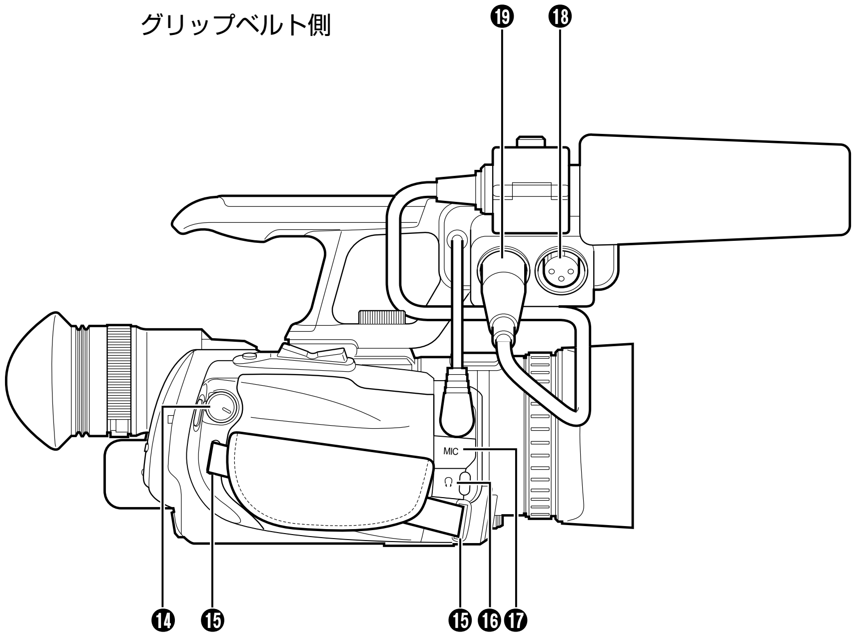
⓮ 三脚取り付け用穴 (☞ 18 ページ)

- 落下防止のため、回転防止穴を利用して確実に取り付けてください。
- ねじ長さは 5mm 以下のものを使用してください。

背面



グリップベルト側



背面

❶［IRIS］絞りボタン (☞ 38 ページ)
手動で絞りを調整する場合、このボタンを押します。

❷［SHUTTER］シャッタースピードボタン (☞ 37 ページ)
手動でシャッタースピードを調整する場合、このボタンを押します。

❸［AE ±］明るさ補正ボタン (☞ 33 ページ)
手動で明るさ補正を調整する場合、このボタンを押します。

❹［ADJ./VOL.］調整 / 音量ダイヤル
ADJ.　: 絞り (☞ 38 ページ)、シャッタースピード (☞ 37 ページ)、明るさ補正を調整します。(☞ 33 ページ)
VOL.　: ヘッドホンや内蔵スピーカの音量を調整します。(☞ 41 ページ)

❺ バッテリー取り付け部 (☞ 19 ページ)

❻［HDMI］端子 (☞ 49 ページ)

❼［USB(⑵)］端子 (☞ 54 ページ)

❽［DC］入力端子 (☞ 19 ページ)

❾ バッテリーロック解除ボタン (☞ 19 ページ)

❿［REC］動画記録ボタン (☞ 27 ページ)
動画記録を開始または停止します。

⓫ 静止画表示灯 (☞ 25 ページ)
静止画撮影および静止画再生モード時、点灯します。

⓬ 動画表示灯 (☞ 25 ページ)
動画撮影および動画再生モード時、点灯します。

⓭［ACCESS］充電 / アクセス表示灯
記録中または再生中は、点灯または点滅します。
バッテリー充電中は、点滅します。（充電完了すると消灯します。）

グリップベルト側

⓮［POWER/MODE］電源 / 動作モードスイッチ
POWER　: 電源を入 / 切します。(☞ 20 ページ)
MODE　: 動画モードと静止画モードを切り換えるためのスイッチです。(☞ 25 ページ)

⓯ グリップベルト取り付け部 (☞ 18 ページ)

⓰［HEADPHONE(🎧)］ヘッドホン端子 (☞ 41 ページ)

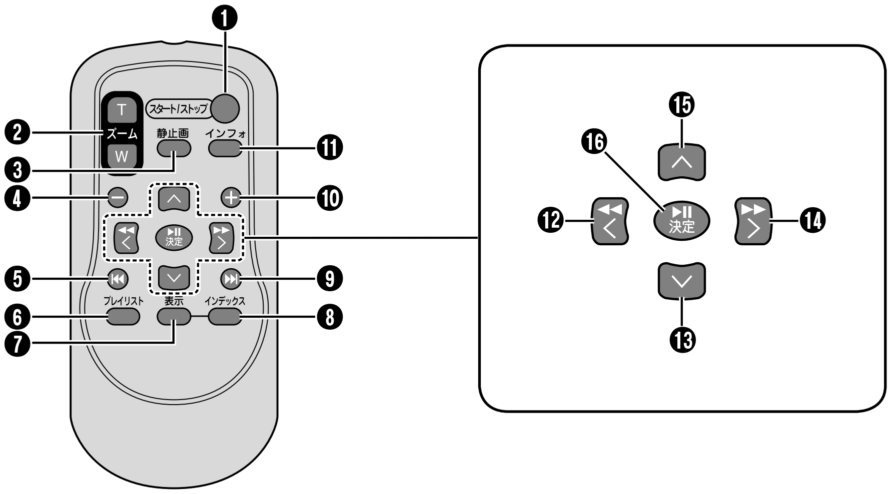
⓱［MIC］マイク入力端子 (☞ 40 ページ)
ミニジャック端子のマイクを接続します。

● MIC 端子から 4V の電圧がマイクに供給されます。

⓲［INPUT1］オーディオ入力１端子 (☞ 40 ページ)
XLR 端子のマイクを接続します。

⓳［INPUT2］オーディオ入力２端子 (☞ 40 ページ)
XLR 端子のマイクを接続します。

リモコンの名称とはたらき



❶ ［スタート / ストップ］ボタン
動画記録を開始または停止するためのボタンです。

❷ ［ズーム］ボタン
(T) 側を押すと、拡大します。
(W) 側を押すと、縮小します。
再生ズームは、動画の一時停止中や静止画の再生中に使用します。

❸ ［静止画］ボタン
静止画記録を開始するためのボタンです。

❹ ［－］ボタン
再生インデックス画面表示時、前の日付に移動します。

❺ [N] 戻るボタン
再生時、ファイルの先頭に戻ります。

❻ ［プレイリスト］ボタン
本機では、使用しません。

❼ ［表示］ボタン
液晶画面やビューファインダーに表示する内容を切り換えます。

❽ ［インデックス］ボタン
SD カードの残量やバッテリーの残量を表示します。
再生モード時、再生インデックス画面と日付検索画面を切り換えます。

❾ [0] 進むボタン
再生時、次のファイルに進みます。

❿ ［＋］ボタン
再生インデックス画面表示時、次の日付に移動します。

⓫ ［インフォ］ボタン
再生モード時、ファイル情報を表示します。

⓬ [＜] 左ボタン
メニュー画面や再生インデックス画面でカーソルが左に移動します。
再生時、リバースサーチします。

⓭ [∨] 下ボタン
メニュー画面や再生インデックス画面でカーソルが下に移動します。

⓮ [＞] 右ボタン
メニュー画面や再生インデックス画面でカーソルが右に移動します。
再生時、フォワードサーチします。

⓯ [∧] 上ボタン
メニュー画面や再生インデックス画面でカーソルを上に移動します。

⓰ ［決定］ボタン
メニュー画面や再生インデックス画面で選択した項目を決定します。
再生モード時は、再生を開始または停止します。

ズームボタンで静止画を拡大しているとき、上下左右ボタンで位置を移動できます。

メモ：
- リモコンを使用する場合は、［本体設定］メニューの［リモコン］を［入］に設定してください。(☞ 67 ページ)

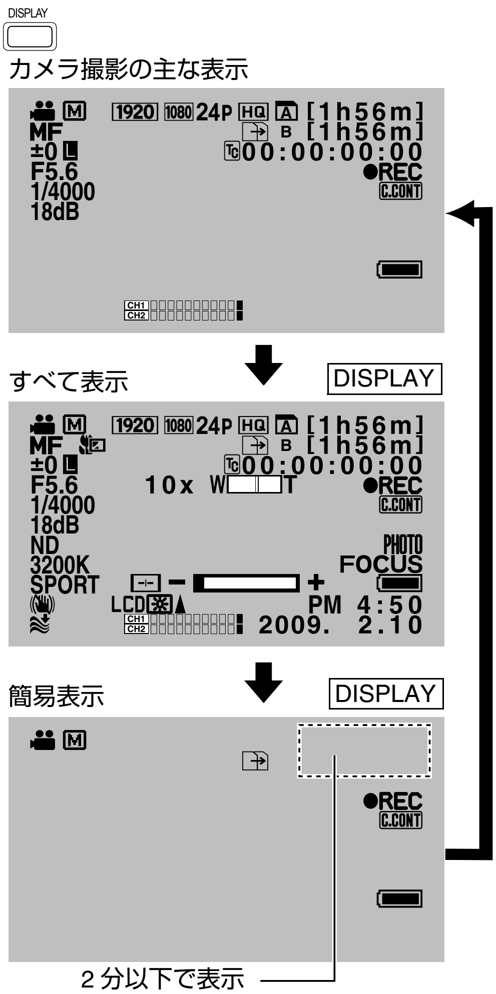
液晶画面およびビューファインダーの画面表示

液晶画面やビューファインダーにステータス画面を表示します。
ステータス画面：現在の設定状態を確認するための画面

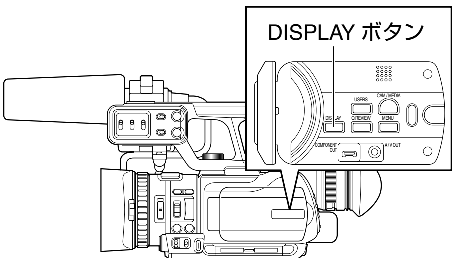
ステータス画面を表示する

■ 動画撮影および静止画撮影モード時

DISPLAY ボタンを押すごとに表示内容が下記のように変わります。
「カメラ撮影の主な表示」→ [すべて表示] →「簡易表示」



上図は、動画撮影モードの図です。

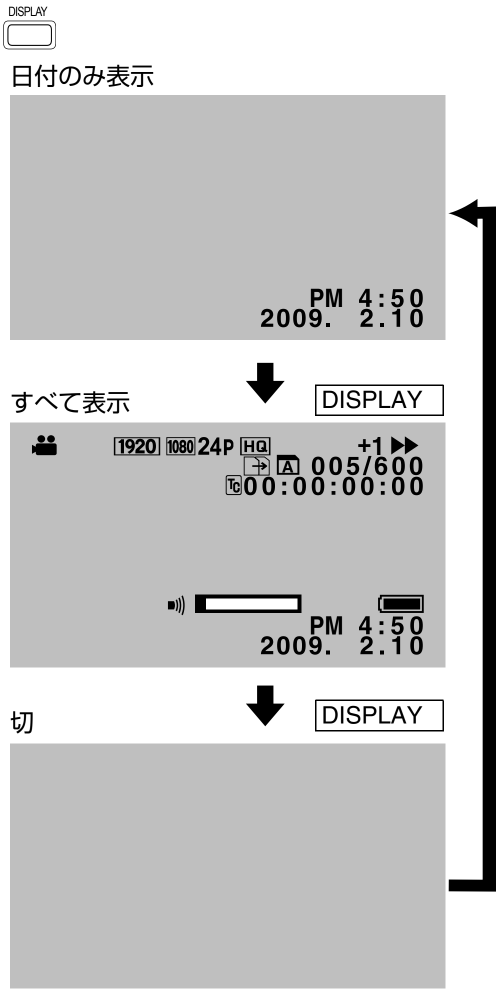


■ 動画再生および静止画再生モード時

［画面表示］メニューの設定で表示内容を選択します。
「メニュー画面を設定する」: (☞ 57 ページ)

切	:	表示しません。
すべて表示	:	すべてのアイコン、日時を表示します。
日付のみ表示	:	日時のみ表示します。
日付５秒表示	:	下記の場合、日時だけ５秒間表示します。 ●再生を開始したとき ●再生中にファイルが変わったとき ●メニュー画面を閉じたとき

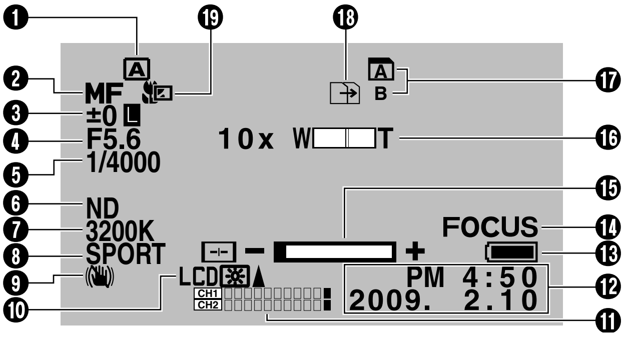
動画再生中は、DISPLAY ボタンを押すごとに、表示内容が下記のように変わります。
「日付のみ表示」→「すべて表示」→「切」



メモ :
- 再生一時停止時やインデックス画面表示時、DISPLAY ボタンを押すと、ファイル情報を表示します。
- 本機の映像出力端子のモニターにオンスクリーン表示したい場合は、［接続設定］メニューの［テレビ表示］を［入］に設定してください。

液晶画面およびビューファインダーの画面表示 (つづき)

動画撮影および静止画撮影の両方で表示する項目



❶ 撮影調整モード
- A ：フルオート調整
- M ：マニュアル調整

❷ フォーカス調整モード
- **AF** ：オートフォーカス
- **MF** ：マニュアルフォーカス

❸ 明るさ補正
- L ：明るさ補正が固定

❹ 絞り

❺ シャッタースピード

❻ ND フィルター
ND フィルタースイッチが “ON” に設定時、表示します。

❼ ホワイトバランスの色温度

❽ プログラム AE
- **PORT** ：ポートレート
- **SPORT** ：スポーツ
- **SNOW** ：スノー
- **SPOT.L** ：スポットライト
- **TWIL.** ：夜景

❾ 手ぶれ補正［切］
［本体設定］メニューの［手ぶれ補正］が［切］に設定時、表示します。

❿ 液晶画面バックライト
［表示設定］メニューの［モニターバックライト］が［オート］に設定時、表示します。

⓫ マイク入力レベル

⓬ 日付・時刻

⓭ バッテリー
バッテリーの容量が無くなると赤色で点滅します。

⓮ フォーカスアシスト
［カメラ設定］メニューの［フォーカスアシスト］が［入］に設定時、表示します。

⓯ スピーカー / ヘッドホン音量（音量調整時に表示）

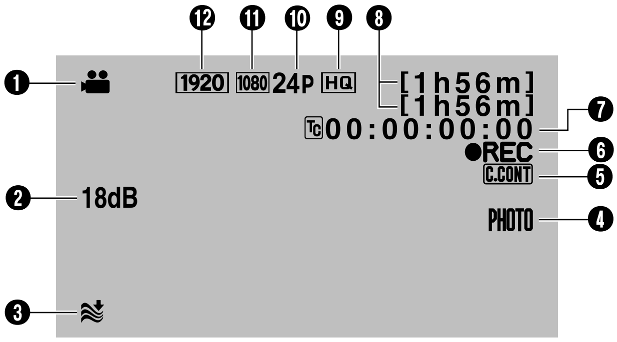
⓰ ズーム

⓱ カードスロット
- ：選択されているカードスロットに左記のカードアイコンが付きます。

⓲ スロット自動切替
［本体設定］メニューの［スロット自動切替］が［入］に設定時、表示します。

⓳ テレマクロ
［カメラ設定］メニューの［テレマクロ］が［入］に設定時、表示します。

動画撮影時のみ表示する項目



❶ 動画モード

❷ 感度

❸ 風きり音
［ウィンドカット］メニューが［入］に設定時、表示します。

❹ 静止画同時記録時、表示

❺ クリップ連続記録
［クリップ連続記録］メニューが［入］に設定時、表示します。

❻ モード表示
- **●REC** ：記録中
- **●II** ：撮影スタンバイモード（記録ポーズモード）

❼ タイムコードまたはユーザーズビット
- TC ：タイムコード
- UB ：ユーザーズビット

タイムコードのフレーミングモード表示は、下記をご覧ください。

TC 00:00:00:00 ノンドロップフレームはコロン (:)
→ ドロップフレームはドット (.)

❽ SD カード残量時間

❾ 動画画質
- SP ：標準画質
- HQ ：高画質

❿ フレームレート

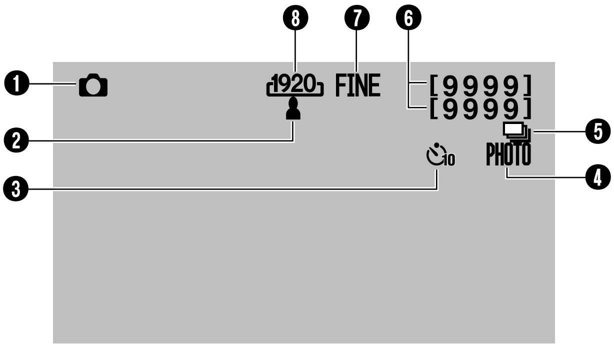
⓫ 垂直解像度

⓬ 水平解像度

［ファイル形式］メニューの設定に応じて、❾、❿、⓫、⓬ のアイコンの色が変わります。

［QuickTime file format］に設定時	：	青色で表示します。
［MP4 file format］に設定時	：	オレンジ色で表示します。

静止画撮影時のみ表示する項目



❶ 静止画モード

❷ ピントアイコン
黄色点滅　：ピント合わせ中
緑色点灯　：ピント合わせ完了

❸ セルフタイマー
10　：１０秒セルフタイマー
2　：２秒セルフタイマー

❹ 静止画記録時、表示

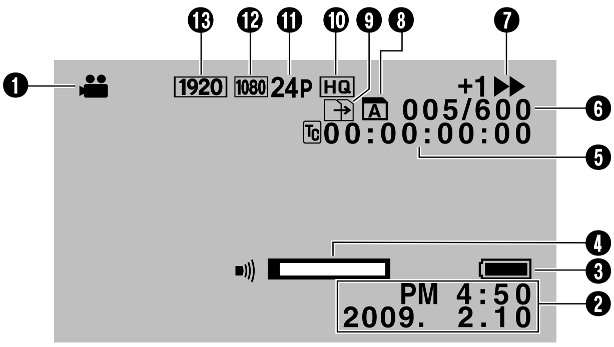
❺ シャッターモード
：連写
：ブラケット撮影

❻ SD カード記録可能残り枚数

❼ 静止画画質
FINE　：高画質
STD　：標準画質

❽ 静止画サイズ

動画再生時に表示する項目



❶ 動画モード

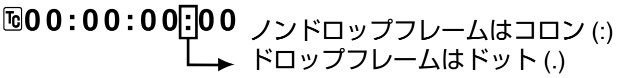
❷ 日付・時刻

❸ バッテリー
バッテリーの容量が無くなると赤色で点滅します。

❹ スピーカー / ヘッドホン音量（音量調整時に表示）

❺ タイムコードまたはユーザーズビット
TC　：タイムコード
UB　：ユーザーズビット

タイムコードのフレーミングモード表示は、下記をご覧ください。



❻ 現在ファイル番号 / 総ファイル数

❼ モード
▶　：再生
❚❚　：再生一時停止
▶▶　：フォワードサーチ
◀◀　：リバースサーチ
❚❚▶　：フォワードスロー
◀❚❚　：リバーススロー
左側の数字はスピードのステップを示しています。

❽ カードスロット

❾ スロット自動切替
［本体設定］メニューの［スロット自動切替］が［入］に設定時、表示します。

❿ 動画画質
SP　：標準画質
HQ　：高画質

⓫ フレームレート

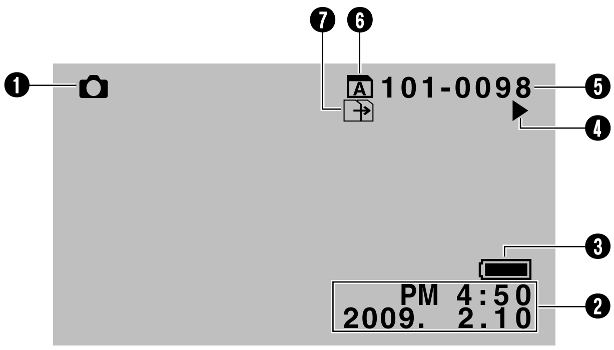
⓬ 垂直解像度

⓭ 水平解像度

［ファイル形式］メニューの設定に応じて、❿、⓫、⓬、⓭ のアイコンの色が変わります。

［QuickTime file format］に設定時	：	青色で表示します。
［MP4 file format］に設定時	：	オレンジ色で表示します。

静止画再生時に表示する項目



❶ 静止画モード

❷ 日付・時刻

❸ バッテリー
バッテリーの容量が無くなると赤色で点滅します。

❹ スライドショー再生時に点滅

❺ 現在のファイルのフォルダ番号とファイル番号

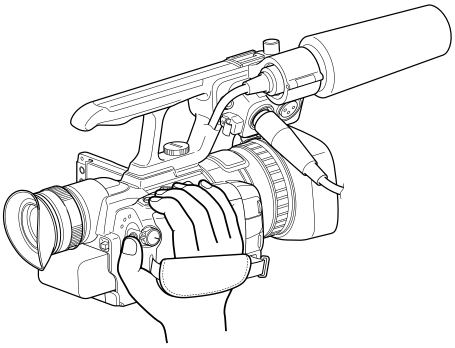
❻ カードスロット

❼ スロット自動切替
［本体設定］メニューの［スロット自動切替］が［入］に設定時、表示します。

使用前の設定・調整

グリップベルトを調整する

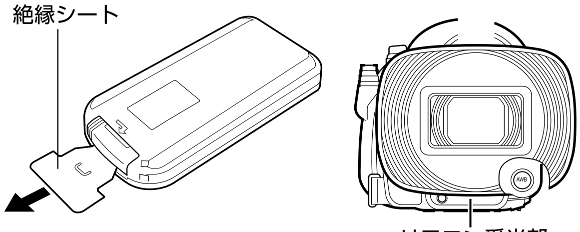
パッドを開いてグリップベルトの位置を調整してください。



ご注意：
- ゆるんでいると、落下によるけがや故障の原因になります。
- お子様がご使用のときは、保護者の方が十分にご注意ください。

リモコンを準備する

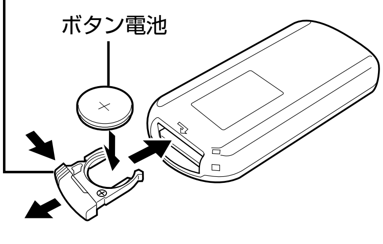
お買い上げ時、リモコンに、電池が内蔵されています。
ご使用時、絶縁シートを引き抜いてください。



メモ：
- リモコンを使用する場合は、［本体設定］メニューの［リモコン］を［入］に設定してください。
- リモコンは受光部に正面から向け、約5 m 以内でご使用ください。角度によってはリモコンの操作を受け付けない場合があります。

■ 電池を入れ替えるとき

1. ロックタブを押してバッテリーホルダーを引き出す
2. ボタン電池 (CR2025) を入れ替えてください



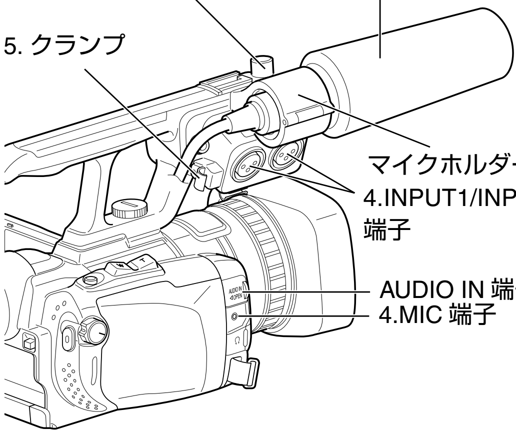
外部マイクを取り付ける

マイクホルダーにマイクを取り付けます。
付属のマイクはファントムマイクです。

1. マイクホルダーのノブを反時計方向に回してゆるめ、マイクホルダーを開く
2. マイクをマイクホルダーにセットする
3. マイクホルダーのノブを時計方向に回してマイクを固定する
4. マイクケーブル端子の形式に応じて、マイクを **INPUT1**、**INPUT2** オーディオ入力端子または **MIC** 端子に接続する

INPUT1/INPUT2 端子	: XLR 端子
MIC 端子	: ミニジャック端子 (ステレオ)

5. マイクケーブルをクランプに取り付ける
6. 音声入力用の設定を正しくおこなう (☞ 40 ページ)

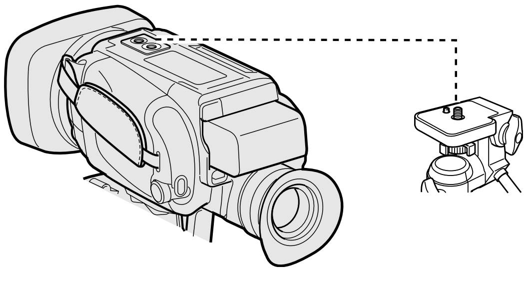


メモ：
- オーディオユニットのケーブルが本体の AUDIO IN 端子に接続されているときは、MIC 端子は機能しません。

三脚に取り付ける

落下などによるけがや故障をふせぐため、お使いの三脚の説明書をご覧になり、確実に取り付けてください。
(☞ 12 ページ)

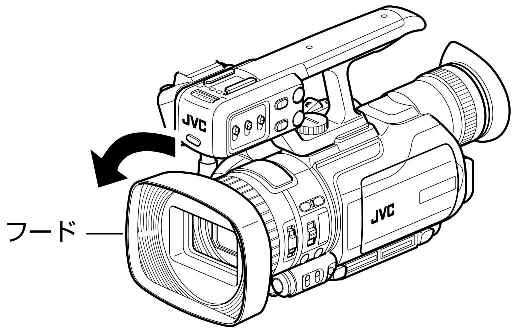
ご注意：
- 三脚は、安定した場所でお使いください。



フードをはずす

レンズ前面にテレコンバータ、ワイドコンバータまたはフィルター (外径 50mm 以下) を取り付ける場合は、フードをはずしてください。

■ フードを反時計方向に回すと、フードがはずれます。



バッテリーを充電する

バッテリーの充電方法は、２つあります。

■ 付属のバッテリーチャージャーで充電する。

■ 本体で充電する。

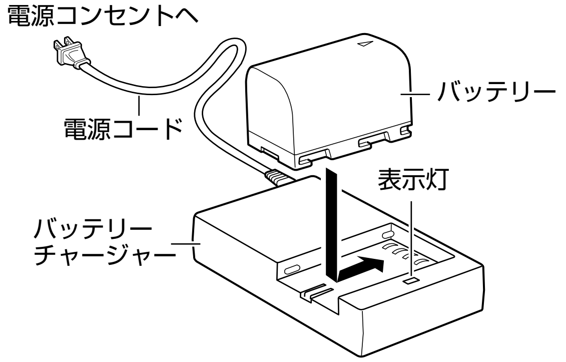
付属のバッテリーチャージャーで充電する

1. バッテリーチャージャーの電源コードを電源コンセントにつなぐ

2. 付属のバッテリーを押しながら矢印方向にずらし、バッテリーチャージャーに取り付ける

- 充電は始まり、表示灯が点滅します。
- 充電が終わると、表示灯が点灯します。

3. 充電が完了したら、バッテリー取り付け時とは反対方向にバッテリーをずらし、はずす



本体で充電する

1. 本機の電源を切った状態にする

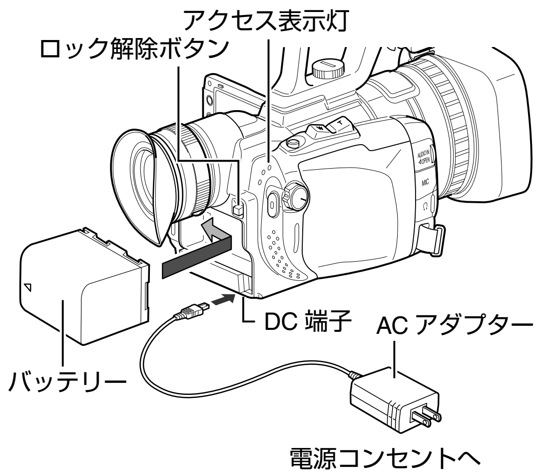
2. 付属のバッテリーを取り付ける

バッテリーのマーク (◁) を左向きにして本機に挿入して左方向にスライドする

3. 本機付属の AC アダプターを接続する

DC ケーブルを DC 端子に接続、AC アダプターを電源コンセントに接続する

- 充電が始まり、アクセス表示灯が点滅します。
- 充電が終わると、アクセス表示灯が消えます。



充電時間と連続撮影時間のめやす

バッテリー	充電時間	連続撮影時間
BN-VF815	約２時間４０分	約１時間２５分
BN-VF823 (付属品)	約３時間４０分	約２時間１０分

- 上記の充電時間は周囲温度が 10ºC 〜 35ºC の範囲を想定しています。
- 長い間保管していたバッテリーの場合、充電時間が長くなります。
- 撮影時間は、バッテリーの古さ、充電状況、動作環境などによって異なります。
- 撮影時間は寒冷地で短くなります。
- 撮影時間は、ズームや液晶画面を多用すると短くなります。

■ バッテリーをはずす

1. 電源を切った状態にする

2. バッテリーロック解除ボタンを押して、バッテリーを右方向にずらす

使用前の設定・調整 (つづき)

バッテリー残量のめやすを調べる

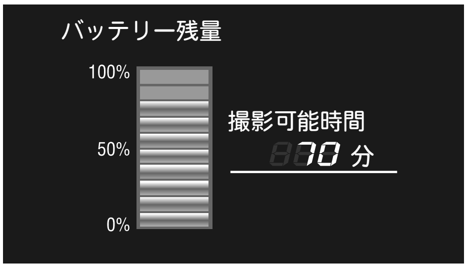
準備：バッテリーを取り付ける

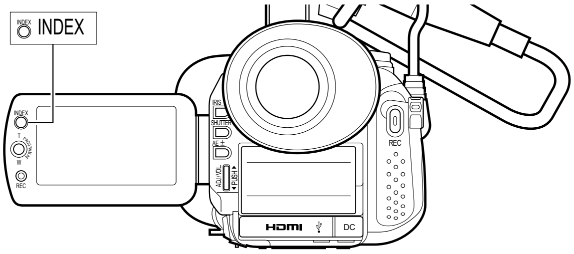
1. INDEX を押す

● バッテリー残量と撮影可能時間を約３秒表示します。



INDEX を２秒以上押し続けると、約１５秒表示します。





メモ :

- 撮影可能時間は、めやすとしてお使いください。
  １０分単位で表示します。
- 液晶画面で確認した場合とビューファインダーで確認した場合で撮影可能時間が異なることがあります。

■ 電源が入っている場合

1. 動画撮影モード　:INDEX を３回押す
静止画撮影モード :INDEX を１回押す

2. INDEX を押して、表示を消す

メモ :

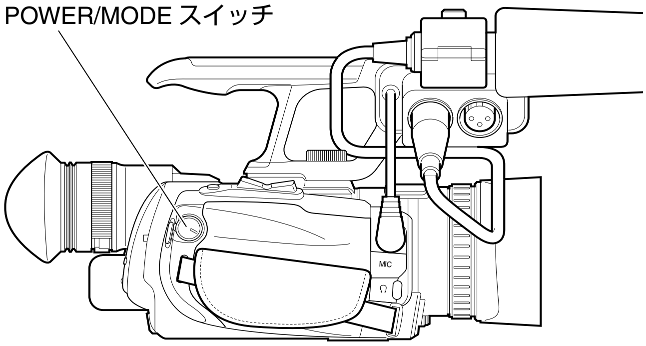
- 動画撮影中は、表示しません。
- AC アダプター使用時は、表示しません。

電源を入れる

準備：充電したバッテリーまたは AC アダプターを接続する。

1. POWER/MODE スイッチを ON にする

POWER/MODE スイッチ



●本機は動画撮影モードで電源が入ります。

■ 電源を切るには

1. POWER/MODE スイッチを OFF にする

■ Auto Power Off 機能

［本体設定］メニューの［オートパワーオフ］を［入］に設定時、5 分以上操作されない場合、自動的に電源を切ります。

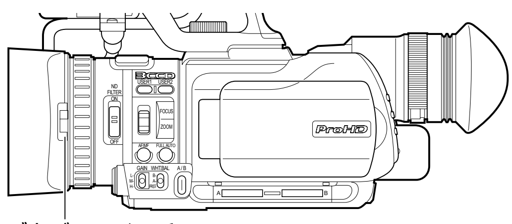
レンズカバー

撮影する場合、レンズカバーを開けてください。
本機を使用しないときは、レンズを保護するため、レンズカバーを閉じてください。

■ レンズカバーの開閉は、レンズカバースイッチで行います。

ご注意 :

- レンズカバーを強く押さないでください。レンズやカバーが破損するおそれがあります。

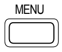


レンズカバースイッチ

日付を設定する

1. 電源を入れる

2. MENU を押す



3.［表示設定］メニューを選択する

Set レバーを上または下に押して選び、中央を押す。



4.［時計合わせ］を選択する

Set レバーを上または下に押して選び、中央を押す。

5. 日付と時刻を設定する

Set レバーを上下に押して設定値を変える。
Set レバーを左右に押して桁を移動する。
Set レバーの中央を押して確定する。



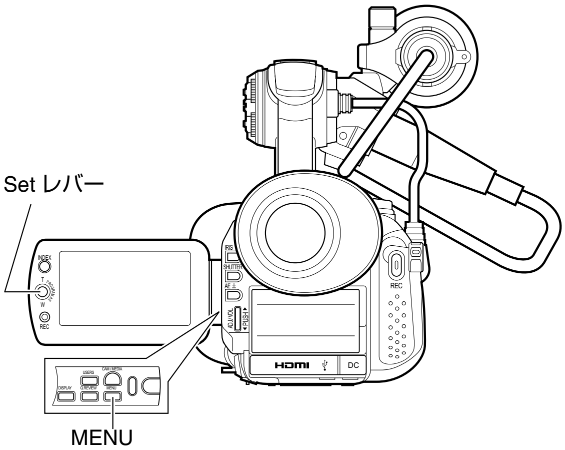


■ 前画面に戻る場合は、Set レバーを左に押す。

■ メニュー画面を閉じる場合は MENU を押す。

メモ：

- 日付時刻が未設定の場合、電源を入れるごとに " 時計を合わせてください " と表示します。
- ［表示設定］メニューの［日付表示配列］項目で日付や時刻の表示スタイルを選択できます。(☞ 65 ページ)

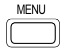


言語を設定する

ディスプレイの言語を変えます。

1. 電源を入れる

2. MENU を押す



3.［表示設定］メニューを選択する

Set レバーを上または下に押して選び、中央を押す。



4.［ＬＡＮＧ．／言語］を選択する

Set レバーを上または下に押して選び、中央を押す。

5. 言語を設定する

Set レバーを上下に押して選択する。
Set レバーの中央を押して確定する。



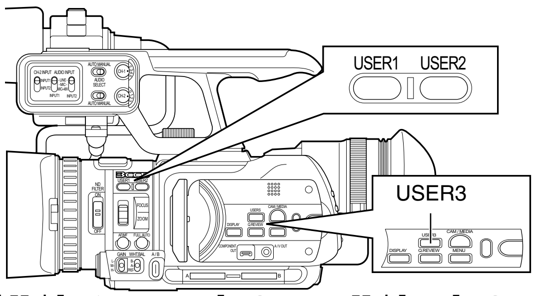
■ 前画面に戻る場合は、Set レバーを左に押す。

■ メニュー画面を閉じる場合は MENU を押す。

表記される文語	意味
日本語	日本語
ENGLISH	英語
FRANÇAIS	フランス語
DEUTSCH	ドイツ語
ESPAÑOL	スペイン語
ITALIANO	イタリア語
РУССКИЙ	ロシア語
汉语	簡体中国語

USER ボタンへ機能を割り付ける

本機は、USER ボタンを 3 箇所備えています。各 USER ボタンに対してそれぞれ任意の機能を持たせることができます。



［本体設定］メニューの［ＵＳＥＲ １設定］，［ＵＳＥＲ ２設定］および［ＵＳＥＲ ３設定］を設定してください。(☞ 66 ページ)

使用前の設定・調整 (つづき)

ビューファインダー / 液晶画面を見る

本機は、ビューファインダー、液晶画面の両方または片方で映像をモニターできます。

■ ビューファインダーで見る

1. **ビューファインダーを引き出す**

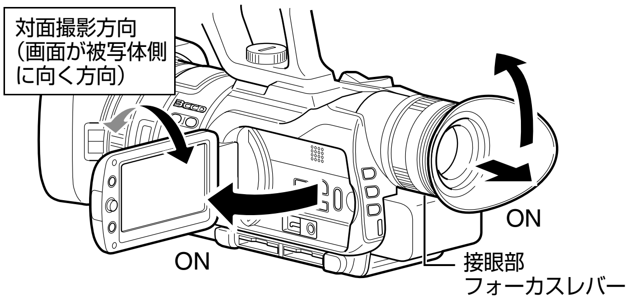
2. **ビューファインダーを垂直方向に傾けて、見やすい位置にする**

3. **接眼部フォーカスレバーを回してフォーカス調整する**

■ 液晶画面で見る

1. **LCD カバーを開く**

2. **LCD カバーを傾け、見やすい位置にする**



ビューファインダーと液晶画面の画面表示の関係

VF の状態	LCD の状態	映像出力
OFF	OFF	VF
ON	OFF	VF
OFF	ON	LCD、VF(※2)
ON	ON	メニュー設定に従う（※1）
ON	ON (対面撮影方向)	VF と LCD 両方

※1［本体設定］メニューの［優先設定］に従う。(☞ 67 ページ)

※2［優先設定］を［ファインダー常時］に設定時

メモ :

- HDMI 端子、COMPONENT OUT 端子または A/V OUT 端子を接続時、ビューファインダーに映像は表示されません。

■ ビューファインダー / 液晶画面の明るさを調整する

ビューファインダーに画面を表示している時は、ビューファインダーの明るさを調整します。
液晶画面に画面を表示している時は、液晶画面の明るさを調整します。
両方に表示している時は、ビューファインダーの明るさを調整します。

［表示設定］メニューの［モニター明るさ調整］を選択する。(☞ 65 ページ)

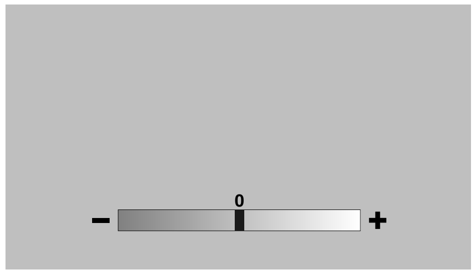
画面に明るさ調整用のスライドバーが表示されます。

1. **Set レバーを右または左方向に押す**

- スライドバーが移動し、画面の明るさが変わります。

2. **Set レバーの中央を押す**





■ 液晶画面のバックライトの明るさを設定する

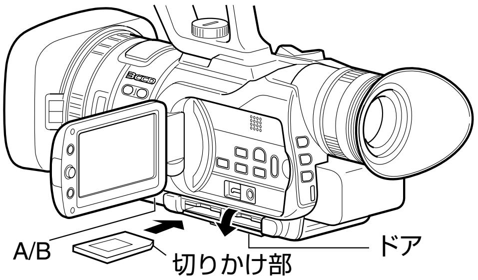
［表示設定］メニューの［モニターバックライト］を選択する。(☞ 65 ページ)

SD カードを入れる

本機には SD カードスロットが 2 箇所備わっています。
(スロット A およびスロット B)

■ 使用する SD カードについて

- 5 ページの「SD カードについて」をご覧ください。
- SDXC カードは使用できません。



準備：電源を切ります。

1. ドアをあける

2. 切りかけ部を奥にして SD カードをスロットに入れる

3. ドアをとじる

■ カードスロットを選択するには

A/B ボタンを押す。

- スロット A またはスロット B に切り換えます。
- SD カードが挿入されていた場合、選択したスロットのアクセスランプが点灯します。
- SD カードへのアクセス中、アクセスランプが点滅します。

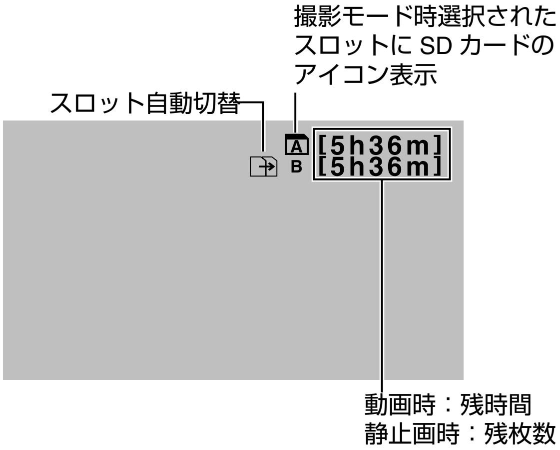
■ スロット A および B を自動切り換えするには

[本体設定] メニューの [スロット自動切替] を [入] に設定する。(☞ 66 ページ)

- 撮影モード時は、録画対象 SD カードの残量がなくなると、もうひとつの SD カードに録画を行います。
- 再生モード時は、再生対象 SD カードの再生を終了すると、もうひとつの SD カードの再生を行います。
- スロット自動切替機能が [入] 時、画面上にスロット自動切替のアイコンが表示されます。

メモ :

- 切り替わり先の SD カードが認識できていない場合、スロットは切り替わりません。
- 録画中に切り替わり先のスロットに SD カードを入れた場合、SD カードを認識できないため自動切り替えができません。一度録画を停止して SD カードを認識させてください。



■ SD カードを取り出す

1. ドアをあける

2. 取り出したい SD カードがアクセス中 (アクセスランプが点滅) でないことを確認する

3. SD カードを押して、取り出す

4. ドアを閉じる

ご注意 :

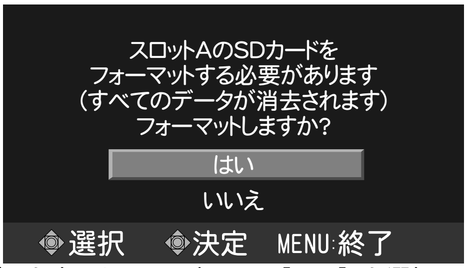
- SD カードの挿入や取り出し時、SD カードの金属端子部に触れないでください。

使用前の設定・調整 (つづき)

SD カードをフォーマットする

本機で、はじめて使う SD カードはフォーマットする。

フォーマットが必要なカードが挿入された場合、フォーマットを促す画面が表示されます。



Set レバーを上または下に押して［はい］を選択し、Set レバーの中央を押す。

- フォーマットが実行されます。



■ 必要に応じて SD カードをフォーマットするには

［メディア設定］メニューの［フォーマット］を選択してください。(☞ 63 ページ)

フォーマット実行画面が表示されます。

1. フォーマットを行うスロットを選択する

2. フォーマットの内容を選択する

ファイル	すべてのファイルを消去します。
ファイル + 管理番号	動画および静止画のファイル番号を初期化し、すべてのファイルを消去します。

Set レバーを上または下に押して選び、中央を押す。

- フォーマット実行画面が表示されます。



3. Set レバーを上または下に押して［はい］を選び、Set レバーの中央を押す

- フォーマットが実行されます。



ファイル番号をリセットする

録画を開始するごとに SD カードに記録されるファイル番号が一つずつ増えます。

撮影前に、次に撮影するファイル番号をリセットすることができます。

■ 動画ファイル番号をリセットするには

［メディア設定］メニューの［動画番号リセット］を選択する。(☞ 63 ページ)

■ 静止画ファイル番号をリセットするには

［メディア設定］メニューの［静止画番号リセット］を選択する。(☞ 63 ページ)

- 動画または静止画リセット実行画面が表示されます。

Set レバーを上または下に押して［はい］を選び、Set レバーの中央を押す。

- 動画または静止画リセットが実行されます。



動画の場合：

動画ファイル形式ごとに親フォルダが 1 つ作成されています。番号リセット後の最初の撮影時、親フォルダに存在していない最小の番号でファイルを作成します。

静止画の場合：

最後に撮影したフォルダ番号またはメディアに記録されているフォルダの最大番号に 1 を足した番号で新規にフォルダを作成します。

フォルダ / ファイル番号

■ 動画

ファイル形式 (QuickTime(MOV)、MP4) ごとに親フォルダが作成されます。

ファイル名は、下記のようになります。

***_0001_01. 拡張子　～　***_9999_99. 拡張子

***：固有の番号（本機シリアル番号の下 3 桁）

※ SD カードに記録できる動画のフォルダ / ファイル数は、QuickTime(MOV) と MP4 の両形式を合わせて 600 までです。

■ 静止画

フォルダ番号：100JVCSO　～　999JVCSO

ファイル番号：PIC0001.JPG　～　PIC0999.JPG

撮影モードを選択する

動画／静止画撮影モードを選択する

撮影モードとして動画撮影と静止画撮影の２つのモードがあります。

1. 撮影モードにする

CAM/MEDIA を押す。

- 撮影モード時は、モニターにカメラ映像を表示します。

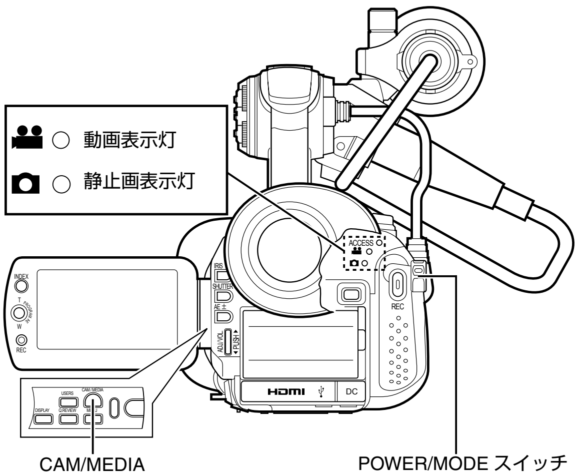


2. 動画モード／静止画モードを選択する

モードによって操作方法が異なります。

静止画モード ⇨ 動画モード	POWER/MODE スイッチを MODE 側に回す。
動画モード ⇨ 静止画モード	POWER/MODE スイッチをモード側に回し、約 1 秒間保持する。





動画モード時

- 動画表示灯が点灯します。
- 画面上部に動画アイコンが表示されます。

静止画モード時

- 静止画表示灯が点灯します。
- 画面上部に静止画アイコンが表示されます。

メモ :

- 動画撮影モード時、静止画録画ができます。(☞ 28 ページ)
- ［システムセレクト］メニューが［720-**］に設定されている場合、動画 / 静止画モードを切り換えると本機は再起動します。

フルオート／マニュアル撮影モードを選択する

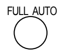
撮影の調整モードはフルオートとマニュアルの２つのモードがあります。

■ フルオート撮影モードにする

FULL AUTO を 1 回押すと、現在の調整モードが表示されます。モード表示中、FULL AUTO を押すと設定が変わります。

FULL AUTO を押して、画面上部にフルオート撮影モードのアイコン (A) を表示させます。

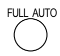
- 明るさ、絞り、シャッタースピード、ホワイトバランスなどを自動で調整します。

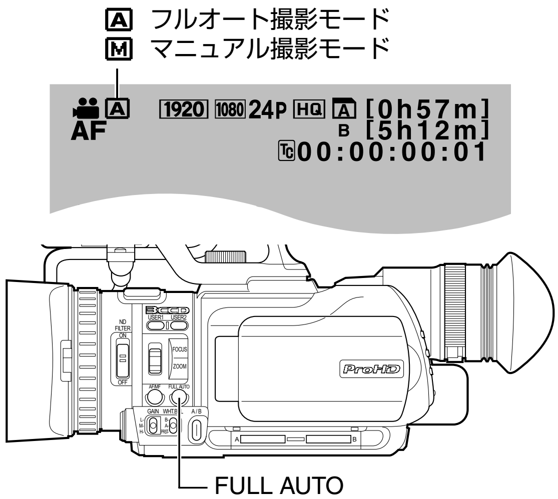


■ マニュアル撮影モードにする

FULL AUTO を押して、画面上部にマニュアル撮影モードのアイコン (M) を表示させます。

- マニュアル撮影モードにしても、絞りアイコンやシャッタースピードアイコンが消えている場合、絞りやシャッタースピードはオートで動作します。絞りやシャッタースピードをマニュアルで動作させる場合は、IRIS ボタンや SHUTTER ボタンを押して、値を表示させることで可変できます。(☞ 37、38 ページ)





撮影モードを選択する (つづき)

フォーカス調整モードを選択する

フォーカス調整方法は、オートとマニュアルの２つあります。

■ オートフォーカスモードにする

AF/MF を押して、画面にオートフォーカスのアイコン (**AF**) を表示させせます

- 自動でピントを合わせます。



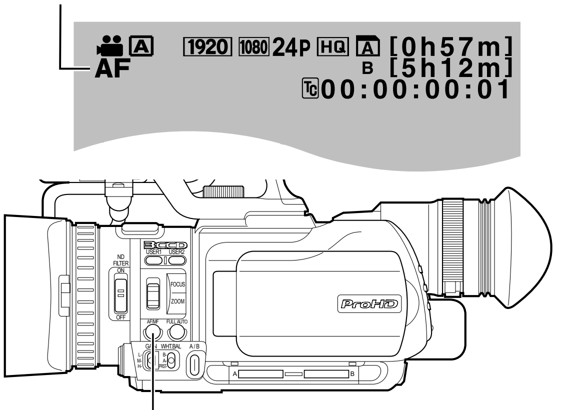
■ マニュアルフォーカスモードにする

AF/MF を押して、画面にマニュアルフォーカスのアイコン (**MF**) を表示させせます

- 手動でピントを合わせます。(☞ 31 ページ)



AF　オートフォーカスモード
MF　マニュアルフォーカスモード



動画撮影モードで使用する

映像フォーマットを設定する

■ 動画ファイル形式を設定する

SD カードに動画記録するファイル形式を設定します。（QuickTime または MP4）
設定
［ファイル形式］メニューを設定する。(☞ 61 ページ)

■ 映像システムを設定する

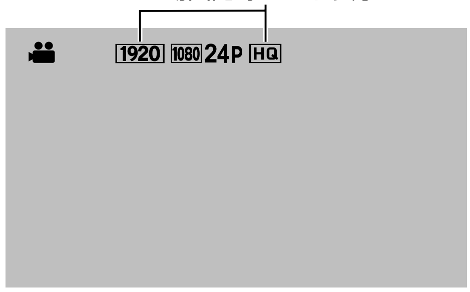
本機の映像システム（垂直解像度とフレームレート）を設定します。例：１０８０－６０／３０
設定
［システムセレクト］メニューを設定する。(☞ 61 ページ)
このメニューの設定を変えると、本機は再起動します。

■ 記録モードを設定する

水平解像度、フレームレート、スキャン方式および画質モードを設定します。例：1920/60i(HQ)
設定
［記録モード］メニューを設定する。(☞ 62 ページ)

- 画面上部に設定した記録モードが表示されます。

動画記録モード表示



メモ :

- ［ファイル形式］メニューの設定に応じて、記録モード表示の色が変わります。
  ［QuickTime file format］に設定時 : 青色
  ［MP4 file format］に設定時 : オレンジ色

SD カードの残量を表示する

SD カードの残容量を示す円グラフと各動画記録モードに応じた残量時間を表示します。
準備：SD カードを入れる。

1. 残量時間を表示する

INDEX を押す。

- SD カードの残量時間を表示します。

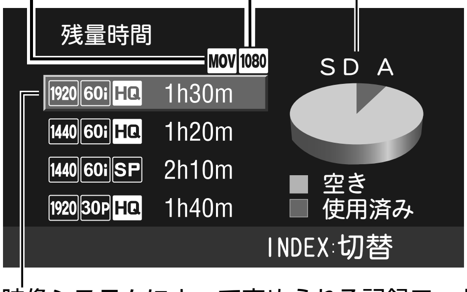


ファイルアイコン
［ファイル形式］メニューで選択している内容を表示します。
ファイル形式によって表示する色が変わります。

QuickTime file format	：	青色
MP4 file format	：	オレンジ色

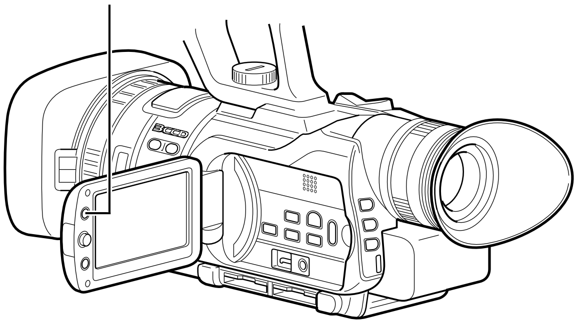
垂直解像度アイコン（1080 または 720）
［システムセレクト］メニューで選択している内容を表示します。

SD カードスロット



映像システムによって定められる記録モードのアイコンを表示します。
現在選択されている記録モードの撮影可能時間をハイライトします。［記録モード］メニューの設定で記録モードを変えることができます。

INDEX



2. INDEX を押すごとに残量表示は次の様に変わります。

- AC アダプター使用時
  スロット A➡ スロット B➡ 表示終了

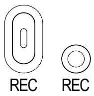
バッテリー使用時
スロット A➡ スロット B➡ バッテリー残量 ➡ 表示終了

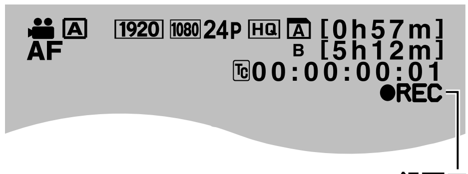
動画を撮る

準備：動画撮影モードにする。(☞ 25 ページ)
本機には、動画撮影をするための REC ボタンが２箇所あります。（背面部および LCD カバー部）
いずれのボタンでも操作できます。

1. REC を押す

- 録画を始めます。

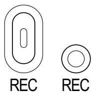


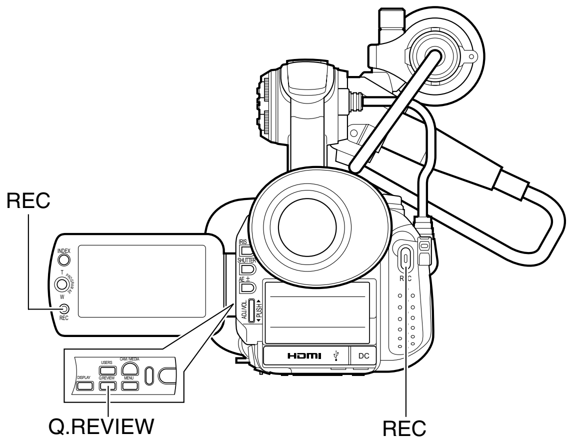


録画モード

2. REC を押す

- 録画を停止します。（記録ポーズ）





メモ：

- １つの動画ファイルの容量は最大 4GB です。超えるときは分割されます。
- SD カードの容量がなくなると録画を停止します。［本体設定］メニューの［スロット自動切替］が［入］に設定時、SD カードの容量がなくなると、もう１つの SD カードに録画を始めます。

動画撮影モードで使用する (つづき)

直前に撮った映像を確認する

1. 記録ポーズにする

2. **Q.REVIEW を押す**

- 直前シーンの最後の映像を約 5 秒間再生します。
- 再生後、録画ポーズになります。

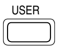


レビュー再生時、録画を開始したい場合は、REC を２回押してください。

■ 直前のシーンファイルを削除する

レビュー再生中、［ゴミ箱］に設定した USER ボタンを押す。

USER ボタンの機能割付：(☞ 21, 66 ページ)

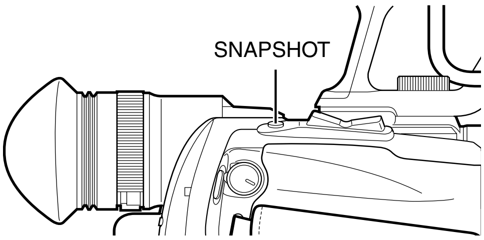


動画撮影モード時、静止画を撮る

録画中または停止中、SNAPSHOT を全押しする。

- 静止画を撮ったとき、モニター画面に “PHOTO” と表示します。





メモ :
- １回の録画中は、３枚までの静止画記録ができます。
- 録画停止中は、SD カードの容量がなくなるまで記録できます。ただし、スロット自動切替は行いません。
- SNAPSHOT の半押しは無効です。
- 記録される静止画サイスは、1920x1080 です。
- 連写やブラケット撮影やセルフタイマーは無効です。
- ［システムセレクト］メニューが［720-**］に設定されている場合、静止画を記録できません。

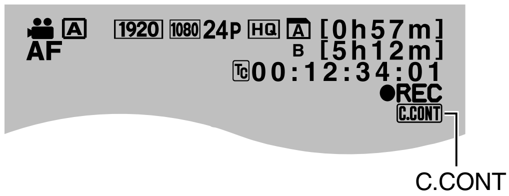
クリップを連続して録画する

通常は、録画を 1 回行うごとに 1 つのファイルが SD カードに記録されます。
クリップ連続記録機能を用いると、録画と録画の間に録画ポーズがあっても、録画ファイルを 1 つのファイルとして作成します。

■ クリップ連続記録モードにする

［クリップ連続記録］メニューを［入］に設定する。

- 画面に “C.CONT” と表示されます。

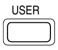


- ［クリップ連続記録］メニューを［入］に設定している間、録画ポーズ中は ●❚❚ アイコンが黄色で点灯します。

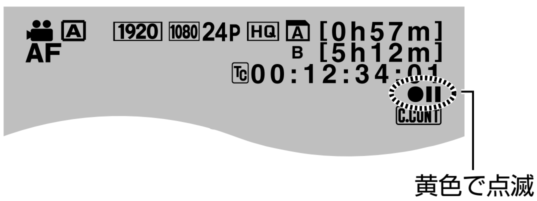
■ ファイルを終了する

録画中、ファイルを終了する場合：REC を 1 秒以上、長押しする。

録画ポーズ時、ファイルを終了する場合：
［クリップクローズ］に設定した USER ボタンを押す。
USER ボタンの機能割付：(☞ 21，66 ページ)
または
［クリップ連続記録］メニューを［切］に設定する。



- ファイルを終了しているとき、画面上の ●❚❚ アイコンが黄色で点滅します。



■ 録画中の注意

- SD カードを抜かないでください。SD カードを抜く場合は、ファイルを終了してください。
- SD カードの残量が無くなった場合、録画を停止し、ファイルが終了します。
- ［POWER］スイッチで電源を切った場合やバッテリーの残量低下により電源が切れそうになった場合、録画を停止し、ファイルを終了したあとに電源が切れます。

■ 録画ポーズ中（●❚❚ アイコン黄色点灯）の注意

- 再生モードや静止画モードへの切り換えはできません。
  動作モードを変える場合は、ファイルを終了してください。
- クイックレビュー再生はできません。
  クイックレビュー再生をする場合は、ファイルを終了してください。
- SD カードを抜かないでください。SD カードを抜く場合は、ファイルを終了してください。
- ［POWER］スイッチで電源を切った場合やバッテリーの残量低下により電源が切れそうになった場合、ファイルを終了したあとに電源が切れます。
- バッテリーをはずしたり、AC アダプターを抜いたりして直接電源を切らないでください。

静止画撮影モードで使用する

静止画の画質、記録サイズおよび感度を設定する

準備：静止画撮影モードにする (☞ 25 ページ)

■ 静止画画質

［静止画画質］メニューを設定する。(☞ 68 ページ)

- 上記メニュー項目の設定値はモニター画面に表示されます。

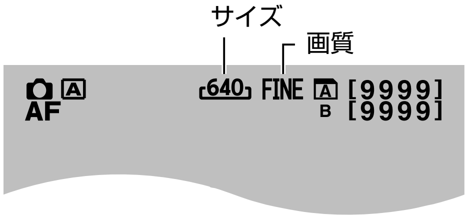
■ 静止画サイズ設定

［静止画サイズ］メニューを設定する。(☞ 68 ページ)

- 上記メニュー項目の設定値はモニター画面に表示されます。

■ 静止画感度設定

［感度アップ］メニューを設定する。(☞ 69 ページ)

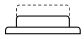


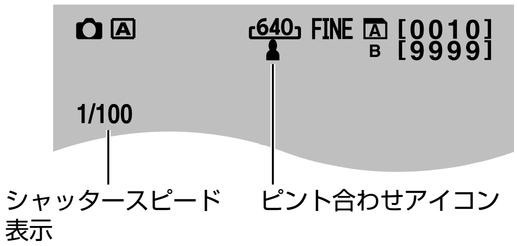
静止画を撮る

準備：静止画撮影モードにする。(☞ 25 ページ)

1.［SNAPSHOT］を半押しする

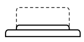
- 本機がピントと明るさを調整します。調整が終わるとピント合わせアイコンが緑色になりシャッタースピードを表示します。



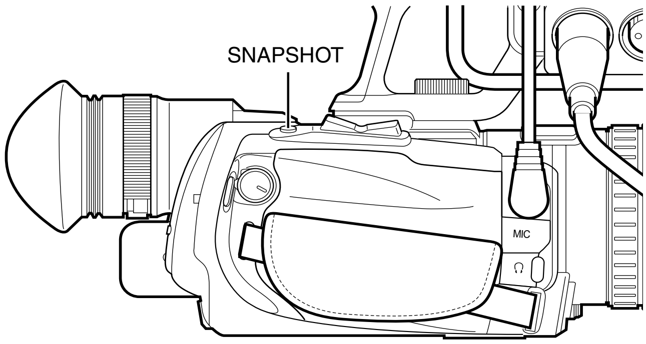


2.［SNAPSHOT］を全押しする

- 静止画が記録されます。記録中、モニター画面に "PHOTO" と表示します。







静止画撮影モードで使用する (つづき)

直前に撮った静止画を確認する

1. Q.REVIEW を押す

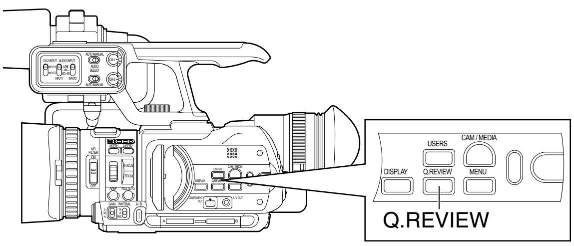
- 直前に撮った静止画を表示します。



2. もう一度、Q.REVIEW を押して、カメラ映像にもどす

■ 直前に撮った映像を削除する

静止画レビュー中、［ゴミ箱］に設定した USER を押す。
USER ボタンの機能割付：(☞ 21, 66 ページ)



連写するとき

［SNAPSHOT］を押している間、連続して静止画を撮ります。
［シャッターモード］メニューを［連写］に設定する。
(☞ 69 ページ)

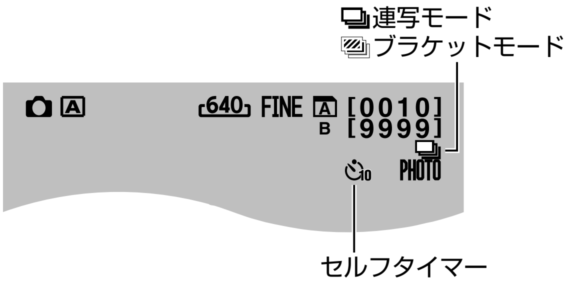
ブラケット撮影する

静止画撮影時、明るさの違う３枚の画像を連続撮影します。
［シャッターモード］メニューを［ブラケット］に設定する。(☞ 69 ページ)

セルフタイマーを使用する

２秒または１０秒のセルフタイマーを使用できます。
［セルフタイマー］メニューを［２秒］または［１０秒］に設定する。(☞ 69 ページ)

メモ :
- セルフタイマー設定時、連写はできません。



ズームする

準備：動画撮影または静止画撮影モードにする。

撮影したい画角を調整します。
ズーム倍率：１倍〜１０倍（光学ズームのみ）

ズームは、下記の４箇所で操作できます。

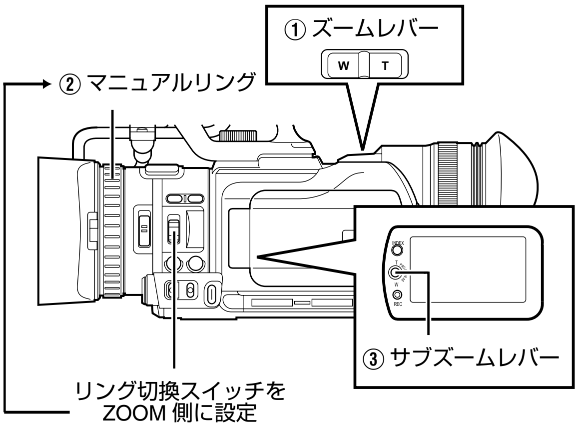
① 本機上部のズームレバー

② 本機のマニュアルリング：
本機側面部の［FOCUS/ZOOM］リング切換スイッチを ZOOM 側に設定にした時、ズームリングとして機能します。

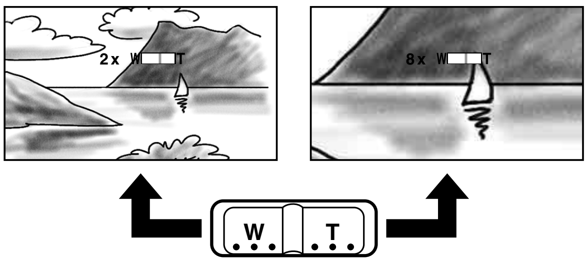
③ LCD カバー部のサブズームレバー

④ リモコンのズームレバー

優先関係は、① > ② > ③ > ④ となります。



■ ズーム操作中、ズームバーを表示します。



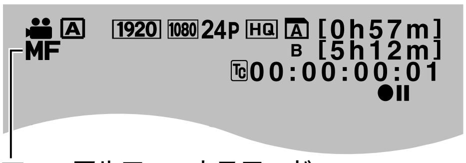
手動でピントを合わせる

準備：動画撮影または静止画撮影モードにする。

■ マニュアルフォーカスモードにする

AF/MF を押して画面にマニュアルフォーカスアイコン（**MF**）を表示させる



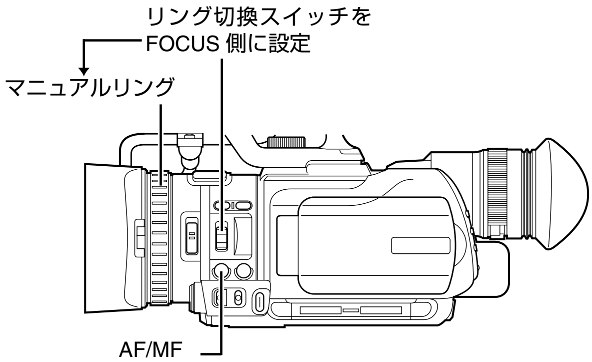


1.［FOCUS/ZOOM］リング切換スイッチを FOCUS 側に設定する

レンズ部のマニュアルリングをフォーカスリングとして使用できます。

2. マニュアルリングを回してフォーカス調整する

右記のフォーカスアシスト機能を使用するとピント合わせが簡単になります。



フォーカスアシスト機能を使う

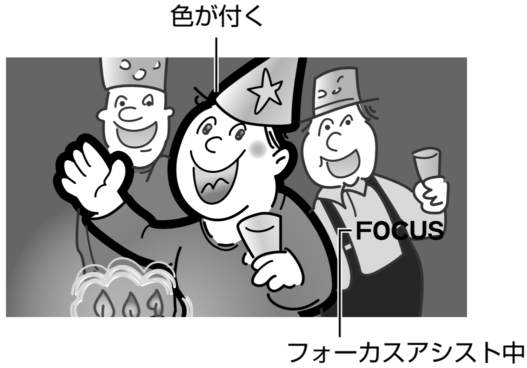
画面を一時的にモノクロにし、ピントの合った画像の輪郭線に色をつけます。

■ フォーカスアシスト機能を動作させる方法は 2 つあります。

① ［カメラ設定］メニューの［フォーカスアシスト］を［入］に設定する。(☞ 59 ページ)

または

② ［本体設定］メニューの［ＵＳＥＲ １設定］,［ＵＳＥＲ ２設定］または［ＵＳＥＲ ３設定］にフォーカスアシスト機能を設定した後、該当の USER ボタンを押す。(☞ 21, 66 ページ)



ピントを合わせたい部分に色が付くようにマニュアルリングを回します。

■ フォーカスアシストを止める
［フォーカスアシスト］メニューを［切］に設定する。
または
フォーカスアシスト機能を設定している USER を押す。

メモ :

- 輪郭色を変える場合は、［カメラ設定］メニューの［アシストカラー］を設定します。（青、緑、赤）
  暗い所などでフォーカスアシストを使うと、ざらついた部分に色が付いて輪郭色が見にくくなります。
- ［接続設定］メニューの［テレビ表示］が［入］に設定時、外部モニターにフォーカスアシストの表示が出力されます。外部モニターに表示しない場合は、［テレビ表示］を［切］に設定してください。

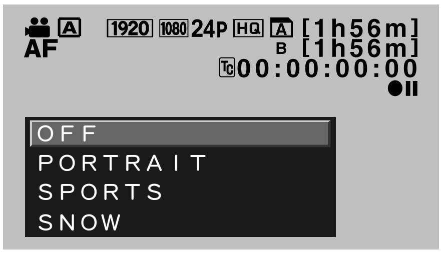
場面や状況に合わせる（プログラム AE）

適用：A フルオート撮影モード M マニュアル撮影モード
撮りたい被写体に合わせて露出やシャッタースピードを調整し最適な設定で撮影できます。

1. プログラム AE 選択画面を開く

Set レバーを右側に押す



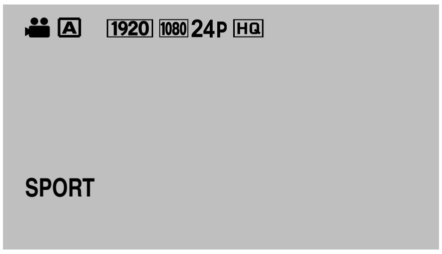


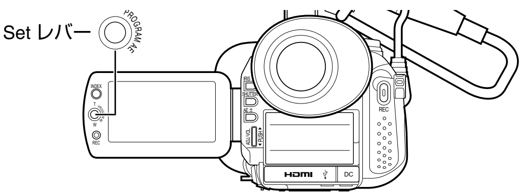
2. 最適なモードを選び、決定する

Set レバーを上下に押してモードを選び、Set レバーの中央を押す。または Set レバーを右側に押す。

- プログラム AE 選択画面が閉じて、画面に選んだモードのアイコンが表示されます。







設定内容

ＯＦＦ	： プログラム AE を使用しない。
ＰＯＲＴＲＡＩＴ	： 背景をぼかして、人物を浮かび上がらせる。
ＳＰＯＲＴＳ	： 動きの速いものを 1 コマ 1 コマ鮮明にする。
ＳＮＯＷ	： 晴れた日の雪原などで、被写体が暗く写ることを防ぐ。
ＳＰＯＴＬＩＧＨＴ	： ライトの中の人物が明るくなりすぎない。
ＴＷＩＬＩＧＨＴ	： 夜景などを自然な感じにする。

USER ボタンで Lolux モードにする

適用：A フルオート撮影モード M マニュアル撮影モード

Ｌｏｌｕｘ モード　： 薄暗い場所で感度を上げる。

1. USER ボタンに Lolux 機能を割り当てる

［本体設定］メニューの［ＵＳＥＲ１設定］,［ＵＳＥＲ２設定］または［ＵＳＥＲ３設定］を［Ｌｏｌｕｘ］に設定する。
(☞ 21, 66 ページ)

2. 割り当てた USER ボタンを押す

Lolux モードになり、画面に“Ｌｏｌｕｘ”と表示します。

3. Lolux モードを解除する

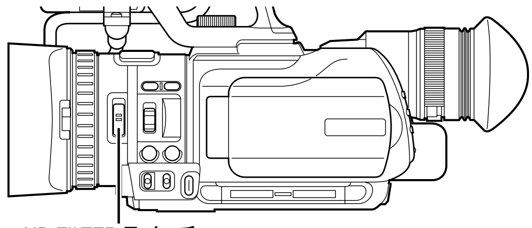
割り当てた USER ボタンを押す。

メモ :
- Lolux モードでは、手ブレしやすくなるので、三脚で固定してください。
- 動画モードでの Lolux 設定時、シャッタースピードやゲインは調整できません。

内蔵の ND フィルターを使う

適用：A フルオート撮影モード M マニュアル撮影モード

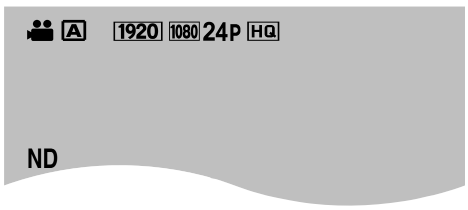
ND FILTER スイッチの ON/OFF により、内蔵の ND フィルターを切り換えてレンズからの光量を調整します。明るい屋外で使用するとき、“ON” に設定します。



ND FILTER スイッチ

■ ND FILTER スイッチを ON にする

- 光量を約 1/10 にカットします。
  画面に “ND” と表示します。



メモ :
- 撮影中に ND FILTER を切り換えると、画像が乱れたり音声にノイズが入ることがあります。

明るさを手動補正する

適用：A フルオート撮影モード M マニュアル撮影モード

撮影している被写体の明るさは、カメラ本体の基準値で自動調整していますが、撮影状況により、映像の明るい部分や暗い部分が見にくくなることがあります。これを防ぐため、手動で明るさを補正できます。

1. 明るさ手動補正モードにする

AE ±を押す。

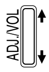
- 画面に AE 値が表示され、調整モードになります。（静止画モード時は、EV 値で制御します。）





2. 明るさを補正する

ADJ./VOL. ダイヤルを回す。
上に回すと値が大きくなり、映像が明るくなります。
下に回すと値が小さくなり、映像が暗くなります。



3. 設定値を決定する

ADJ./VOL. ダイヤルを押す。

- マニュアル設定が確定します。（設定値 (-6 〜 +6) は画面に表示されています。）



4. 設定確定後、ADJ./VOL. ダイヤルを 1 秒以上、押して AE ロックモードにする

（画面の設定値の後ろに L マークが表示されます。）
AE ロック：明るさ補正の設定値を固定します。



■ AE ロックを解除する

ADJ./VOL. ダイヤルを 1 秒以上、長押しする。

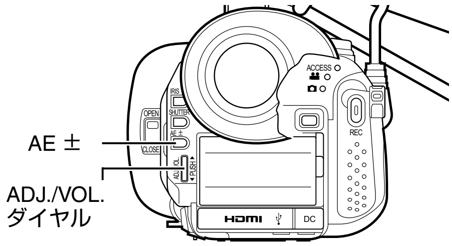
- マークが消えます。



■ 明るさ手動補正モードを止める

- AE ±を押す。





メモ：

- シャッタースピードや絞りをマニュアル設定した場合、AE ロックは解除されます。
- 静止画モード時、シャッタースピードと絞りがマニュアル設定されている場合、明るさ補正のマニュアル設定はできません。(画面に AE 表示が約５秒間点滅し、設定は無効となります。)

テレマクロ機能を使う

適用：A フルオート撮影モード M マニュアル撮影モード
ズームの望遠 (T) 側で接写できる距離を短くします。
（1m →約８０ cm）

この機能は、２つの方法で設定できます。

■ ［カメラ設定］メニューの［テレマクロ］を［入］に設定する。
（M マニュアルモードのみ可能）
(☞ 61 ページ)

■ ［本体設定］メニューの［ＵＳＥＲ １設定］、［ＵＳＥＲ ２設定］または［ＵＳＥＲ ３設定］を［テレマクロ］に設定した USER ボタンを押す。
（A フルオートモード、M マニュアルモードで可能）
USER ボタン割り当て：(☞ 21, 66 ページ)

- テレマクロ機能が ON 時、画面にテレマクロアイコンが表示されます。



メモ：

- 上記２つの方法のうち、USER ボタンによる設定が優先されます。

ゼブラパターンを表示する

適用：動画撮影モード
A フルオート撮影モード
M マニュアル撮影モード

動画撮影時、指定した明るさの部分のみ斜線のしま模様（ゼブラパターン）を表示します。ゼブラパターンを表示する明るさの範囲を設定できます。

ゼブラパターンを表示する

ゼブラパターンを表示する方法は、２つあります。

■［カメラ設定］メニューの［ゼブラ］を［入］に設定する。
(☞ 59 ページ)

■［本体設定］メニューの［ＵＳＥＲ １設定］、［ＵＳＥＲ ２設定］または［ＵＳＥＲ ３設定］を［ゼブラ］に設定した USER ボタンを押す。
USER ボタン割り当て：(☞ 21, 66 ページ)

● 指定されている明るさ部分にゼブラパターンが表示されます。

ゼブラパターン



メモ：
● 上記２つの方法のうち、USER ボタンによる設定が優先されます。
● 静止画撮影モード時は、ゼブラパターンは表示しません。
●［接続設定］メニューの［テレビ表示］が［入］に設定時、外部モニターにゼブラパターンが出力されます。外部モニターに表示しない場合は、［テレビ表示］を［切］に設定してください。

■ ゼブラパターン表示を消す

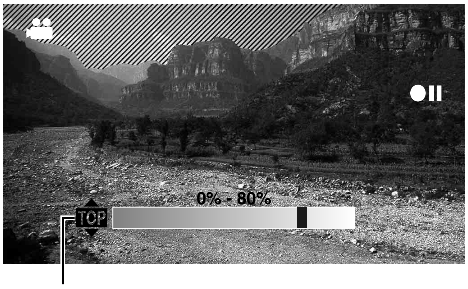
［ゼブラ］メニューを［切］にする。
または［ゼブラ］に設定した USER ボタンを押す。

ゼブラパターン表示する明るさの範囲を指定する

明るさの上限値 (TOP) と下限値 (BTM) を指定できます。
初期設定値は 70 ～ 80% の範囲を指定しています。

■［カメラ設定］メニューの［ゼブラ］を［しきい値設定］にする。

● 上限値を設定するためのスライドバーが表示されます。



TOP: 上限値設定
BTM: 下限値設定

1. 上限値設定か下限値設定かを選択する

Set レバーを上または下に押す。



2. 設定値を選択する

Set レバーを右または左に押してスライドバーを移動させます。
● ゼブラパターンの表示範囲も変化します。



3. 設定値を確定する

Set レバーの中央を押す
● スライドバーが消えます。



ホワイトバランスを調整する

適用：M マニュアル撮影モード

■ マニュアル撮影モードにします。

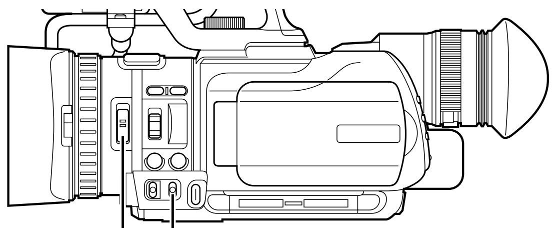
■ WHT.BAL. スイッチでホワイトバランスを選択する。

WHT.BAL. スイッチで３種類のホワイトバランスの切り換えができます。

WHT.BAL. スイッチ	内容
B	B 位置にメモリーされたホワイトバランスに切り換わります。この位置でオートホワイトバランス調整を行うと、調整したホワイトバランスが B 位置にメモリーされます。
A	A 位置にメモリーされたホワイトバランスに切り換わります。この位置でオートホワイトバランス調整を行うと、調整したホワイトバランスが A 位置にメモリーされます。
PRST(PRESET)	［カメラ設定］メニューの［基本色温度設定］で設定したホワイトバランス（3200K または 5600K）になります。(☞ 60 ページ)

メモ :

- FAW(フルオートホワイトバランス) モードを WHT.BAL. スイッチに割り付けできます。(☞ 36 ページ)



オートホワイトバランス調整する

光源により光の色（色温度）が異なるため、被写体を照らす主要な光源が変わったときは、ホワイトバランスを再調整してください。ホワイトバランス A と B の 2 タイプをメモリーに記憶することができます。

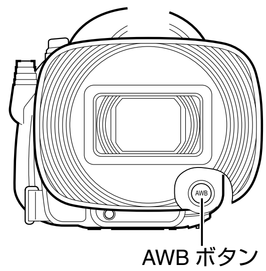
■ マニュアル撮影モードにします。

1. 照明に合わせて、ND フィルターを設定する

2. WHT.BAL. スイッチを A または B にする

3. 被写体と同じ照明条件のところで画面の中央付近に白いものを置き、ズームアップして画面に白を映す

4. オートホワイトバランスボタンを押す



- オートホワイト起動中は［AUTO WHITE A(B) 設定中］と表示します。
- 正しくホワイトバランスがとれると約 5 秒間［AUTO WHITE A(B) 設定終了］と表示します。



エラー表示

オートホワイト調整が正常に終了しなかった場合、下記のようなメッセージが約 5 秒間表示します。

● 被写体不良

被写体の白が少ない時や色温度が適正でないときなどに表示されます。白い被写体に変更し、再びホワイトバランスを取り直してください。

● 光量不足

照明が暗いときに表示されますので照明を明るくしてホワイトバランスを取り直してください。

● 光量過剰

照明が明るすぎる時に表示されますので照明を暗くしてホワイトバランスを取り直してください。

ご注意 :

- 被写体には、金属等の強い反射光を置かないでください。正しくホワイトバランスがとれないことがあります。

ホワイトバランスを調整する (つづき)

フルオートホワイト (FAW) 機能を使う

照明条件の変化に応じて、その条件に合ったホワイトバランス値に自動調整されます。
このモードは、新たにホワイトバランス調整をとる時間がないときや、照明条件の異なる場所を本機が頻繁に出入りする場合などに便利です。

■ マニュアル撮影モードにします。

1. [カメラ設定] メニューの [F AW] を設定する

FAW 機能を WHT.BAL. スイッチの A,B,PRESET のうち 1 つのポジションに割り付けます。(☞ 60 ページ)

2. **WHT.BAL. スイッチを FAW 機能を割り付けた位置に設定する**



ご注意 :

- 被写体が一色しかない場合や白が少ないなどフルオートホワイト機能の調整範囲を超えている場合は適正なホワイトバランスがとれません。
- FAW の精度はオートホワイトバランスより劣ります。
- FAW モードで電源を入れると、FAW の自動調整が終了するまで約 10 秒かかります。その間は録画しないでください。

ホワイトペイント調整する

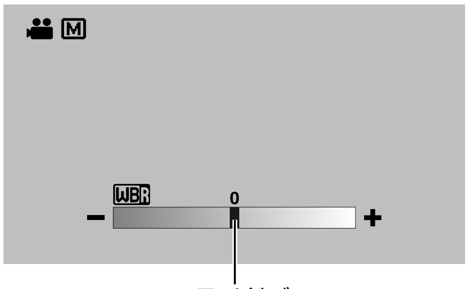
適用 : M マニュアル撮影モード

オートホワイトバランス時の R(赤) または B(青) の成分を調整します。

■ マニュアル撮影モードにします。

1. **[カメラ設定] メニューの [ホワイトペイント <R>] または [ホワイトペイント <B>] を選択する**
[ホワイトペイント <R>] : 赤味を調整します。
[ホワイトペイント <B>] : 青味を調整します。

- ホワイトペイント調整画面が表示されます。



スライドバー

2. **Set レバーを右または左に押して、調整画面のスライドバーを移動させる**

- 画面の赤や青の成分が変化します。



3. **Set レバーの中央を押す**

- 設定が確定します。



メモ :

- AWB(オートホワイトバランス) を再調整すると、各色（R,B）とも設定値が初期値になります。

マニュアルゲイン調整する

適用：動画撮影モード
　　　M マニュアル撮影モード

■ マニュアル撮影モードにします。

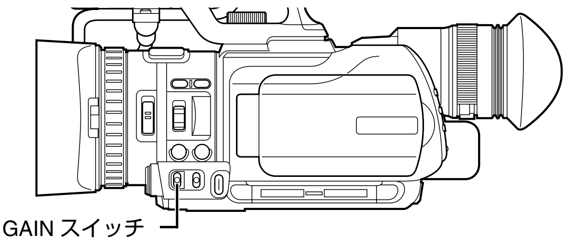
被写体の照度が不足している場合、GAIN スイッチの設定で電気的に増感できます。（３ポジション）

GAIN スイッチ	内容
L	0dB（増感は行いません。）
M	9dB（約３倍に増感します。）
H	18dB（約８倍に増感します。）

各ポジションの増感レベルは、［カメラ設定］メニューの［G A I N　L］、［G A I N　M］、［G A I N　H］で設定できます。

メモ :

- 増感するほど、画面はザラついた感じになります。
- フルオートモード時は、AGC（オートゲインコントロール）に固定されます。ただし、プログラム AE の［T W I L I G H T］に設定している場合は、0dB になります。



シャッタースピードを調整する

適用：M マニュアル撮影モード

任意のシャッタースピードを設定します。オートに設定した場合、自動でシャッタースピードを制御します。

■ マニュアル撮影モードにします。

1. シャッタースピード調整モードにする

SHUTTER ボタンを押す。

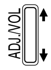
- 動画モード　：マニュアルモードで設定されていたシャッタースピードが表示されます。
- 静止画モード：現在のシャッタースピードが表示されます。



2. シャッタースピードの値を選択する

ADJ./VOL. ダイヤルを上下に回す。

- 選択している値が表示されます。

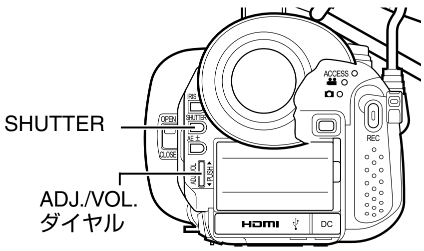


3. シャッタースピードを確定する

ADJ./VOL. ダイヤルを押す。

- 調整モードを終了し、シャッタースピードが白色で表示されます。





メモ :

- 静止画モード時、明るさ補正と絞りがマニュアル設定されている場合、シャッタースピードのマニュアル設定はできません。(画面に S.SP 表示が約５秒間点滅し、設定は無効となります。)
- Lolux モード時、シャッタースピードのマニュアル設定はできません。（画面に S.SP 表示が約５秒間点滅し、設定は無効となります。）

■ 設定値

動画フレームレート 60
1/3.75,1/7.5,1/15,1/30,1/60,1/80,1/100,
1/250,1/500,1/1000,1/2000,1/4000,1/10000

動画フレームレート 50
1/3.13,1/6.25,1/12.5,1/25,1/50,1/80,1/120,
1/250,1/500,1/1000,1/2000,1/4000,1/10000

動画フレームレート 24
1/3,1/6,1/12,1/24,1/48,1/60,1/100,1/250,1/500,
1/1000,1/2000,1/4000,1/10000

静止画
1/4,1/8,1/15,1/30,1/60,1/80,1/125,1/250,1/500,
1/1000,1/2000,1/4000,1/8000

■ シャッタースピードをオートにする

SHUTTER ボタンを 2 回押して、表示を消す。

絞りを調整する

適用：M マニュアル撮影モード

レンズの絞り（F 値）を設定します。

F 値	内容
小さくする	被写体が明るくなります。 ピントの合う範囲が鋭くなり、背景がボケた柔らかい印象の映像になります。
大きくする	被写体が暗くなります。 背景までピントの合った映像になります。

■ マニュアル撮影モードにします。

1. 絞り調整モードにする

IRIS ボタンを押す。

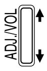
- 現在の F 値が表示されます。



2. F 値を選択する

ADJ./VOL. ダイヤルを上下に回す。

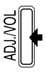
- 選択している F 値が表示されます。



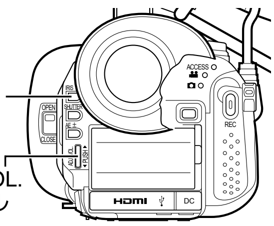
3. F 値を確定する

ADJ./VOL. ダイヤルを押す。

- 調整モードを終了し、F 値が白色で表示されます。



IRIS



ADJ./VOL.
ダイヤル

メモ：

- 表示している F 値が設定値と異なる場合､黄色で表示します。
- 静止画モード時、明るさ補正とシャッタースピードがマニュアル設定されている場合、絞りのマニュアル設定はできません。(画面に A.PR 表示が約５秒間点滅し、設定は無効となります。)

■ 設定値
F1.8 〜 F8.0 (14 ステップ)
絞りの開放 F 値はズームの位置で変わります。
広角 (W) 端側　：F1.8
望遠 (T) 端側　：F2.8

■ 望遠 (T) 側ズームによる 1/3 絞りステップ表示
ズーム (W) 端側で絞りを F1.8 の設定したとき、(T) 側にズームすると開放 F 値よりも絞りが小さくなる場合があります。この場合、設定された絞りは固定されず、各ズームポジションの開放 F 値に応じて変化します。このときは、1/3 絞りのステップで、開放 F 値に近い値が表示されます。
(F1.8,F2.0,F2.2,F2.5,F2.8)

■ 絞りをオートにする

IRIS ボタンを 2 回押して表示を消す。

測光エリアを設定する

適用：M マニュアル撮影モード

画面上の枠で囲まれた３つの測光エリアから任意のエリアを選択し、その部分が最良の状態になるよう明るさを自動補正します。

［カメラ設定］メニューの［測光エリア］で設定します。
［測光エリア］が［全体］に設定時は、画面全体が最良の明るさになるようにします。

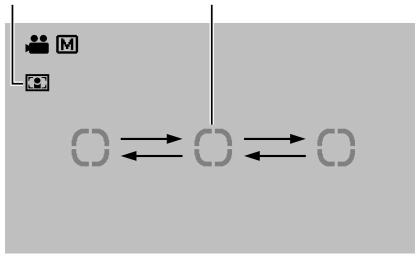
■ マニュアル撮影モードにします。

1. 測光エリア設定画面を表示する

［カメラ設定］メニューの［測光エリア］を［スポット］に設定する。

- 画面中央に測光エリア枠が表示されます。
測光エリアアイコンが青色で表示されます。
（測光エリアは、画面の左、中央、右から選択します。）

測光エリアアイコン　測光エリア枠



2. 測光エリアを選択する

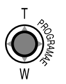
Set レバーを右または左に押す。
右または左の測光エリア枠が表示されます。



3. 測光エリアを確定する

Set レバーの中央を押す。

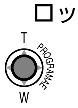
- 確定した測光エリア枠が表示され、測光エリアアイコンが白色で表示します。
- 枠内の明るさが常に最良になるよう自動補正します。



■ 測光エリアの明るさをロックする場合

測光エリアを設定中または、確定後、Set レバーの中央を 1 秒以上、長押しする。

- 測光エリア枠が消え、ロックアイコン（L）が表示されます。
- 測光エリア内の自動補正した明るさが固定されます。（AE ロック）



■ 測光エリアを画面全体にする場合

［カメラ設定］メニューの［測光エリア］を［全体］に設定する。

カラーバーを表示する

適用：M マニュアル撮影モード

■ マニュアル撮影モードにします。

カラーバーを画面に表示し、その状態で録画操作することでカラーバーを録画できます。(下欄参照)

カラーバーを表示する方法は、２つあります。

■［カメラ設定］メニューの［カラーバー］を［入］に設定する。(☞ 61 ページ)

■［本体設定］メニューの［ＵＳＥＲ １設定]、[ＵＳＥＲ ２設定］または［ＵＳＥＲ ３設定］を［カラーバー］に設定した USER ボタンを押す。
USER ボタン割り当て：(☞ 21, 66 ページ)
- カラーバーが表示されます。

メモ :
- 上記２つの方法のうち、USER ボタンによる設定が優先されます。
- フルオート撮影モード時、カラーバーは表示しません。

■ カラーバー表示を消す

［カラーバー］メニューを［切］にする。
または［カラーバー］に設定した USER ボタンを押す。

■カラーバーの記録
[システムセレクト]、[記録モード］メニューが下記の場合、カラーバーを記録できます。

システムセレクト	記録モード
1080-60/30	1920/60i(HQ)、1920/30p(HQ)
1080-50/25	1920/50i(HQ)、1920/25p(HQ)
720-60/30	1280/60p(HQ)、1280/60p(SP)
720-50/25	1280/50p(HQ)、1280/50p(SP)

■外部モニターのオンスクリーン表示
［システムセレクト］メニューが［720-**］の場合、下記の外部モニターに出力されるカラーバーには常にオンスクリーン表示ができます。(［接続設定］メニューの［テレビ表示］の設定は無効です。)
- A/V OUT 端子
- COMPONENT OUT 端子の D1(480i/576i) 出力
- HDMI 端子の 480i/480p/576i/576p 出力

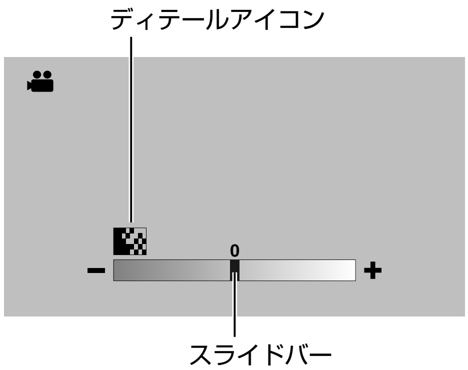
カメラ画を調整する

適用：A フルオート撮影モード M マニュアル撮影モード

［カメラ設定］メニューでカメラの画質を設定します。
［カメラ設定］メニューの以下の項目は、調整画面が表示されます。
調整内容が画面に反映しますので、カメラ画質を確認しながら調整できます。

■ ディテールレベル
■ ディテール VH バランス
■ ガンマレベル
■ カラーゲイン
各項目の詳細は、［カメラ設定］メニューをご覧ください。(☞ 59 ページ)

例）ディテールレベル



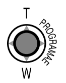
1. **調整する**

Set レバーを右または左に押す。
- スライドバーが右または左に移動します。スライドバーの移動に応じてカメラ画のディテールレベルが変化します。



2. **調整を確定する**

Set レバーの中央を押す。
- メニュー画面が閉じます。



メモ :
- ［カメラ設定］メニューの［ガンマ]、[カラーマトリックス]、［ＫＮＥＥ］項目は、設定値を変えるごとに画面に反映されます。(☞ 59 ページ)

録音する

適用：動画撮影モード

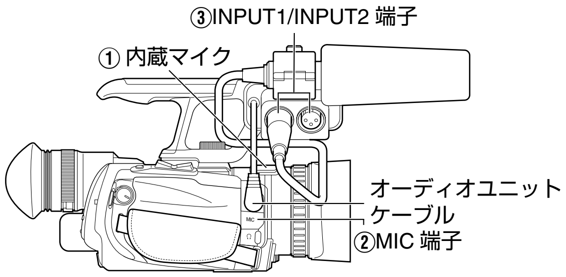
音声入力する方法は、以下の３つあります。

① 内蔵マイク

② MIC 端子

③ INPUT1 端子・INPUT2 端子
入力の優先順位は、③ ＞ ② ＞ ① となります。

※ 内蔵マイクや MIC 端子を用いる場合はオーディオユニットのケーブルを AUDIO IN 端子からはずしてください。



メモ：

- 静止画撮影モード時、録音しません。

基準録音レベルを設定する

適用：A フルオート撮影モード M マニュアル撮影モード
メニュー設定
［オーディオ基準レベル］メニューを設定する。
(-20dB/-12dB)(☞ 64 ページ)

内蔵マイクを使用する

適用：A フルオート撮影モード M マニュアル撮影モード

■ 入力レベルを設定する。
メニュー設定
［内蔵マイクレベル設定］メニューを設定する。
(☞ 64 ページ)

MIC 端子の外部マイクを使用する

適用：A フルオート撮影モード M マニュアル撮影モード
準備：MIC 端子にマイクを接続する。(☞ 18 ページ)

■ 入力レベルを設定する。
メニュー設定
［マイクレベル設定］メニューを設定する。(☞ 64 ページ)

INPUT1/INPUT2 端子の外部マイクを使用する

適用：A フルオート撮影モード M マニュアル撮影モード
準備：INPUT1/INPUT2 端子にマイクを接続する。
(☞ 18 ページ)

端子	音声入力
INPUT1	常に CH-1(L) に入力されます。また、CH-2 INPUT スイッチ設定で CH-2(R) にも入力します。
INPUT2	CH-2 INPUT スイッチ設定で CH-2(R) に入力します。

■ CH-2 音声を選択する

CH-2 INPUT スイッチを設定する
INPUT1:INPUT1 端子の音声を CH-2 に入力します。
INPUT2:INPUT2 端子の音声を CH-2 に入力します。

メモ：

- INPUT1 端子の音声は、設定に関係なく CH-1 にも入力します。

■ INPUT1 端子または INPUT2 端子に入力する音声を選択する

INPUT1/INPUT2 AUDIO INPUT スイッチを設定する。

LINE ：オーディオ機器などを接続するとき、この設定にします。

MIC ：ダイナミックマイクを接続するとき、この設定にします。

MIC+48V ：+48V の電源供給が必要なマイク（ファントムマイク）を接続するとき、この設定にします。付属のマイクを使用する場合は、この設定にします。

ご注意：

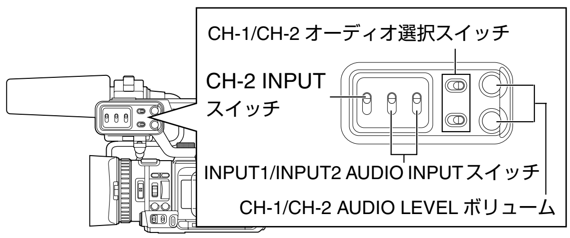
- +48V の電源供給が不要な機器を接続するときは、MIC+48V の位置に設定されていないことを確認のうえ、接続してください。

■ 録音レベルを調整する

録音レベル調整方法を選択する
CH-1/CH-2 オーディオ選択スイッチを設定する
チャンネル別に AUTO モードにするか MANUAL モードにするか選択します。

AUTO ：自動調整モードで使用するとき、この設定にします。

MANUAL ：手動調整モードで使用するとき、この設定にします。CH-1/CH-2 AUDIO LEVEL ボリュームで録音レベルを調整します。



風きり音を減らす

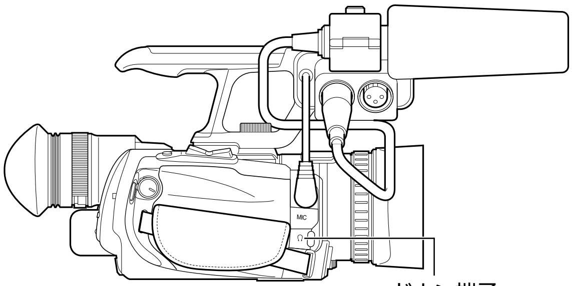
各マイクに対して風きり音を低減できます。
メニュー設定
［ウィンドカット］メニューを設定する。(☞ 64 ページ)

ヘッドホンで音声を モニターする

適用：動画撮影モード、動画再生モード

■ ヘッドホンを接続する

ヘッドホンをヘッドホン ( ) 端子に接続する。

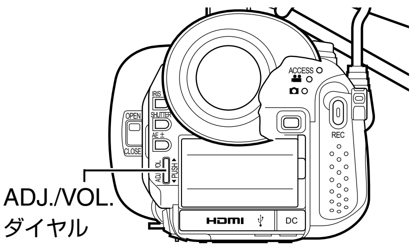


■ ヘッドホン音声をミックス音声にするかステレオ音声にするかを設定する

メニュー設定
［オーディオモニター］メニューを設定する。
(☞ 64 ページ)

■ ヘッドホンの音声レベルを調整する

ADJ./VOL. ダイヤルを回す。



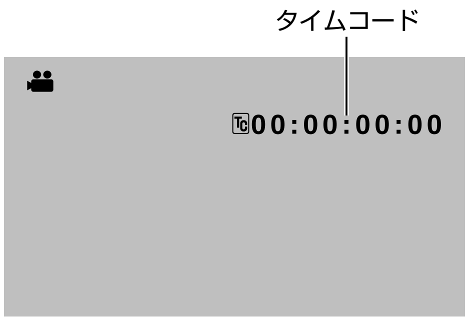
タイムコード記録の設定を 行う

適用：動画撮影モード

タイムコード / ユーザーズビットを表示する

メニュー設定

■［T C/U B 設定］メニューの［T C　D I S P L A Y］を［T C］または［U B］に設定する。
T C: タイムコードを表示します。
U B: ユーザーズビットを表示します。



タイムコードを記録する

本機内蔵のタイムコードジェネレーターのタイムコードおよびユーザーズビットを記録します。タイムコードジェネレーターは、プリセットモードとリジェネモードがあります。プリセットモード時、任意にタイムコードおよびユーザーズビットを設定できます。(☞ 42 ページ)

■ プリセットモードでタイムコードおよびユーザーズビットを記録する

メニュー設定
［T C/U B 設定］メニューの［T C　G E N E.］を［F R E E］または［R E C］に設定します。
F R E E　: タイムコードは常に歩進します。
R E C　　: タイムコードは録画時のみ歩進します。

■ SD カードに記録されているタイムコードに続けてタイムコードを記録する

メニュー設定
［T C/U B 設定］メニューの［T C　G E N E.］を［R E G E N］に設定します。

メモ :

- 記録を停止して、SD カードを抜いた場合、タイムコードの表示は、次の様になります。
  [REC]、[REGEN] : 最後に記録停止したタイムコード
  [FREE] : 常に歩進します。

タイムコード記録の設定を行う (つづき)

タイムコード / ユーザーズビットをプリセットする

タイムコードおよびユーザーズビットは［T C/U B 設定］メニューで設定します。

［T C/U B 設定］メニューを表示させる方法は２つあります。

■ MENU ボタンでメニュー画面を表示させ、［T C/U B 設定］メニューを選択する。(☞ 65 ページ)

■ ［本体設定］メニューの［U S E R 1 設定]、[U S E R 2 設定］または［U S E R 3設定］を［T C　S E T T I N G］に設定した USER ボタンを押す。
USER ボタン割り当て：(☞ 21, 66 ページ)

タイムコードを設定する

上記の方法で［T C/U B 設定］メニューを表示する。

■ タイムコードジェネレーターの歩進モードを設定する。
［T C　G E N E.］メニューを［F R E E］または［R E C］に設定する。

F R E E	：タイムコードは常に歩進します。
R E C	：タイムコードは録画時のみ歩進します。

■ タイムコードジェネレーターのフレーミングモードを設定する。
［D R O P　F R A M E］を［D R O P］または［N O N　D R O P］に設定する。

D R O P	：ドロップフレームモードで歩進します。記録した時間を重視するとき、この設定にします。
N O N D R O P	：ノンドロップフレームモードで歩進します。フレーム数を重視するとき、この設定にします。

メモ :

- フレームレートの設定が "50、25、24" の場合、［D R O P］には設定できません。
- ［D R O P　F R A M E］メニューが［D R O P］に設定されていても、［T C　P R E S E T］メニューでは DROP 対象フレームの自動スキップを行いません。記録するときに、自動でスキップします。

1. **［T C　P R E S E T］メニューを選択し、Set レバーの中央を押す**

- タイムコードプリセット画面が表示されます。





2. **タイムコードを設定する（時、分、秒，フレーム）**

Set レバーを上または下に押すと、設定値が変わります。

Set レバーを右または左に押すと、設定桁が移動します。



3. **タイムコードを確定する**

Set レバーの中央を押す。

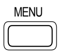
- ［T C/U B 設定］メニューに戻ります。



■ メニュー画面を閉じるには

MENU を押す。

- 通常画面が表示されます。



ユーザーズビットをプリセットする

［T C/U B 設定］メニューの［U B　P R E S E T］を選択します。設定方法は、タイムコードプリセットと同じです。各桁を 0 〜 9、A 〜 F の英数字で指定します。

動画／静止画再生モードを選択する

再生モードとして動画再生と静止画再生の２つのモードがあります。

1. 再生モードにする

CAM/MEDIA を押す。

- 再生モードになり、モニターに再生インデックス画面が表示されます。

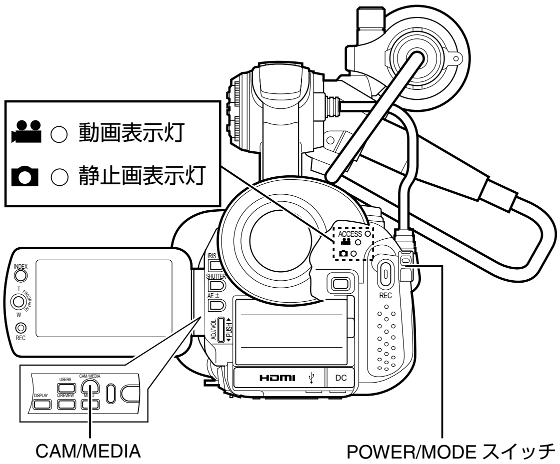


2. 動画モード／静止画モードを選択する

モードによって操作方法が異なります。

静止画モード ⇨ 動画モード	POWER/MODE スイッチを MODE 側に回す。
動画モード ⇨ 静止画モード	POWER/MODE スイッチをモード側に回し、約 1 秒間保持する。





動画モード時



- 動画表示灯が点灯します。
- 画面上部に動画アイコンが表示されます。

静止画モード時



- 静止画表示灯が点灯します。
- 画面上部に静止画アイコンが表示されます

メモ :

- ［システムセレクト］メニューが［720-**］に設定されている場合、動画 / 静止画モードを切り換えると本機は再起動します。

SD カードの動画を再生する

準備：SD カードを入れ、カードスロットを選ぶ。

■ 再生したい映像フォーマットを変更する

メニュー設定 (☞ 61 ページ)
［ファイル形式］　：録画ファイル形式を選択する。
［システムセレクト］：垂直解像度を選択する。
［記録モード］　：フレームレートを選択する。

1. 動画再生モードにする

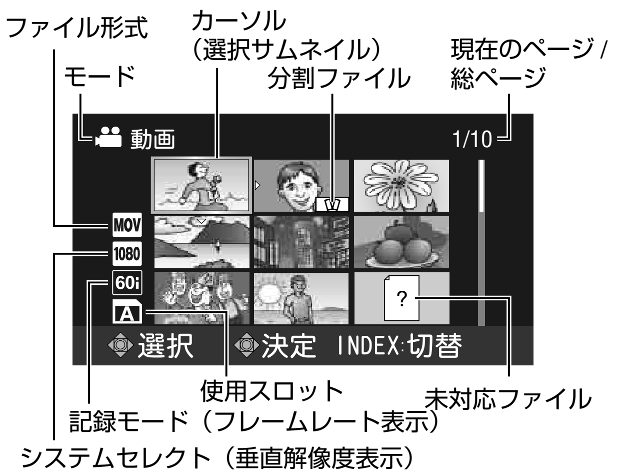
再生インデックス画面が表示されます。

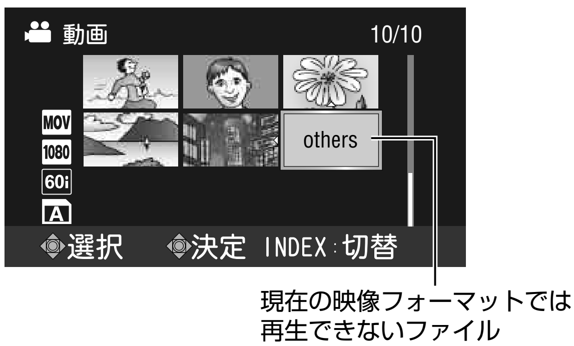
■ 再生ファイルの選択は２つの方法でおこなう

再生インデックス画面から再生ファイルを選択する。
日付検索画面から再生ファイルを選択する。
(☞ 45 ページ)

再生インデックス画面から再生する

- 現在の映像フォーマットで再生できるファイルがサムネイル表示されています。
- 再生できないファイルをまとめたサムネイル表示が最後のページに表示されます。
- 分割ファイルは 4GB で自動分割したファイルです。このサムネイルに分割されたファイルが収まっています。





SD カードの動画を再生する (つづき)

1. ファイルを選択する

Set レバーを上、下、左、右方向に押して、カーソルを再生したいサムネイルに移動させる。



メモ :
- リモコンの＋または－ボタンを押すと、１つ新しい日付または古い日付のファイルに移動します。

2. ファイルを再生する

Set レバーの中央を押す。
- 選択したファイルの動画が再生されます。



動画再生時のモードを変える

再生時のモード変更は、Set レバーの操作で行います。



再生時 (▶)	
➡ 右に押す	フォワードサーチ 押すごとにスピードが変わります。 （３ステップ）
⬅ 左に押す	リバースサーチ 押すごとにスピードが変わります。 （３ステップ）
⬆ 上に押す	ファイルの先頭から再生
⬇ 下に押す	次のファイルの先頭から再生
中央を押す	再生一時停止

再生一時停止時 (❚❚)	
➡ 右に押す	コマ送り
⬅ 左に押す	コマ戻し
➡ 右に１秒以上、長押し	フォワードスロー再生
⬅ 左に１秒以上、長押し	リバーススロー再生
⬆ 上に押す	ファイルの先頭で再生一時停止
⬇ 下に押す	次のファイルの先頭で再生一時停止
中央を押す	再生

フォワードサーチ時 (▶▶)	
➡ 右に押す	押すごとにサーチスピードが変わります。（３ステップ）
⬅ 左に押す	サーチスピードが１ステップ戻ります。
⬆ 上に押す	ファイルの先頭から再生
⬇ 下に押す	次のファイルの先頭から再生
中央を押す	再生

リバースサーチ時 (◀◀)	
➡ 右に押す	サーチスピードが１ステップ戻ります。
⬅ 左に押す	押すごとにサーチスピードが変わります。（３ステップ）
⬆ 上に押す	ファイルの先頭から再生
⬇ 下に押す	次のファイルの先頭から再生
中央を押す	再生

フォワードスロー再生時 (❚❚▶)	
➡ 右に押す	再生
⬅ 左に押す	再生一時停止
⬆ 上に押す	ファイルの先頭で再生一時停止
⬇ 下に押す	次のファイルの先頭で再生一時停止
中央を押す	再生一時停止

リバーススロー再生時 (◀❚❚)	
➡ 右に押す	再生一時停止
⬅ 左に押す	逆再生
⬆ 上に押す	ファイルの先頭で再生一時停止
⬇ 下に押す	次のファイルの先頭で再生一時停止
中央を押す	再生一時停止

メモ :
- ［本体設定］メニューの［スロット自動切替］が［入］に設定時、スロット A,B の SD カードを連続再生します。
- コマ戻しした場合、フレームが飛ぶことがあります。

■ 各モードからインデックス画面に戻る

INDEX ボタンを押す。



メモ :
- ズームレバーの操作でインデックス画面から再生一時停止画面を表示したり、戻したりすることができます。
  インデックス画面表示時、ズームレバーの (T) を押すと選択したファイルの再生一時停止画面を表示します。
  再生一時停止画面表示時、ズームレバーの (W) を押すと、インデックス画面に戻ります。

日付検索画面でファイルを選択する

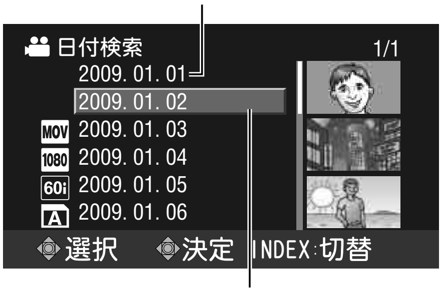
再生インデックス画面表示時、INDEX ボタンを押す。

- 日付検索画面が表示されます。



再生インデックス画面で選択されていたファイルの日付をベースにした日付のリストが表示されます。
最高６日分のリストを表示します。

再生インデックスのリストで一番古い日付



カーソル（選択したファイルの日付）

1. 日付を選択する

Set レバーを上または下方向に押す。



2. 日付を決定する

Set レバーの中央を押す。
またはズームレバーの (T) を押す。

- 選択した日付のインデックス画面が表示されます。





3. 再生したいファイルを選択する

Set レバーを上、下、左、右方向に押して、カーソルを再生したいサムネイルに移動させる。



4. ファイルを再生する

Set レバーの中央を押す。
またはズームレバーの (T) を押す。

- 選択したファイルの動画を再生します。



■ 再生インデックス画面に戻る

日付検索画面または日付インデックス画面表示時、INDEX ボタンを押す。



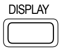
SD カードの動画を再生する (つづき)

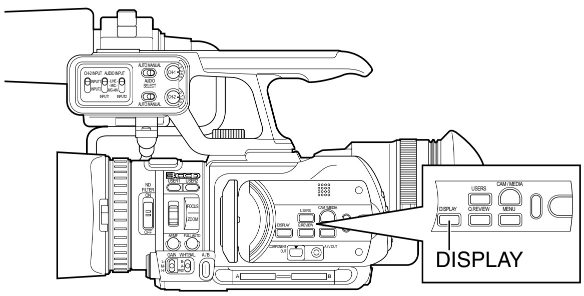
動画ファイル情報を表示する

1. **インデックス画面表示時は、表示したいファイルを選択する**
または
動画再生時は、再生一時停止にする

2. **DISPLAY ボタンを押す**

● ファイル情報が表示されます。





ファイル、撮影日時、スタート ＴＣ、エンド ＴＣ、クリップ長、記録モード、ＯＫ マーク

3. **ファイル情報を消す場合は、DISPLAY ボタンを押す**

● インデックス画面または再生一時停止画面に戻ります。

再生一時停止時、静止画を切り出す

1. **再生一時停止にする**

2. **SNAPSHOT ボタンを全押しする**

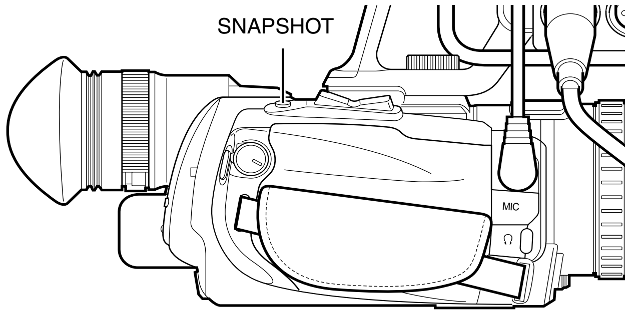
● 静止画が切り出され、SD カードに記録されます。（静止画ファイル）

● ［本体設定］メニューの［操作音］を［入］に設定すると SNAPSHOT ボタンを押したときのシャッター音で動作が確認できます。



メモ :

● 静止画切り出しは、約３秒かかります。
● 静止画サイズは 1920x1080 です。
● ［システムセレクト］メニューが［720-**］に設定されている場合、静止画を切り出すことはできません。



再生一時停止画面を拡大する

リモコンを使用します。

メモ :

- 本機では、操作できません。
- リモコンを使用する場合は、［本体設定］メニューの［リモコン］を［入］に設定してください。

1. 動画再生モード時は、再生一時停止にする 静止画再生モード時は、静止画を 1 画面表示させます。

2. リモコンのズーム (T) を押す

- 画像が拡大し、右下に子画面が表示されます。
- 子画面には、元の画像が表示されます。
- ビューポイントの位置を拡大表示しています。ビューポイントを移動することで親画面も移動します。



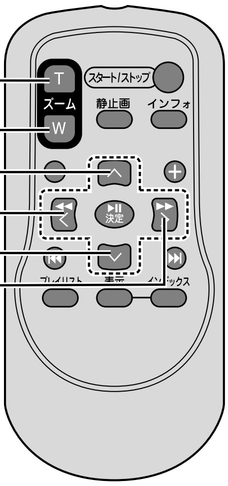
3. リモコンのズーム (T) を押して、画像を大きくする

4. ビューポイントを移動する

リモコンの十字ボタンを押すと、ビューポイントが移動します。

5. リモコンのズーム (W) を押して、画像を小さくする（ズームアウト）

さらにズームアウトを続けると、画像は元のサイズにもどり、子画面が消えます。

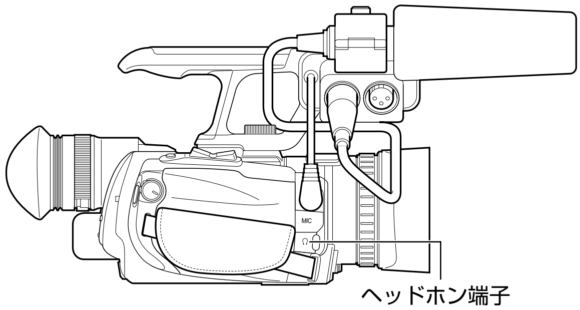


内蔵スピーカーまたはヘッドホンの音量を調整する

ヘッドホン、A/V OUT 端子または HDMI 端子を接続すると、内蔵スピーカーの音声は出力されません。

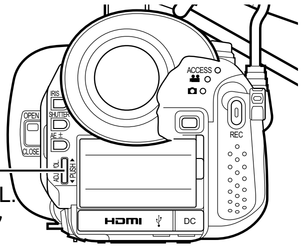
■ ヘッドホンを使用する場合

ヘッドホンをヘッドホン (🎧) 端子に接続する。



■ 内蔵スピーカーまたはヘッドホンの音声レベルを調整する

ADJ./VOL. ダイヤルを回す。

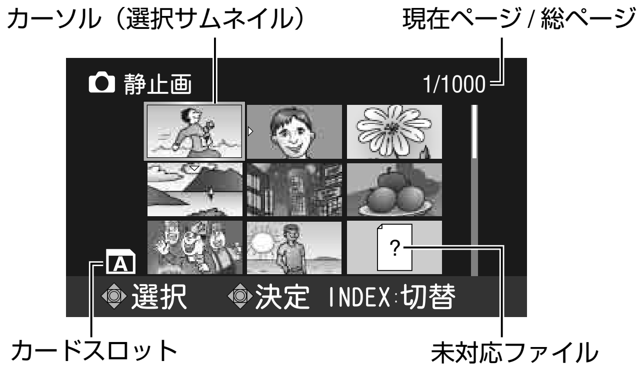


SD カードの静止画を再生する

準備：SD カードを入れ、カードスロットを選ぶ。

1. 静止画再生モードにする (☞ 43 ページ)

● 静止画インデックス画面が表示されます。



2. ファイルを選択する

Set レバーを上、下、左、右方向に押して、カーソルを再生したいサムネイルに移動させる。



メモ :

● リモコンの＋または－ボタンを押すと、１つ新しい日付または古い日付のファイルに移動します。

3. ファイルを再生する

Set レバーの中央を押す。またはズームレバーの (T) を押す。

● 選択したファイルの静止画が再生されます。



■ 前後の静止画を表示する

次の静止画を表示する
Set レバーを右方向に押す。



前の静止画に戻す
Set レバーを左方向に押す。



スライドショーで表示する

静止画再生時、次または前の静止画が画面をスライドしながら表示します。

静止画を再生する。

1. スライドショーを始める

Set レバーの中央を押す。

● 次の静止画が右側からスライドしながら表示します。（正方向）



■ スライドの向きを逆にする

Set レバーを上に押す。

● 前の静止画が左からスライドしながら表示します。



■ スライドの向きを正方向に戻す

Set レバーを下方向に押す。



2. スライドショーを止める

Set レバーの中央を押す。

● 静止画の１画面表示に戻ります。



メモ :

● ［本体設定］メニューの［スロット自動切替］が［入］に設定時、スロット A,B の SD カードを連続再生します。

静止画インデックス画面に戻る

INDEX キーを押す。
またはズームレバーの (W) を押す。



日付検索画面でファイルを選択する

1. 静止画インデックス画面表示時、INDEX ボタンを押す

● 日付検索画面が表示されます。



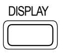
「日付検索画面でファイルを選択する」(☞ 45 ページ)

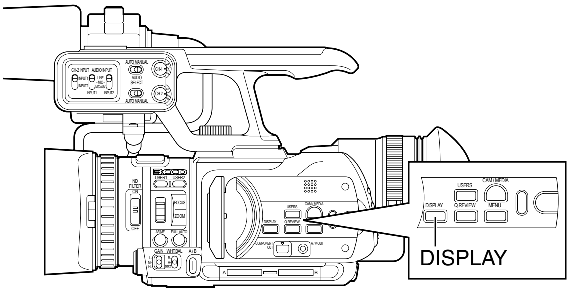
静止画のファイル情報を表示する

1. インデックス画面表示時は、表示したいファイルを選択する
または静止画を表示する

2. DISPLAY ボタンを押す

● ファイル情報が表示されます。





ファイル、フォルダ、撮影日時、サイズ、画質、ＯＫ マーク

3. ファイル情報を消す場合は、DISPLAY ボタンを押す

● インデックス画面または静止画に戻ります。

静止画を拡大表示する

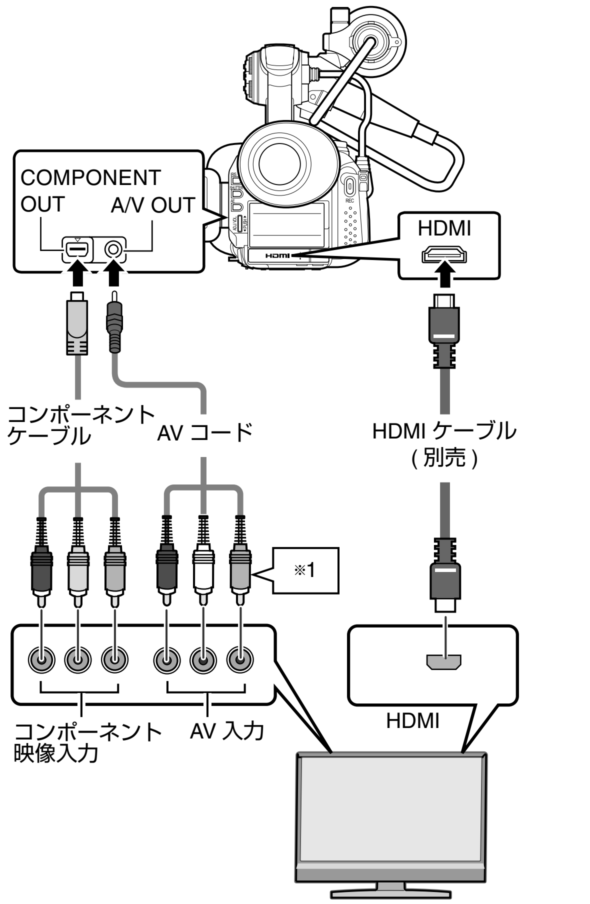
リモコンのズームボタンで静止画を拡大表示できます。
「再生一時停止画面を拡大する」(☞ 47 ページ)

モニターで動画を見る

適用：動画撮影モード、動画再生モード

本機は、映像出力端子が３つあります。
ご使用のモニターに最適な端子をお使いください。

A/V OUT 端子	:	コンポジットビデオ信号と音声信号を出力します。
COMPONENT OUT 端子	:	コンポーネントビデオ信号を出力します。音声は出力しません。［接続設定］メニューの［コンポーネント出力］で解像度を設定します。(☞ 63 ページ)
HDMI 端子	:	HDMI 信号を出力します。［接続設定］メニューで接続するモニターに合わせるための設定を行います。［ＨＤＭＩ 出力］、［HDMI カラー設定］、［HDMI エンハンス設定］(☞ 63 ページ)



※1:コンポーネント端子使用時、AV コードのビデオ端子は使用しません。

■ 出力端子を同時に接続した場合、下記のようになります。

- HDMI 端子は、常に映像と音声出力します。
- COMPONENT OUT 端子と A/V OUT 端子を接続した場合、COMPONENT OUT 端子から映像を出力し、A/V OUT 端子から音声を出力します。
- HDMI 端子と COMPONENT OUT 端子を接続した場合、COMPONENT OUT 端子からは、メニューで設定したアナログコンポーネント信号よりも [HDMI 出力] メニューで選択した信号が優先して出力されます。
- HDMI 端子と A/V OUT 端子を接続した場合､HDMI 端子から映像をします。音声は両方の端子から出力されます。

メモ :

- コンポーネントケーブルは、必ず付属のコンポーネントケーブルを使用してください。
- ［接続設定］メニューで以下の項目を設定できます。
［ビデオ出力］: モニターに表示するサイズを合わせる。(4:3 または 16:9)
［テレビ表示］: オンスクリーン表示するかどうかを設定します。
- HDMI 端子､COMPONENT OUT 端子または A/V OUT 端子を接続時、ビューファインダーに映像を表示しません。

ファイルにプロテクトを かける / 解除する

適用：動画再生モード、静止画再生モード

動画ファイルや静止画ファイルを削除できないようプロテクトをかけたり、プロテクトを解除できます。本機では、プロテクト機能を次のように表現しています。
プロテクトをかける　：「OK マークを付加する」
プロテクトを解除する：「OK マークを削除する」

OK マークの付加 / 削除方法は４つあります。
- ファイルを１つずつ設定
- ファイルを選択して設定
- すべてのファイルに付加
- すべてのファイルから削除

準備
■ SD カードを入れる。
■ 動画または静止画再生モードにする。

OK マークの設定は［ＯＫ マーク］メニューにて行います。
［ＯＫ マーク］: (☞ 70 ページ)

メモ :
- Others ファイルには設定できません。

ファイルを１つずつ設定する

1. インデックス画面で OK マークを付けたいファイルまたは削除したいファイルを選択する
- プロテクトがかかったファイルにはOKマークが付いています。

2. ［ＯＫ マーク］メニューの［１つずつ設定］を選び、Set レバーの中央を押す
- 確認画面が表示されます。




※Set レバーを右または左に押すと、次または前のファイルに移動します。

3. ［はい］を選び、実行する
Set レバーを上または下に押して［はい］を選択する。
Set レバーの中央を押す。
- 実行を始め、終了するとメッセージが表示されます。



4. Set レバーの中央を押す
- ［ＯＫ マーク］メニュー画面に戻ります。

ファイルを選択して設定する

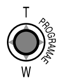
1. ［ＯＫ マーク］メニューの［選択して設定］を選び、Set レバーの中央を押す
- ＯＫ マーク選択画面が表示されます。



2. OK マークを付加または削除するファイルを選択する
Set レバーを上下左右方向に押してファイルを選択する。

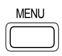


Set レバーの中央を押す
- 選択ファイルに OK マークが付加されたり、または OK マークが削除されます。



上記手順を繰り返し複数のファイルを選択できます。

3. MENU ボタンを押す
- 確認画面が表示されます。



4. ［はい］を選び、実行する
Set レバーを上または下に押して［はい］を選択する。
Set レバーの中央を押す。
- 実行を始め、終了するとインデックスまたは全画面に戻ります。



すべてのファイルに付加または削除する

1.［ＯＫ マーク］メニューの［すべて付加］または［すべて削除］を選択し、Set レバーの中央を押す

● 確認画面が表示されます。



2.［はい］を選び、実行する

Set レバーを上または下に押して［はい］を選択する。
Set レバーの中央を押す。

● 実行を始め、終了するとメッセージが表示されます。



3. Set レバーの中央を押す

●［ＯＫ マーク］メニュー画面に戻ります。

ファイルを削除する

適用：動画再生モード、静止画再生モード

不要になった動画ファイルや静止画ファイルを削除します。
ファイルの削除方法は３つあります。

- ●ファイルを１つずつ削除
- ●ファイルを選択して削除
- ●すべてのファイルを削除

準備

■ SD カードを入れる。

■ 動画または静止画再生モードにする。

ファイル削除は、［削除］メニューにて行います。
［本体設定］メニューの［ＵＳＥＲ １設定］、［ＵＳＥＲ ２設定］または［ＵＳＥＲ ３設定］を［ゴミ箱］に設定した場合、USER ボタンを使用できます。
［削除］：(☞ 70 ページ)

メモ：

● OK マークの付いたファイルや Others ファイルは、削除できません。

ファイルを１つずつ削除する

**1. インデックス画面で削除したいファイルを選択する
または動画再生時は、再生一時停止にする。
静止画再生時は、１画面表示にする。（スライドショーを止める）**

2.［削除］メニューの［１つずつ削除］を選び、Set レバーの中央を押す

または［ゴミ箱］に設定した USER ボタンを押す。

● 削除の確認画面が表示されます。





※Set レバーを右または左に押すと、次または前のファイルに移動します。

3.［はい］を選び、実行する

Set レバーを上または下に押して［はい］を選択する。
Set レバーの中央を押す。

● ファイルが削除されます。



■ 残りファイルが無い場合は、インデックス画面に戻ります。

■ 残りファイルが有る場合は、確認画面が表示されます。
表示しているファイルを削除する場合は、［はい］を選択する。
メニュー画面に戻る場合は、［いいえ］を選択する。
インデックス画面または全画面に戻る場合は、［MENU］ボタンを押す。

ファイルを選択して削除する

1.［削除］メニューの［選択して削除］を選び、Set レバーの中央を押す

● 削除ファイル選択画面が表示されます。





2. 削除するファイルを選択する

Set レバーを上下左右方向に押してファイルを選択する。



Set レバーの中央を押すか、または［ゴミ箱］に設定した USER ボタンを押す。

● 選択したファイルに削除アイコンが付きます。



上記手順を繰り返し複数のファイルを選択できます。

ファイルを削除する(つづき)

3. MENU ボタンを押す

削除の確認画面が表示されます。

4.［削除して終了］を選び、実行する

Set レバーを上または下に押して［削除して終了］を選択する。
Set レバーの中央を押す。

- 削除を開始し、終了するとメッセージが表示されます。

5. Set レバーの中央を押す

- インデックス画面または全画面に戻ります。

すべてのファイルを削除する

1.［削除］メニューの［すべて削除］を選び、Set レバーの中央を押す

- 削除確認画面が表示されます。

2.［はい］を選び、実行する

Set レバーを上または下に押して［はい］を選択する。
Set レバーの中央を押す。

- 削除を開始し、終了するとメッセージが表示されます。

3. Set レバーの中央を押す

- インデックス画面または全画面に戻ります。

ファイルをコピーまたは移動する

適用：動画再生モード（コピーのみ）、静止画再生モード

スロット A とスロット B 間でファイルをコピーまたは移動します。
ファイル移動は、静止画ファイルのみ可能です。

準備

■ スロット A およびスロット B に SD カードを入れる。
対象元の SD カードと対象先の SD カードを入れます。

■ 再生モードを選択する。

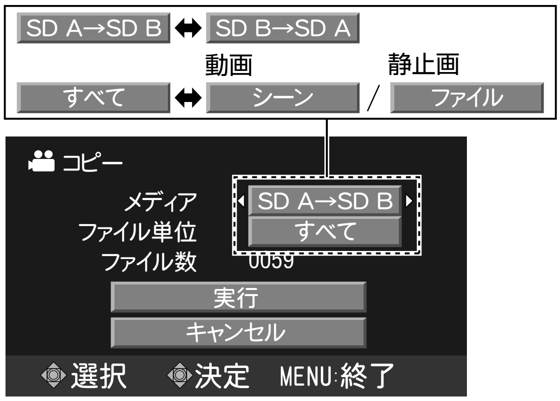
- コピーを行う場合は、ファイル形式に応じて、動画再生モードまたは静止画再生モードにする。
- 移動を行う場合は、静止画再生モードにする。

■ ファイルのコピーや移動は、下記のメニュー設定で行います。
ファイルコピー　：［コピー］メニュー
ファイル移動　　：［ムーブ］メニュー
［コピー］、［ムーブ］：(☞ 70 ページ)

ファイルをコピーする

1.［コピー］メニューを選び、Set レバーの中央を押す

- コピー設定画面が表示されます。



［メディア］　：コピー元とコピー先を選択します
［ファイル単位］：［すべて］または［シーン］（動画）、［ファイル］（静止画）を選択します。

メモ :

- 動画をコピーする場合、コピー先の SD カードは、指定のカード (Class6 以上の SDHC カード) をお使いください。

2.［メディア］および［ファイル単位］を設定する

Set レバーを上または下に押して項目を選択する。
Set レバーを右または左に押して設定値を選択する。



■［ファイル単位］を［シーン］（動画）または［ファイル］（静止画）に設定した場合
Set レバーの中央を押して、コピーするファイルの選択画面を表示させる。（下欄参照）



■［ファイル単位］を［すべて］に設定した場合
Set レバーを下に押して［実行］を選択する。
（次手順 3）

3.［実行］を選択し、Set レバーの中央を押す

● コピーを開始し、終了するとメッセージが表示されます。



4. Set レバーの中央を押す

● 再生インデックス画面に戻ります。



コピーするファイルを選択する



1. ファイルを選択する

Set レバーを上下左右方向に押してファイルを選択する



次に、Set レバーの中央を押す

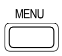


● 選択したファイルに選択アイコンが付きます。

上記手順を繰り返し複数のファイルを選択できます。

2. MENU ボタンを押す

● コピー設定画面に戻ります。





前項［ファイルをコピーする］の手順 3. 以降の操作でファイルをコピーしてください。

ファイルを移動する

［ムーブ］メニューを選択します。操作は、［ファイルをコピーする］と同じ手順で行います。

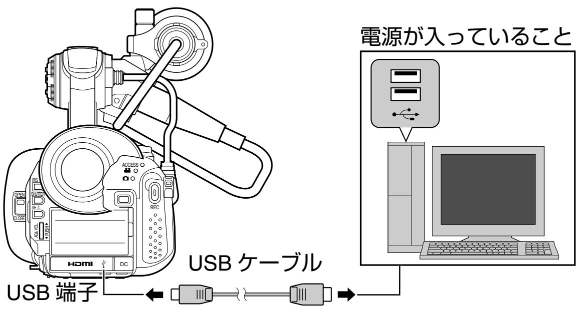
パソコンに接続する

適用：動画 / 静止画撮影モード、動画 / 静止画再生モード

本機とパソコンを USB ケーブルで接続することで、SD カードのファイルをパソコンに読み出すことができます。

メモ：
- SD カードへの書き込みはできません。

1. パソコンに接続する



①本機およびパソコンの電源を入れます。

②動画を録画している場合は、停止モードにする。

③USB ケーブルを接続する。

- USB マスストレージメニューが表示されます。



2. Set レバーの中央を押す



- USB マスストレージモードになり、通信を始めます。



- パソコン画面にスロット A、スロット B のドライブが表示されます。

■ パソコンの電源を切ったり、USB ケーブルを抜くと、撮影モードまたは再生モードに戻ります。

設定内容を保存 / 取り込む

適用：動画 / 静止画撮影モード、動画 / 静止画再生モード

本機の現在の設定内容を SD カードに保存できます。
SD カードに保存した設定内容を本機に取り込むことで設定内容を再現できます。

1 枚の SD カードで４つのファイルを保存できます。

(ＥＸＴ１,ＥＸＴ２,ＥＸＴ３,ＥＸＴ４)

■ 保存設定内容
- メニュー設定
  ※［フォーカスアシスト］メニューの設定は保存されません。
- 本機操作ボタンによる設定
  撮影調整モード (AUTO/MANUAL)、プログラム AE モード、シャッタースピード (AUTO/MANUAL)、絞り (AUTO/MANUAL)、AE(AUTO/MANUAL)、フォーカス (AUTO/MANUAL)

■［本体設定］メニューで行います。
「メニュー画面を設定する」: (☞ 66 ページ)

設定内容を SD カードに保存する

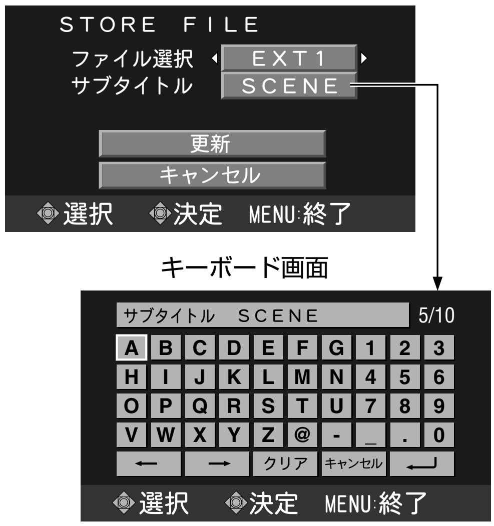
保存するファイル名は、ＥＸＴ１～ＥＸＴ４のいずれかから選択します。ファイルのサブタイトルを任意に指定できます。

準備
SD カードを入れる。
録画時は、録画を止める。

1. ［本体設定］メニューの［ＳＴＯＲＥ　ＦＩＬＥ］を選び、Set レバーの中央を押す

- ［ＳＴＯＲＥ　ＦＩＬＥ］画面が表示されます。





2. **保存するファイルを選択する**

［ファイル選択］を選び、Set レバーを右または左に押してファイル名を選択する。
(ＥＸＴ １,ＥＸＴ ２,ＥＸＴ ３,ＥＸＴ ４)



3. **サブタイトルを指定する場合は、Set レバーを下または上に押して［サブタイトル］を選択する**

下記の「サブタイトルを指定する」をご覧ください。



サブタイトルを指定しない場合は、Set レバーを下または上に押して［更新］を選択する。

4. **［更新］を選び、Set レバーの中央を押す**

- ファイル保存の実行画面を表示し、終了するとメッセージが表示されます。



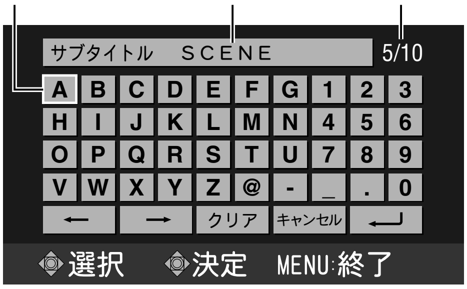
5. **Set レバーの中央を押す**

- カメラ画またはインデックス画面に戻ります。

サブタイトルを指定する

サブタイトルは、最大半角１０文字まで指定できます。
(英数字 ,@,-,_,.)

■［ＳＴＯＲＥ　ＦＩＬＥ］画面の［サブタイトル］を選択時、Set レバーの中央を押すと、キーボード画面が表示されます。



- ← カーソル位置を１文字戻し
- → カーソル位置を１文字送り
- クリア カーソル位置を１文字クリア
- キャンセル 保存しないでキーボード画面を閉じる
- ↵ 保存してキーボード画面を閉じる (ENTER キー)

1. **文字を選択する**

Set レバーを上下左右方向に押して、カーソルを入力したい文字に移動させる。



2. **文字を決定する**

Set レバーの中央を押す。

- 決定した文字が画面上側の表示部に表示されます。上記手順を繰り返して文字を入力します。



3. **入力文字を保存する**

Set レバーを上下左右方向に押して、ENTER キーを選択し Set レバーの中央を押す。

- ［ＳＴＯＲＥ　ＦＩＬＥ］画面に戻ります。



SD カードから設定内容を取り込む

SD カードに保存されたファイルを本機に取り込みます。
ＥＸＴ １～ＥＸＴ ４のいずれかを選択します。

準備
SD カードを入れる。
録画時は、録画を止める。

1. **［本体設定］メニューの［ＬＯＡＤ　ＦＩＬＥ］を選び、Set レバーの中央を押す**

- ［ＬＯＡＤ　ＦＩＬＥ］画面が表示されます





2. **取り込むファイルを選択する**

［ファイル選択］を選び、Set レバーを右または左に押してファイル名を選択する。
(ＥＸＴ １,ＥＸＴ ２,ＥＸＴ ３,ＥＸＴ ４)



3. **ファイルを取り込む**

Set レバーを下または上に押して［実行］を選択する。
次に、Set レバーの中央を押す。

- ファイルの取り込みを始めます。（実行中、メッセージが表示されます。）
- 取り込み後、本機は自動的に再起動します。



操作音やタリーを設定する

操作音の有無やタリーランプ点灯の有無を選択できます。

操作音

［本体設定］メニューの［操作音］で設定します。
(☞ 67 ページ)
［入］に設定時、内蔵スピーカーから操作音が鳴ります。

ヘッドホンを接続時は、内蔵スピーカーおよびヘッドホンとも操作音は鳴りません。

タリーランプ

［本体設定］メニューの［タリー］で設定します。
(☞ 67 ページ)
［入］に設定時、録画モードでタリーランプが点灯します。

アワーメーターを表示する

本機の電源が入っていた時間の累計を表示します。

1. **［表示設定］メニューの［HOUR　METER］を選択する**
(☞ 65 ページ)

2. **Set レバーの中央を押す**

● アワーメーターが表示されます。



3. **もう一度 Set レバーの中央を押す**

● メニュー画面に戻ります。

工場出荷時設定に戻す

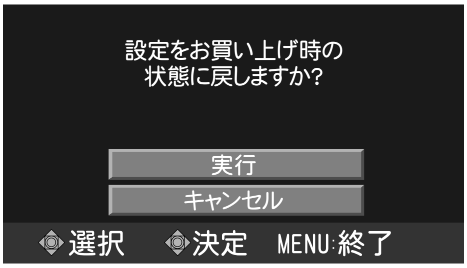
メニュー設定値を工場出荷時設定に戻します。タイムコード / ユーザーズビット、日付時刻、アワーメーターは、戻りません。

1. **［本体設定］メニューの［工場出荷］を選択する**

2. **Set レバーの中央を押す**

● ［工場出荷］設定画面を表示します。





3. **工場出荷時設定に戻す**

Set レバーを上または下に押し、［実行］を選択する。
次に、Set レバーの中央を押す。



● メニュー画面を閉じ、工場出荷時設定になります。
［システムセレクト］メニューが変わる場合、本機は自動的に再起動します。

メニュー画面を設定する

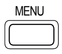
設定したメニュー内容は、本機のメモリーに保存され、電源を切っても保存されます。
動作モードに応じてメニュー内容が異なります。

1. 設定したい動作モードにする

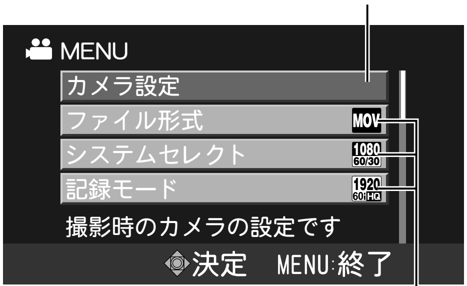
（動画撮影 / 静止画撮影 / 動画再生 / 静止画再生モード）

2.［MENU］を押す

● メニュー画面が表示されます。



表示なし：次に階層あり



表示あり：次に階層なし

メニュー項目によっては 2 階層になっています。1 階層のみの項目は、右側に現在の設定値が表示されています。

3. 項目を選択する

Set レバーを上または下に押して、選択したい項目にフォーカスを移動させる。

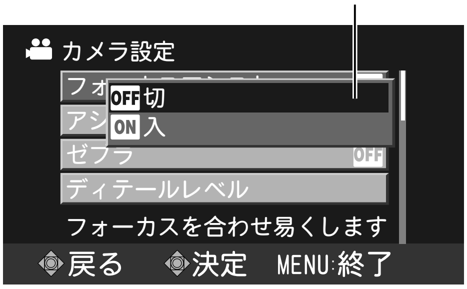


4. パラメーターまたは第２階層メニューを表示する

Set レバーの中央または右を押す。



パラメーター



メモ :

● 項目によっては設定用の専用画面を表示します。

5. パラメーターを変更する

Set レバーを上または下に押して選択する。
次に Set レバーの中央を押す。

● 設定変更されます。

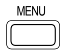


■ 第２階層のメニュー画面でも同じ手順で設定変更します。第２階層メニュー画面で、パラメーターを選び、Set レバーの中央を押すと、第 1 階層メニューに戻ります。

■ 第２階層メニュー画面で、設定変更しないで第 1 階層のメニュー画面に戻る場合は、Set レバーを左に押す。

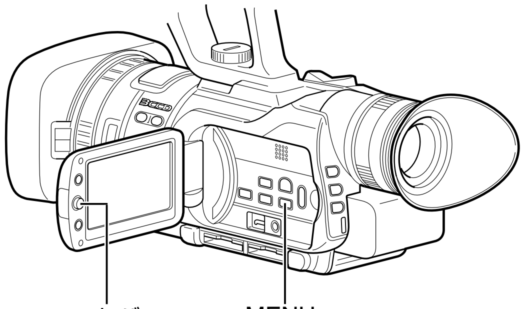
6. メニュー設定を終了する

［MENU］を押す。



メモ :

● 設定した内容は、SD カードに保存できます。(☞ 54 ページ)



Set レバー　MENU

動作モードに応じて有効なメニュー項目リスト

下記のメニュー項目が表示されますが、動作モードに応じて機能するメニュー項目が異なります。
○：設定が有効です。×：設定が無効です。

メニュー項目	動作モード			
	動画撮影	静止画撮影	動画再生	静止画再生
カメラ設定				
フォーカスアシスト	○	○	×	×
アシストカラー	○	○	×	×
ゼブラ	○	×	×	×
ディテールレベル	○	×	×	×
ディテール VH バランス	○	×	×	×
KNEE	○	×	×	×
ガンマ	○	×	×	×
ガンマレベル	○	×	×	×
カラーマトリックス	○	×	×	×
カラーゲイン	○	×	×	×
基本色温度設定	○	○	×	×
ホワイトペイント <R>	○	×	×	×
ホワイトペイント <B>	○	×	×	×
FAW	○	○	×	×
GAIN L	○	×	×	×
GAIN M	○	×	×	×
GAIN H	○	×	×	×
測光エリア	○	○	×	×
カラーバー	○	×	×	×
テレマクロ	○	○	×	×
ファイル形式	○	×	×	×
システムセレクト	○	×	×	×
記録モード	○	×	×	×
クリップ連続記録	○	×	×	×
静止画画質	×	○	×	×
静止画サイズ	×	○	×	×
感度アップ	×	○	×	×
接続設定				
テレビ表示	○	○	○	○
ビデオ出力	○	○	○	○
コンポーネント出力	○	○	○	○
HDMI 出力	○	○	○	○
HDMI カラー設定	○	○	○	○
HDMI エンハンス設定	○	○	○	○
メディア設定				
フォーマット	○	○	○	○
動画番号リセット	○	○	○	○
静止画番号リセット	○	○	○	○
ウィンドカット				
INPUT 1	○	×	×	×
INPUT 2	○	×	×	×
マイク	○	×	×	×

メニュー項目	動作モード			
	動画撮影	静止画撮影	動画再生	静止画再生
オーディオ基準レベル	○	×	×	×
マイクレベル設定	○	×	×	×
内蔵マイクレベル設定	○	×	×	×
オーディオモニター	○	×	×	×
TC/UB 設定				
TC PRESET	○	×	×	×
DROP FRAME	○	×	×	×
TC GENE.	○	×	×	×
UB PRESET	○	×	×	×
TC DISPLAY	○	×	×	×
セルフタイマー	×	○	×	×
シャッターモード	×	○	×	×
削除	×	×	○	○
OK マーク	×	×	○	○
コピー	×	×	○	○
ムーブ	×	×	×	○
表示設定				
LANG. ／言語	○	○	○	○
時計合わせ	○	○	○	○
日付表示配列	○	○	○	○
モニター明るさ調整	○	○	○	○
モニターバックライト	○	○	○	○
マイクレベル表示	○	○	○	○
HOUR METER	○	○	○	○
本体設定				
LOAD FILE	○	○	○	○
STORE FILE	○	○	○	○
USER 1設定	○	○	○	○
USER 2設定	○	○	○	○
USER 3設定	○	○	○	○
スロット自動切替	○	○	○	○
工場出荷	○	○	○	○
オートパワーオフ	○	○	○	○
手ぶれ補正	○	○	○	○
タリー	○	○	○	○
リモコン	○	○	○	○
操作音	○	○	○	○
優先設定	○	○	○	○
画面表示	×	×	○	○

動画撮影モード時の
メニュー画面

項目		内容
網かけ (　　　) の付いた項目は、全モード共通の項目です。 ● の付いた設定値が工場出荷時の設定です。		
カメラ設定		撮影時のカメラ操作や画質を設定します。
	フォーカスアシスト	モノクロ画像にして、ピントの合っている部分の輪郭線に色をつけるかどうかを選択します。（フォーカスアシスト機能） ● 切　：動作しません。 　入　：動作します。
	アシストカラー	フォーカスアシスト動作時、ピントの合っている部分の色を設定します。 ● 赤 　緑 　青
	ゼブラ	被写体の明るい部分にゼブラ模様を表示するかどうかを選択します。また、ゼブラ模様を表示する明るさを指定できます。 ● 切　：表示しません。 　入　：表示します。 　しきい値設定　：専用画面を表示します。 　ゼブラ模様を表示する明るさを指定できます。(☞ 34 ページ)
	ディテールレベル	専用画面を表示します。(☞ 39 ページ) 輪郭（ディテール）強調レベルの調整を行います。 　数字を大きく　：輪郭をシャープにする。 　数字を小さく　：輪郭をソフトにする。 　ＯＦＦ　：機能しません。 ＯＦＦ, MIN(-10), -9 ～ ●NORMAL(0) ～ +9, MAX(10)
	ディテール VH バランス	専用画面を表示します。(☞ 39 ページ) 輪郭（ディテール）の強調を水平方向（H）と垂直方向（V）のどちら側により強くかけるかを設定します。 　数字を大きく　：水平方向に強くかける。 　数字を小さく　：垂直方向に強くかける。 MIN(-5), -4 ～ ●NORMAL(0) ～ +4, MAX(5)
	ＫＮＥＥ	ハイライト部分の諧調を表現するために映像信号のあるレベル以上を圧縮する " ニー " 動作を自動で行うか、手動でニーポイント（圧縮を始める点）を指定するかを設定します。 ● オート　：自動調整します。 　１００%, ９５%, ９０%, ８５%：指定したポイントで " ニー " 動作します。
	ガンマ	黒の再現性を決定するガンマカーブを補正します。 　切　：補正しません。 ● スタンダード　：標準のガンマカーブになります。 　シネマ　：映画の画面特性に近い色合いのガンマカーブになります。
	ガンマレベル	専用画面を表示します。(☞ 39 ページ) ガンマ項目を “ スタンダード ” または “ シネマ ” に設定したとき、それぞれに設定できます。 　数字を大きく　：黒の諧調を良くします。ただし、明るい部分の諧調は悪くなります。 　数字を小さく　：明るい部分の諧調を良くします。ただし、黒の諧調は悪くなります。 MIN(-5), -4 ～ ●NORMAL(0) ～ +4, MAX(5)
	カラーマトリックス	カラーマトリックス設定をします。 　切　：機能を使用しません。 ● スタンダード　：標準のカラーマトリックスにします。 　CINEMA VIVID COLOR　：鮮やかなシネマカラーにします。 　CINEMA SUBDUED COLOR　：落ち着いたシネマカラーにします。
	カラーゲイン	専用画面を表示します。(☞ 39 ページ) 映像信号の色レベルを調整します。 　ＯＦＦ　：白黒にします。 　数字を大きく　：色を濃くします。 　数字を小さく　：色を薄くします。 ＯＦＦ, MIN(-5), -4 ～ ●NORMAL(0) ～ 4, MAX(5)

動画撮影モード時の
メニュー画面 (つづき)

項目		内容
網かけ (　　　) の付いた項目は、全モード共通の項目です。 ● の付いた設定値が工場出荷時の設定です。		
カメラ設定	基本色温度設定	WHT.BAL. スイッチが PRST(PRESET) に設定されたときの基本色温度を設定します。 ● ３２００ K:基本色温度を 3200K にします。(ハロゲンランプなど低い色温度で使用します。) ５６００ K:基本色温度を 5600K にします。(太陽光などの高い色温度で使用します。) **メモ :** ● ［ＦＡＷ］項目を［ＰＲＥＳＥＴ］に設定時、この項目は機能しません。
	ホワイトペイント <R>	専用画面を表示します。(☞ 36 ページ) AWB(オートホワイトバランス) 時の R(赤) の成分を調整します。 数字を大きく　: 赤味を強くします。 数字を小さく　: 赤味を弱くします。 MIN(-15),-14 ～ ●0 ～ 14,MAX(15) **メモ :** ● WHT.BAL. スイッチを A または B に設定したとき、選択できます。設定値は、A,B それぞれに設定できます。(PRESET に設定時は , 選択できません。) ● AWB(オートホワイトバランス) ボタンを押してホワイトバランスを合わせなおすと、ホワイトペイント <R> は、[0] になります。
	ホワイトペイント <B>	専用画面を表示します。(☞ 36 ページ) AWB(オートホワイトバランス) 時の B(青) の成分を調整します。 数字を大きく　: 青味を強くします。 数字を小さく　: 青味を弱くします。 MIN(-15),-14 ～ ●0 ～ 14,MAX(15) **メモ :** ● WHT.BAL. スイッチを A または B に設定したとき、選択できます。設定値は、A,B それぞれに設定できます。(PRESET に設定時は , 選択できません。) ● AWB(オートホワイトバランス) ボタンを押してホワイトバランスを合わせなおすと、ホワイトペイント <B> は、[0] になります。
	ＦＡＷ	FAW(フルオートホワイトバランス) の機能を WHT.BAL. スイッチのどのポジションに割り付けるかを設定します。(A フルオート撮影モード時は、FAW に固定) ● 設定しない　: FAW 機能を割り付けません。 A　: A ポジションに FAW を割り付けます。 B　: B ポジションに FAW を割り付けます。 ＰＲＥＳＥＴ : PRESET ポジションに FAW を割り付けます。
	ＧＡＩＮ　Ｌ ＧＡＩＮ　Ｍ ＧＡＩＮ　Ｈ	GAIN スイッチの各ポジションにゲインの値を設定します。 (A フルオート撮影モード時は、AGC に固定) ０ｄＢ ３ｄＢ ６ｄＢ ９ｄＢ １２ｄＢ １５ｄＢ １８ｄＢ ＡＧＣ < 工場出荷時設定 > GAIN L:0db GAIN M:9dB GAIN H:18dB

項目		内容
網かけ ( ) の付いた項目は、全モード共通の項目です。 ● の付いた設定値が工場出荷時の設定です。		
カメラ設定	測光エリア	明るさ補正のエリアを設定します。 ● 全体　：画面全体を測光エリアにします。 スポット　：専用画面を表示します。(☞ 38 ページ) 測光エリアを指定します。
	カラーバー	カラーバー出力の有無を設定します。（A フルオート撮影モード時は、［切］に固定） ● 切　：カラーバーを出力しません。 入　：カラーバーを出力します。
	テレマクロ	ズームの望遠 (T) 側で接写できる距離を短くするかどうかを選択します。 ● 切　：約 1m まで接写できます。 入　：約 80cm まで接写できます。
ファイル形式		動画のファイル形式を設定します。 ● QuickTime file format : QuickTime(MOV) ファイル形式で録画を行います。 MP4 file format　: MP4 ファイル形式で録画を行います。 **メモ :** ● ［ファイル形式］メニューの設定に応じて、ステータス画面に表示される記録モードアイコンの色が変わります。 ［QuickTime file format］に設定時 : 青色 ［MP4 file format］に設定時　: オレンジ色
システムセレクト		本機のシステムを設定します。 ● １０８０−６０／３０ : 垂直解像度 1080 本 , フレームレート 60/30 のシステム ７２０−６０／３０ : 垂直解像度 720 本 , フレームレート 60/30 のシステム １０８０−５０／２５ : 垂直解像度 1080 本 , フレームレート 50/25 のシステム ７２０−５０／２５ : 垂直解像度 720 本 , フレームレート 50/25 のシステム １０８０−２４ : 垂直解像度 1080 本 , フレームレート 24 のシステム ７２０−２４ : 垂直解像度 720 本 , フレームレート 24 のシステム **メモ :** ● この項目の設定を変えると、リブート（再起動）します。

動画撮影モード時の メニュー画面 (つづき)

<table>
<tr><td>項目</td><td>内容</td></tr>
<tr><td colspan="2">網かけ (　　　) の付いた項目は、全モード共通の項目です。
● の付いた設定値が工場出荷時の設定です。</td></tr>
<tr><td>記録モード</td><td>記録モードを設定します。
[システムセレクト] メニュー項目の設定に応じて下記のように設定できます。
<table>
<tr><td>システムセレクト</td><td>本項目の設定値</td><td>内容</td></tr>
<tr><td>１０８０−６０／３０</td><td>● 1920/60i(HQ)
1440/60i(HQ)
1440/60i(SP)
1920/30p(HQ)</td><td>水平解像度 1920 本、60 フィールド・インターレース、高画質
水平解像度 1440 本、60 フィールド・インターレース、高画質
水平解像度 1440 本、60 フィールド・インターレース、標準画質
水平解像度 1920 本、30 フレーム・プログレッシブ、高画質</td></tr>
<tr><td>７２０−６０／３０</td><td>1280/60p(HQ)
1280/60p(SP)
1280/30p(HQ)
1280/30p(SP)</td><td>水平解像度 1280 本、60 フレーム・プログレッシブ、高画質
水平解像度 1280 本、60 フレーム・プログレッシブ、標準画質
水平解像度 1280 本、30 フレーム・プログレッシブ、高画質
水平解像度 1280 本、30 フレーム・プログレッシブ、標準画質</td></tr>
<tr><td>１０８０−５０／２５</td><td>1920/50i(HQ)
1440/50i(HQ)
1440/50i(SP)
1920/25p(HQ)</td><td>水平解像度 1920 本、50 フィールド・インターレース、高画質
水平解像度 1440 本、50 フィールド・インターレース、高画質
水平解像度 1440 本、50 フィールド・インターレース、標準画質
水平解像度 1920 本、25 フレーム・プログレッシブ、高画質</td></tr>
<tr><td>７２０−５０／２５</td><td>1280/50p(HQ)
1280/50p(SP)
1280/25p(HQ)
1280/25p(SP)</td><td>水平解像度 1280 本、50 フレーム・プログレッシブ、高画質
水平解像度 1280 本、50 フレーム・プログレッシブ、標準画質
水平解像度 1280 本、25 フレーム・プログレッシブ、高画質
水平解像度 1280 本、25 フレーム・プログレッシブ、標準画質</td></tr>
<tr><td>７２０−２４</td><td>1280/24p(HQ)
1280/24p(SP)</td><td>水平解像度 1280 本、24 フレーム・プログレッシブ、高画質
水平解像度 1280 本、24 フレーム・プログレッシブ、標準画質</td></tr>
</table>
メモ :
● [システムセレクト] メニューを [１０８０−２４] に設定している場合、[記録モード] は設定できません。
(1920/24p(HQ) に固定されます。)
● [ファイル形式] メニューを [MP4 file format] に設定している場合、[1440/60i(HQ)] および [1440/50i(HQ)] は表示しません。</td></tr>
<tr><td>クリップ連続記録</td><td>クリップを連続させて 1 つのファイルとして録画するかどうかを選択します。
● 切　: クリップ連続記録しません。
入　: クリップ連続記録します。</td></tr>
</table>

項目		内容
網かけ (　　　) の付いた項目は、全モード共通の項目です。 ● の付いた設定値が工場出荷時の設定です。		
接続設定		外部機器との接続に関して設定します。
	テレビ表示	モニターにオンスクリーン表示するかどうかを設定します。 ● 切　: 表示しません。 　入　: 表示します。
	ビデオ出力	モニターのタイプを選択します。 　４：３　: 従来型のモニター（4:3）に接続するとき ● １６：９: ワイドモニター（16:9）に接続するとき
	コンポーネント出力	コンポーネント端子から出力される映像の解像度を選択します。接続するモニターに合わせます。 ● ４８０ｉ　:480i,480p 対応のモニターに接続するとき 　７２０ｐ　:720p 対応のモニターに接続するとき 　１０８０ｉ　:1080i 対応のモニターに接続するとき システムセレクトで１０８０−５０／２５、７２０−５０／２５を選択しているときは ５７６ｉ になります。
	ＨＤＭＩ 出力	HDMI 端子から出力される映像の解像度を選択します。接続するモニターに合わせます。 最大 1080i 出力対応のモニターで正常に表示しない場合、設定します。 ● オート　: 通常この設定にします。接続するモニターに応じて、自動で解像度を設定します。 　４８０ｐ　: 480p で出力します。 　４８０ｉ　: 480i で出力します。 システムセレクトで１０８０−５０／２５、７２０−５０／２５を選択しているときは ５７６ｐ、５７６ｉ になります。
	HDMI カラー設定	HDMI 信号のカラー方式を選択します。 ●オート　: 接続するモニターに応じて YUV/RGB を自動判別して出力します。 　ＲＧＢ　: RGB 信号を出力します。
	HDMI エンハンス設定	HDMI 信号の色レンジを設定します。 ● 切　: 通常のモニターに接続するとき 　入　: パソコンモニターに接続するとき
メディア設定		SD カードの処理に関して設定します。
	フォーマット	専用画面を表示します。(☞ 24 ページ) すべてのデータを消去します。
	動画番号リセット	専用画面を表示します。(☞ 24 ページ) 動画のファイル番号をリセットします。
	静止画番号リセット	専用画面を表示します。(☞ 24 ページ) 静止画のファイル番号をリセットします。

動画撮影モード時の メニュー画面 (つづき)

項目		内容
網かけ (　　　) の付いた項目は、全モード共通の項目です。 ● の付いた設定値が工場出荷時の設定です。		
ウィンドカット		マイクの風きり音を低減させるかどうか選択します。
	ＩＮＰＵＴ １	INPUT1 端子のマイクの風きり音を低減させるかどうか選択します。 ● 切　：低減しません。 入　：低減します。
	ＩＮＰＵＴ ２	INPUT2 端子のマイクの風きり音を低減させるかどうか選択します。 ● 切　：低減しません。 入　：低減します。
	マイク	MIC 端子のマイクおよび内蔵マイクの風きり音を低減させるかどうか選択します。 ● 切　：低減しません。 入　：低減します。
オーディオ基準レベル		基準録音レベルを設定します。 ● －２０ｄＢ －１２ｄＢ
マイクレベル設定		MIC 端子のマイク入力レベルを設定します。 －２，－１，● ０，１，２
内蔵マイクレベル設定		内蔵マイクの入力レベルを設定します。 －２，－１，● ０，１，２
オーディオモニター		ヘッドホン音声を設定します。 ● ＭＩＸ　　：ミックス音声を出力します。 ＳＴＥＲＥＯ：ステレオ音声を出力します。

項目		内容
網かけ (　　　) の付いた項目は、全モード共通の項目です。 ● の付いた設定値が工場出荷時の設定です。		
ＴＣ／ＵＢ設定		タイムコードやユーザーズビットを設定します。
	ＴＣ　ＰＲＥＳＥＴ	専用画面を表示します。(☞ 42 ページ) タイムコードをプリセットします。
	ＤＲＯＰ　ＦＲＡＭＥ	タイムコードジェネレーターのフレーミングモードをドロップフレームかノンドロップフレームか選択します。 ● ＤＲＯＰ　　　：内部タイムコードジェネレーターがドロップフレームモードで歩進します。録画した時間を重視するとき、この設定にします。 ＮＯＮ　ＤＲＯＰ：内部タイムコードジェネレーターがノンドロップフレームモードで歩進します。フレーム数を重視するとき、この設定にします。 **メモ :** ● ［システムセレクト］項目が［１０８０−６０／３０］または［７２０−６０／３０］に設定時のみ、設定できます。［７２０−２４］に設定時は、［ＮＯＮ　ＤＲＯＰ］に固定されます。
	ＴＣ　ＧＥＮＥ.	タイムコードジェネレーターをプリセットモードにするかリジェネモードにするかを選択します。 また、プリセットモード時の歩進モードを選択します。 ＦＲＥＥ　：プリセットモードになり、歩進モードはフリーランモードになります。この位置でプリセットすると、タイムコードは常に歩進します。 ● ＲＥＣ　：プリセットモードになり、歩進モードはレコランモードになります。録画中のみタイムコードが歩進します。 ＲＥＧＥＮ：リジェネモードになります。SD カードに記録されているタイムコードを読み取り、その値に連続してタイムコードを記録します。
	ＵＢ　ＰＲＥＳＥＴ	専用画面を表示します。(☞ 42 ページ) ユーザーズビットをプリセットします。
	ＴＣ　ＤＩＳＰＬＡＹ	タイムコードまたはユーザーズビットを画面に表示するかどうか選択します。 切　：タイムコード、ユーザーズビットを表示しません。 ● ＴＣ　：タイムコードを表示します。 ＵＢ　：ユーザーズビットを表示します。
表示設定		画面表示に関して設定します。
	ＬＡＮＧ．／言語	画面表示する言語を選択します。(☞ 21 ページ)
	時計合わせ	専用画面を表示します。(☞ 21 ページ) 日付、時刻を設定します。
	日付表示配列	専用画面を表示します。 日付表示の並び方や時刻表示方法（12h/24h）を選択します。
	モニター明るさ調整	専用画面を表示します。 ビューファインダーまたは液晶画面の明るさをスライドバーで調整します。
	モニターバックライト	液晶画面のバックライトの明るさを設定します。 明るい　：標準モードより明るい ● 標準　：標準的な明るさ オート　：自動で屋外では明るいモード、屋内では標準モードになります。
	マイクレベル表示	マイクレベルを画面表示するかどうかを選択します。 切　：表示しません。 ● 入　：表示します。
	ＨＯＵＲ　ＭＥＴＥＲ	専用画面を表示します。(☞ 56 ページ) 電源投入累計時間を画面表示します。

動画撮影モード時の メニュー画面 (つづき)

項目		内容
網かけ ( ) の付いた項目は、全モード共通の項目です。 ● の付いた設定値が工場出荷時の設定です。		
本体設定		本機の動作に関して設定します。
	LOAD　FILE	専用画面を表示します。(☞ 55 ページ) SD カードに保存されている設定ファイルを本機に取り込みます。 4 つの設定ファイル (ＥＸＴ １～ ＥＸＴ ４) から選択します。
	STORE　FILE	専用画面を表示します。(☞ 54 ページ) 現在のメニュー設定内容や本体設定内容を SD カードに保存します。 SD カードには、設定ファイルを 4 つ (ＥＸＴ １～ ＥＸＴ ４) 保存できます。 各ファイルには、サブタイトルをつけることができます。
	ＵＳＥＲ １設定 ＵＳＥＲ ２設定 ＵＳＥＲ ３設定	USER1,USER2,USER3 ボタンに下記の機能をそれぞれのボタンに 1 つ割り付けることができます。 フォーカスアシスト ：ピント合わせを容易にします。(☞ 31 ページ) カラーバー ：カラーバーを表示します。(☞ 39 ページ) ＴＣ ＳＥＴＴＩＮＧ ：タイムコードのプリセット画面を表示します。(☞ 42 ページ) テレマクロ ：ズームの望遠 (T) 側で接写距離を短くします。(☞ 33 ページ) Ｌｏｌｕｘ ：暗いところで感度を上げます。(☞ 32 ページ) ゴミ箱 ：ファイルを削除します。(☞ 51 ページ) ゼブラ ：明るいところにゼブラ模様を表示します。(☞ 34 ページ) クリップクローズ ：1 つのファイルとして閉じます。 (☞ 28 ページ) 設定しない ：機能を割り付けません。 < 工場出荷時設定 > ＵＳＥＲ １設定: フォーカスアシスト ＵＳＥＲ ２設定: カラーバー ＵＳＥＲ ３設定: 設定しない
	スロット自動切替	SD カードスロット A と B を自動切り替えするかどうか選択します。 切 ：自動切り替えしません。 ● 入 ：自動切り替えします。
	工場出荷	専用画面を表示します。(☞ 56 ページ) メニュー設定や本体設定を工場出荷時設定にします。
	オートパワーオフ	約 5 分操作しない場合、自動で電源を切るかどうか選択します。 ● 切 ：自動で電源を切りません。 入 ：自動で電源を切ります。
	手ぶれ補正	手ぶれ補正機能を使用するかどうか選択します。 切 ：使用しません。三脚などで固定して撮影するとき、この設定にします。 ● 入 ：手ぶれによる映像のブレを低減します。 **メモ :** ● 手ぶれが大きいときは、補正しきれないことがあります。

項目		内容
網かけ (　　　) の付いた項目は、全モード共通の項目です。 ● の付いた設定値が工場出荷時の設定です。		
本体設定	タリー	タリーランプを点灯させるかどうか選択します。 切　:点灯しません。 ● 入　:点灯します。
	リモコン	リモコンの操作を受け付けるかどうか選択します。 切　:受け付けません。 ● 入　:受け付けます。
	操作音	本機操作ボタンを押したとき、操作音を鳴らすかどうかを選択します。 ● 切　:操作音を鳴らしません。 入　:操作音を鳴らします。
	優先設定	液晶画面とビューファインダーが両方 ON のとき、液晶画面とビューファインダーのどちらを表示するか、また設定に関係なく常時ビューファインダーを表示するかを選択します。 ● 液晶モニター　:液晶画面のみ表示します。 ファインダー　:ビューファインダーのみ表示します。 ファインダー常時　:ビューファインダーを常時表示します。 「ビューファインダー / 液晶画面を見る」: (☞ 22 ページ)

静止画撮影モード時の
メニュー画面

項目		内容
網かけ (　　　) の付いた項目は、全モード共通の項目です。 ● の付いた設定値が工場出荷時の設定です。		
カメラ設定		撮影時のカメラ操作や画質を設定します。
	フォーカスアシスト	モノクロ画像にして、ピントの合っている部分の輪郭線に色をつけるかどうかを選択します。（フォーカスアシスト機能） ● 切　：動作しません。 　入　：動作します。
	アシストカラー	フォーカスアシスト動作時、ピントの合っている部分の色を設定します。 ● 赤 　緑 　青
	測光エリア	明るさ補正のエリアを設定します。 ● 全体　：画面全体を測光エリアにします。 　スポット　：専用画面を表示します。(☞ 38 ページ) 　測光エリアを指定します。
	基本色温度設定	WHT.BAL. スイッチが PRST(PRESET) に設定されたときの基本色温度を設定します。 ● ３２００ Ｋ:基本色温度を 3200K にします。（ハロゲンランプなど低い色温度で使用します。） 　５６００ Ｋ:基本色温度を 5600K にします。（太陽光などの高い色温度で使用します。） **メモ：** ● ［ＦＡＷ］項目を［ＰＲＥＳＥＴ］に設定時、この項目は機能しません。
	ＦＡＷ	FAW(フルオートホワイトバランス) の機能を WHT.BAL. スイッチのどのポジションに割り付けるかを設定します。(A フルオート撮影モード時は、FAW に固定) ● 設定しない　：FAW 機能を割り付けません。 　Ａ　：A ポジションに FAW を割り付けます。 　Ｂ　：B ポジションに FAW を割り付けます。 　ＰＲＥＳＥＴ　：PRESET ポジションに FAW を割り付けます。
	テレマクロ	ズームの望遠 (T) 側で接写できる距離を短くするかどうかを選択します。 ● 切　：約 1m まで接写できます。 　入　：約 80cm まで接写できます。
静止画画質		静止画の画質を選択します。 ● ファイン　：高画質（撮影枚数が少なくなります。） 　スタンダード　：標準画質（撮影枚数が多くなります。） ● 動画撮影モード時、静止画を同時記録した場合、ここで設定した画質になります。(☞ 28 ページ)
静止画サイズ		静止画のサイズを選択します。 ● １９２０×１０８０ 　１４４０×１０８０ 　１０２４×７６８ 　６４０×４８０ ● 動画撮影モード時、静止画を同時記録した場合、静止画サイズは常に１９２０×１０８０になります。(☞ 28 ページ)

項目	内容
網かけ (　　　) の付いた項目は、全モード共通の項目です。 ● の付いた設定値が工場出荷時の設定です。	
感度アップ	被写体が暗いとき、映像を電気的に明るくします。 切　：機能しません。 ● オート　：周囲の明るさに応じて自動調節します。
接続設定	動画撮影モード時と同じです。(☞ 63 ページ)
メディア設定	動画撮影モード時と同じです。(☞ 63 ページ)
セルフタイマー	タイマーの時間を設定します。 ● 切　：セルフタイマーを使用しない。 ２秒　：SNAPSHOT ボタンを押して、2 秒後に撮影します。（手ぶれ防止の効果があります。） １０秒　：SNAPSHOT ボタンを押して、10 秒後に撮影します。 ● 撮影開始を知らせる音を消したいときは、［本体設定］メニューの［操作音］を［切］に設定してください。
シャッターモード	シャッターの動作を選択します。 ● １枚撮影　：連写しません。 連写　：SNAPSHOT ボタンを押している間、連写します。（約 2 枚 / 秒） ブラケット　：自動または手動で設定した明るさの静止画に続いて、少し暗い静止画（-0.3EV）と、少し明るい静止画（+0.3EV）の 3 種類の静止画を連写します。 ● シャッタースピードを設定しても、ブラケット撮影ではシャッタースピードが固定されません。(☞ 29 ページ) ● 連写を続けると、連写速度が低下します。
表示設定	動画撮影モード時と同じです。(☞ 65 ページ)
本体設定	動画撮影モード時と同じです。(☞ 66 ページ)

動画・静止画再生モード時のメニュー画面

項目	内容
網かけ ( ) の付いた項目は、全モード共通の項目です。 ● の付いた設定値が工場出荷時の設定です。	
削除	専用画面を表示します。(☞ 51 ページ) 動画または静止画ファイルを削除します。 １つずつ削除　：現在選ばれている動画または静止画ファイルを削除します。 選択して削除　：動画または静止画ファイルを選び、まとめて削除します。 すべて削除　：動画または静止画ファイルをすべて削除します。
ＯＫ マーク	専用画面を表示します。(☞ 50 ページ) 動画または静止画ファイルに OK マークをつけるか、また OK マークを削除するかを設定します。 OK マークをつけると、ファイルの削除を防ぎます。 １つずつ設定　：現在選ばれている動画または静止画ファイルに OK マークをつけます。または、OK マークを削除します。 選択して設定　：動画または静止画ファイルを選び、まとめて OK マークをつけます。または、OK マークを削除します。 すべて付加　：すべての動画または静止画ファイルに OK マークをつけます。 すべて削除　：すべての動画または静止画ファイルの OK マークを削除します。
コピー	専用画面を表示します。(☞ 52 ページ) 動画または静止画ファイルをもう１つの SD カードにコピーします。 すべて　：すべての動画または静止画をコピーします。 シーン（動画）/ ファイル（静止画）　：選択した動画または静止画をコピーします。
ムーブ（静止画のみ対応）	専用画面を表示します。(☞ 53 ページ) 静止画ファイルをもう１つの SD カードに移動します。 すべて　：すべての静止画を移動します。 ファイル　：選択した静止画を移動します。
表示設定	動画撮影モード時と同じです。(☞ 65 ページ)
本体設定	動画撮影モード時と同じです。(☞ 66 ページ)
接続設定	動画撮影モード時と同じです。(☞ 63 ページ)
メディア設定	動画撮影モード時と同じです。(☞ 63 ページ)
画面表示	動画再生または静止画再生時の画面表示内容を選択します。 切　：すべてのアイコン、日時を表示しません。 ● すべて表示　：すべてのアイコン、日時を表示します。 日付のみ表示　：日時のみ表示します。 日付５秒表示　：以下のタイミングで日時だけ 5 秒表示します。 ● 再生を始めたとき ● 再生時、ファイルが変わったとき ● メニューを閉じたとき

こんなときは

修理を依頼される前に、もう一度以下の表にしたがってご確認ください。
それでも不具合があるときは、お買い上げ店またはご相談窓口にお問い合わせください。

状症		処置	ページ
カード	SD カードが入らない	● SD カードの向きを確認する。	23
電源	電源が入らない	● AC アダプターを正しく接続する。 ● バッテリーを充電する。	19 19
撮影	撮影できない	● CAM/MEDIA ボタンでカメラ撮影モードにする。 ● 動画表示灯または静止画表示灯で撮影モードを確認する。	25 25
	勝手に撮影が停止した	● １２時間連続記録すると撮影が停止します。 ● カード要因で記録が途中で停止することがあります。 推奨の Class6 以上のカードかどうかを確認する SD カードの中身を消す (削除、フォーマット)	- 5 51,63
	自動でピントが合わない	● レンズにゴミや水滴などがついているときは、ゴミや水滴をきれいに拭く。 ● 暗いところや明暗差のないものを撮影しているときは、マニュアルフォーカスを使う。	- 31
	被写体が暗い	●［Ｌｏｌｕｘ］を使う。 ● 明るさ補正を［+］側に設定する。 ● 動画の場合、マニュアル撮影モードにして GAIN スイッチで感度を上げる。 ● GAIN スイッチを［AGC］に設定する。 ● 静止画の場合、［感度アップ］を［オート］にする。 ● 絞りを開放側に設定する。 ● シャッタースピードを低速側に設定する。	32 33 37 60 69 38 37
	被写体の色が不自然 (赤っぽい、青っぽいなど)	● 照明や背後にいろいろな光源があるときは、マニュアル撮影モードにしてオートホワイトバランス調整を行う。 ● ホワイトペイント調整で赤味および青味を調整する。	35 36
	ホワイトバランスを設定できない	● プログラム AE の［ＴＷＩＬＩＧＨＴ］を使わない。	32
	静止画の連写速度が遅い	● 連写を続けると、連写速度が低下します。 ● 使用する SD カードや撮影条件によって、連写速度が低下します。	- -
	実際の記録時間がめやすとされている時間より短い	● 動きの速い被写体を撮影したときなど、環境によっては記録時間が短くなります。	-
	レンズのフォーカスつまみがきかない	● FOCUS/ZOOM スイッチを FOCUS に設定する。	31
	レンズのズームつまみがきかない	● FOCUS/ZOOM スイッチを ZOOM に設定する。	30
	MIC 端子や内蔵マイクがきかない	● オーディオユニットのケーブルを本体の AUDIO IN 端子からはずす。	40
	内蔵マイクや MIC 端子のマイクで録音音量つまみがきかない	● 内蔵マイクや MIC 端子のマイクには、ききません。（録音音量つまみは、INPUT1/INPUT2 端子に対して有効です。内蔵マイクや MIC 端子の音量は、［内蔵マイクレベル設定］メニューや［マイクレベル設定］メニューで設定します。）	64
	クリップ連続記録のポーズモード時、再生モードへの切り換えができない	● **●REC** アイコンが赤色で点灯中や、●❚❚ アイコンが黄色で点灯中、再生モードへの切り換えはできません。再生モードにする場合は、クリップファイルを終了する。	28

こんなときは (つづき)

状症		処置	ページ
画面	画面が暗い、または白くなる	● 画面の角度や明るさを調整する。 ● 寒いところでは多少暗くなります。 ● 寿命が短くなっている可能性があります。お買い上げ店、またはご相談窓口へご連絡ください。	22 - -
	画面が見えにくい	● 直射日光下など周囲が明るいと、見えにくくなります。	-
	画面が表示されない	● 本機を操作する（AC アダプター使用時、何も操作せずに一定時間が過ぎると、節電のため画面が消えます。） ● DISPLAY ボタンを押す。 ● 静止画再生モードのときは、［画面表示］メニューを［すべて表示］または［日時のみ表示］に設定する。	- 15 70
	バッテリー残量が正しく表示されない	● バッテリーをいったん満充電にしてから使い切り、改めて充電する。 ● 高温や低温で長時間使ったり、何度も充電を繰り返していると、正しく表示できないことがあります。	19 -
	画面の表示にムラがでる	● 画面やまわりを押したときは、手を離してしばらく待つ。（圧迫すると、映像ムラが生じます。）	-
	モニターテレビに表示がでない	● ［接続設定］メニューの［テレビ表示］を［入］に設定する。	63
	液晶画面またはビューファインダーに画面がでない	● ［本体設定］メニューの［優先設定］を確認する。 ● HDMI 端子、COMPONENT OUT 端子または A/V OUT 端子を接続時、ビューファインダーに映像を表示しません。ケーブルをはずしてください。	67 49
	タイムコードまたはユーザーズビットを表示しない	● ［TC/UB 設定］メニューの［TC　DISPLAY］を［TC］または［UB］に設定する。	65
再生	撮影モードから再生モードに切り換わらない	● クリップ連続記録のポーズ状態かどうがを確認してください。その場合は、ファイルを終了してから切り換えてください。	28
	音や映像が途切れる	● シーンとシーンのつなぎ部分で途切れることがあります。	-
	モニターテレビの画面の一部が揺れて見える	● ［接続設定］メニューの［HDMI 出力］を［オート］に設定する。	63
	モニターテレビの画面が不自然に見える（たて長など）	● ［接続設定］メニューの［ビデオ出力］をお使いのモニターテレビに合わせる。	63
	撮影したはずの動画がインデックス画面にない	● 動画ファイル形式や映像フォーマットを確認する。（［ファイル形式］、［システムセレクト］、［記録モード］メニューの設定を再生する映像フォーマットに合わせる。）	61 62
その他	本機が熱くなる	● 故障ではありません。(長時間使用すると、本機が多少熱くなることがあります。)	-
	充電中、表示灯が点滅しない	● バッテリー残量を確認する。（バッテリーが満充電されていると、表示灯が点滅しません。） ● 低温や高温の環境で充電しているときは、許容動作温度の範囲内の環境で充電する。（範囲外の環境では、バッテリー保護のため充電を中止することがあります。）	20 -
	動画モードと静止画モードの切り換えや電源の入 / 切などが遅い	● SD カード内のファイルをパソコンへコピーし、SD カードから削除する。（SD カードに静止画などが多数（約 1,000 ファイル以上）あると、処理に時間がかかります。）	-
	リモコンがきかない	● 電池を交換する。 ● ［本体設定］メニューの［リモコン］を［入］に設定する。 ● 野外や強い光が当たるところでは動作しないことがあります。	18 67 -

■ 次の場合は故障ではありません。

- 太陽光が映ると、画面が一瞬赤か黒になる。
- 画面に黒い点、赤、青、緑の光る点がでる。

（液晶画面には 99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の小さな点がでることがあります）

■ 正常に動作しないときは本機をリセットする。

1. **電源を「切」にする**

2. **本体からバッテリーや AC アダプターをいったん取りはずし、再び取り付けてから電源を入れる**

3. **［本体設定］メニューの［工場出荷］を実行する**

ワーニング表示

表示	処置	ページ
レンズカバーを確認してください	● レンズカバーを開ける。	20
時計を合わせてください	● 時計を設定する。 ● AC アダプターを取り付けて、24 時間以上充電してから、時計を設定する。	21 -
通信エラー	● バッテリーをもう一度付け直す。	19
動画モードでは使えません	● SD カードを交換する。 (動画撮影するには Class6 以上の SDHC カードを使用する。)	23
静止画モードでは使えません	● 静止画撮影モードで機能しないボタンを押しました。	-
● フォーマットエラー ● 再生に失敗しました	● 操作手順を確認し、もう一度繰り返す。 ● 本機の電源を入れ直す。	- 20
記録できませんでした	● 本機の電源を入れ直す。 ● カード要因で記録できないことがあります。 ● 推奨の Class6 以上のカードかどうかを確認する ● SD カードの中身を消す (削除、フォーマット)	 5 24,51
カードエラー	● 本機の電源を入れ直す。 ● SD カードを入れ直す。(SDXC カードは使用できません。) ● SD カードの端子の汚れを取り除く。 ● SD カードを入れてから電源を入れる。 ● 上記で解決しないときは、バックアップをとってからフォーマットを実行する。(データは全て消えます。)	20 23 - - 24,63
フォーマットされていません	● ［ＯＫ］を選び、［フォーマットしますか？］の画面で［はい］を選ぶ。	24,63
静止画撮影は３枚までです	● 動画の撮影を停止した後、静止画を撮影する。 ● POWER/MODE スイッチをまわして静止画モードにした後、静止画を撮影する。	29 25
現在記録できません	● 動画の撮影をいったん停止してから、静止画を撮影する。 ● ［システムセレクト］メニューが［720-**］に設定されている場合、静止画を記録できません。	29 -
カードへ記録できませんでした	● 本機の電源を入れ直す。	20
動画管理ファイルが壊れているため修復します	● ［ＯＫ］を選んで修復する。 ● ［ＯＫ］を選んでも修復要求画面が繰り返し表示される場合があります。その場合は、SD カードをフォーマットしてください。この場合、データは全て削除されます。	- 24,63
未対応のシーンです	● 本機で記録したファイルを使う。（他機で記録したファイルは、再生できないことがあります。）	-
カードがライトプロテクトされています	● SD カードのライトプロテクトスイッチを解除する。	-
空き容量がありません	● ファイルを削除する。パソコンなどに移す。 ● 新しい SD カードに交換する。	51 23
● フォルダ数が制限を超えています ● ファイル数の制限を超えています ● 記録できるフォルダ・シーン数の上限に達しました	● 動画モードのときは下記のどちらかの操作をする。 - フォルダ / ファイルを削除する。パソコンなどに移す。 - 記録した動画を全て消去する場合は［メディア設定］メニューの［フォーマット］を選ぶ。 ● 静止画モードのときはフォルダ / ファイルをパソコンなどに移してから［フォーマット］の［ファイル＋管理番号］を選ぶ。	24,63
記録できる管理番号の上限に達しました	● 動画ファイル番号をリセットする。	24,63
ファイルがありません	● 静止画が記録されていないので、POWER/MODE スイッチをまわして動画モードにする。	25
１２時間の制限を超えたので記録を中止しました	● 少し時間をおいた後、撮影する。（本機は 12 時間連続撮影すると撮影を停止します。）	-

撮影可能時間 / 枚数のめやす

撮影可能時間や撮影可能枚数はめやすです。撮影環境や、お使いになる SD カード、バッテリーの状況によって異なることがあります。

動画の撮影可能時間のめやす

QuickTime/MP4	SDHC カード			
画質	4GB	8GB	16GB	32GB
HQ(1080i/720p)	１２分	２５分	５０分	１時間４０分
SP(1080i)	１７分	３５分	１時間１０分	２時間２０分
SP(720P)	２２分	４５分	１時間３０分	３時間

静止画の撮影可能枚数のめやす

単位：枚数

画像サイズ	画質モード	SD カード			SDHC カード			
		512MB	1GB	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
1920×1080 (16:9)	ファイン	510	1040	2100	4200	8420	9999	9999
	スタンダード	800	1630	3210	6410	9999	9999	9999
1440×1080 (4:3)	ファイン	680	1370	2770	5540	9999	9999	9999
	スタンダード	1060	2160	4360	8700	9999	9999	9999
640×480 (4:3)	ファイン	3320	6720	9999	9999	9999	9999	9999
	スタンダード	5980	9999	9999	9999	9999	9999	9999

保証とアフターサービスについて

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。
保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。
故障その他による営業上の機会損失は補償いたしません。
その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

アフターサービスについてのお問い合わせ先

アフターサービスについてのご不明な点はお買い上げ販売店、または別紙ご相談窓口案内をご覧のうえ、最寄のご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはご相談窓口に次のことをお知らせください。

品名	:	HD メモリーカードカメラレコーダー
品番	:	GY-HM100
お買い上げ日	:	
故障の状況	:	故障の状況をできるだけ具体的に
ご住所	:	
お名前	:	
電話番号	:	

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適正に処理してください。

仕様

カメラレコーダー

■一般

電源	AC アダプター使用時 DC11 V バッテリー使用時　DC7.2 V
消費電力	約 7.8 W (液晶画面およびビューファインダ使用時、バックライト［標準］の場合)
外形寸法	366 mm(幅) x 179 mm(高さ) x 138 mm(奥行き)
質量	本体 約 1190 g 撮影時 約 1320 g(バッテリー BN-VF823、SD カード、マイク含む)
許容動作温度	0 ℃ ～ 40 ℃
許容動作湿度	35 %RH ～ 80 %RH
許容保存温度	-20 ℃ ～ 50 ℃
映像素子	1/4 型プログレッシブ CCD×3
レンズ	F1.8 ～ 2.8 f=3.7 mm ～ 37 mm
フィルター径	フードをはずした状態時 46 mm(ネジピッチ 0.75 mm) フィルター (外径 50 mm 以下)、 テレコンバータ、ワイドコンバータ対応 フード装着時 72 mm(ネジピッチ 0.75 mm) フィルター (外径 75 mm 以下) のみ装着可 ※ フィルター着脱の際、フードの上下を押さえると着脱しにくい上にフードの内側が傷つく場合があります。
ズーム	光学ズーム１０倍まで 再生時５倍まで
液晶画面	2.8 型、20.6 万画素、ポリシリコン液晶
ビューファインダ	0.44 型、23.5 万画素、ポリシリコン液晶

■動画 / 音声

動画記録ファイル形式	QuickTime File Format (for Final Cut Pro) MP4 file format
映像フォーマット	720/24p/25p/30p/50p/60p 1080/24p/25p/30p/50i/60i
映像信号	720p フォーマット MPEG-2(8bit,35/18.3 Mbps) 1080 フォーマット MPEG-2(8bit,35/25 Mbps)
音声信号	LPCM 2ch,48kHz/16bit

■静止画

静止画記録ファイル形式	JPEG
記録サイズ	４モード 1920x1080 1440x1080 1024x768 640x480
記録画質	２モード ファイン、スタンダード

■端子

AV 端子	映像　アナログ出力 1.0 V(p-p),75 Ω 音声　アナログ出力 (ステレオ) -8 dBu, 1 KΩ(基準レベル -12 dB 選択時) -16 dBu, 1 KΩ(基準レベル -20 dB 選択時)
コンポーネント端子	Y,PB,PR コンポーネント出力 Y : 1.0 V(p-p),75 Ω PB,PR : 700 mV(p-p),75 Ω
HDMI 端子	HDMI™ Connector
USB 端子	ミニ USB-B タイプ、USB2.0
ヘッドホン端子	φ3.5 mm ミニジャック（ステレオ）
マイク端子	φ3.5 mm ミニジャック（ステレオ） プラグインパワー対応
音声 INPUT1/INPUT2 端子	
MIC	− 60 dBu,3 kΩ,XLR（平衡）、 +48 V 出力（ファンタム電源供給）
LINE	+4 dBu,10 kΩ,XLR（平衡）

付属品

AC アダプター	1
バッテリー	1
バッテリーチャージャー	1
ワイヤレスリモコン	1
オーディオユニット	1
マイク	1
AV コード	1
専用コンポーネントケーブル	1
USB ケーブル	1
CD-ROM	1
取扱説明書	1
保証書	1
ご相談窓口案内	1

AC アダプター

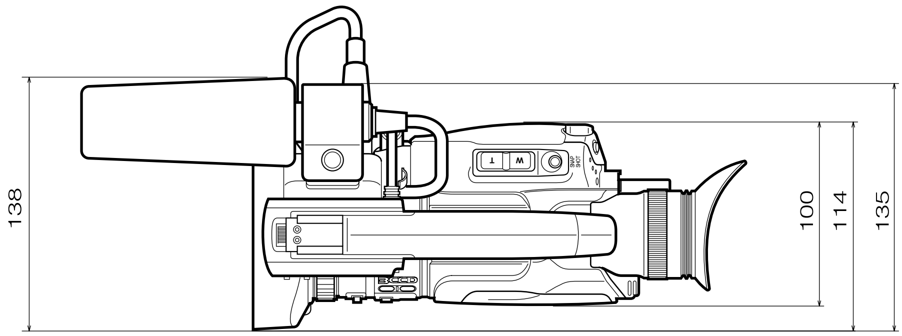
電源	AC100 V-240 V,50 Hz/60 Hz
出力	DC11 V,1 A
許容動作温度	0 ℃ ～ 40 ℃（充電時は 10 ℃ ～ 35 ℃）
外形寸法	49 mm(幅) × 26 mm(高さ) × 64 mm(奥行き) （コードと AC プラグを含まず）
質量	約 83 g

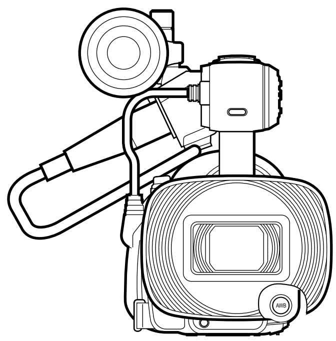
ワイヤレスリモコン

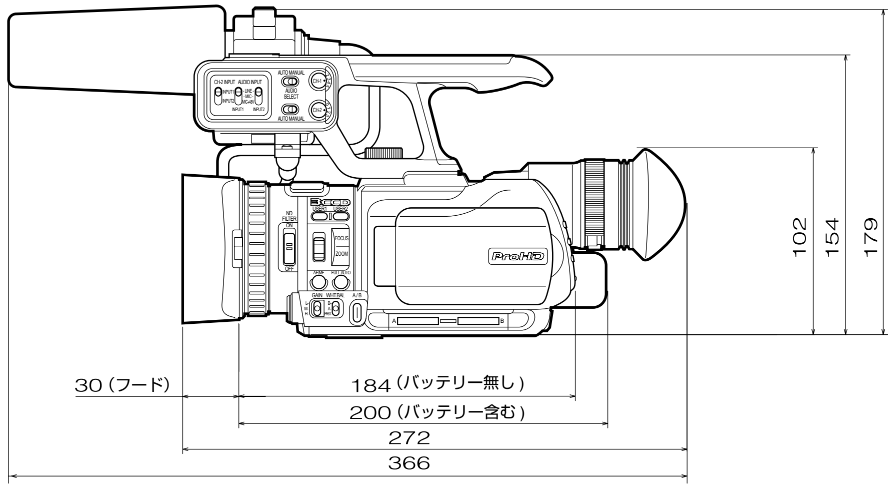
種類	DC3V（ボタン電池 CR2025）
電池寿命	約 1 年（使用頻度により変わる）
動作距離	約 5 m（正面軸上）
許容動作温度	0℃ ～ 40℃
外形寸法	42 mm（幅）× 14.5 mm（高さ）× 91 mm（奥行き）
質量	約 30 g（ボタン電池を含む）

外形寸法図

（単位：mm）







● 仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。

メモ

メモ

GY-HM100　HD メモリーカードカメラレコーダー

お客様ご相談センター

0120－2828－17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 (045)450-8950［代表］

FAX (045)450-2275

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12　　電話(045)443-3119

LYT2092-001D